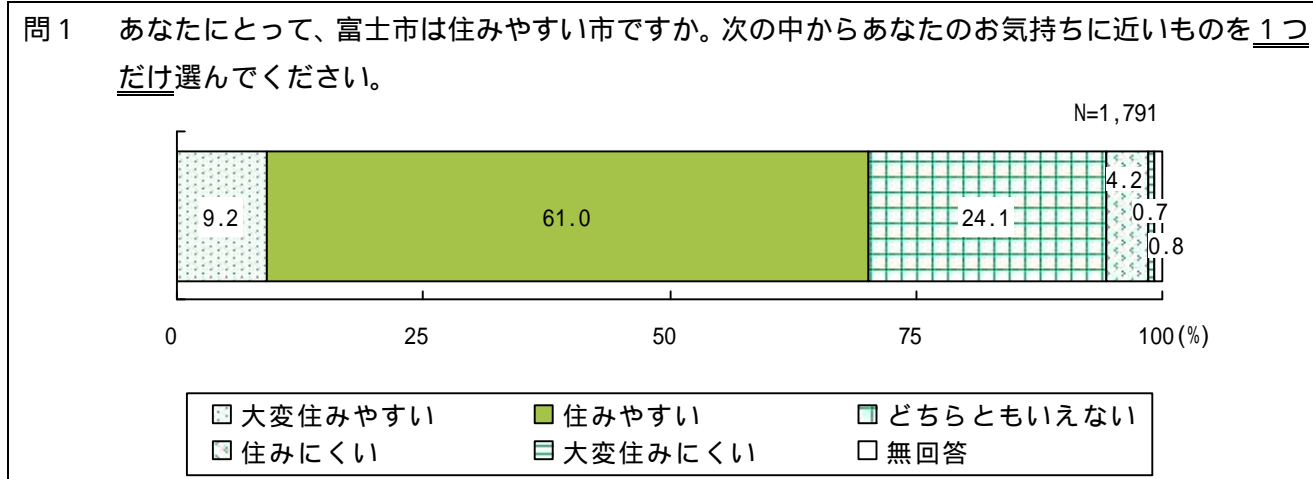


# 調査結果

## 「富士市の将来について」

### (1) 富士市の住みやすさ

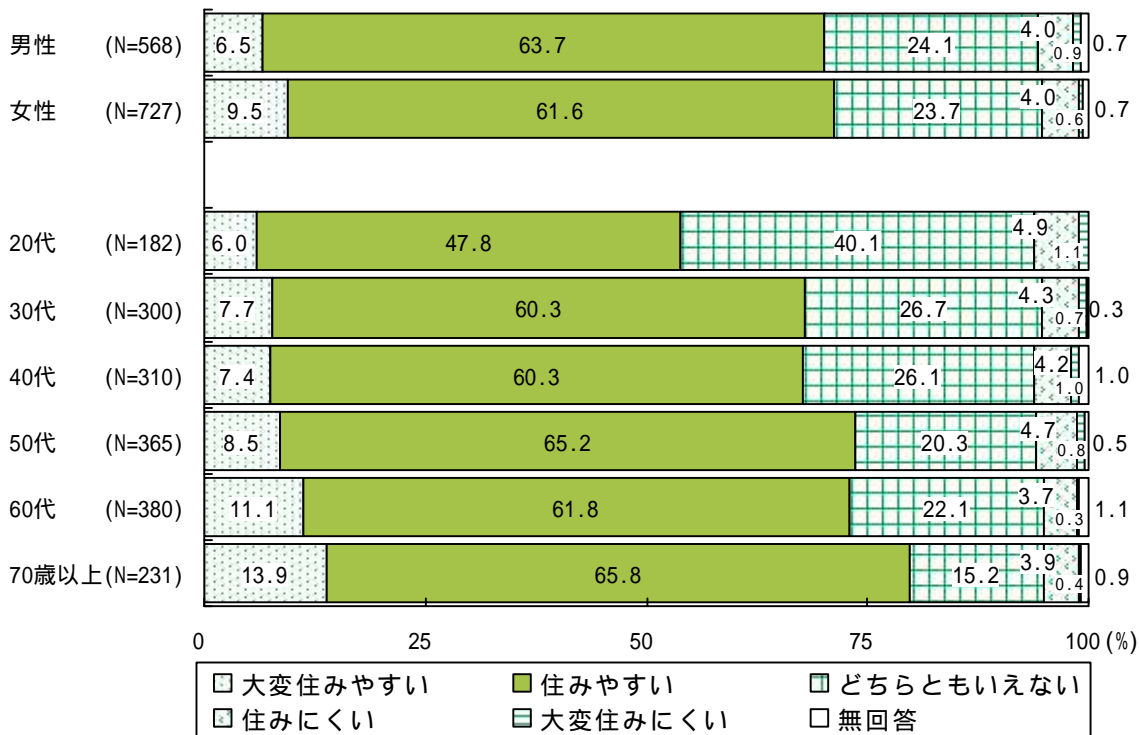


富士市は住みやすい市かと尋ねたところ、「大変住みやすい」9.2%と「住みやすい」61.0%を合わせた“住みやすい”が70.2%と、7割を占めている。一方、「住みにくい」4.2%と「大変住みにくい」0.7%を合わせた“住みにくい”は4.9%となっている。

年代別にみると、“住みやすい”と答えた人が最も多いのは、70歳以上で79.7%となっており、30代以上は7割を占めている一方で、20代は53.8%と半数にとどまっている。

調査結果

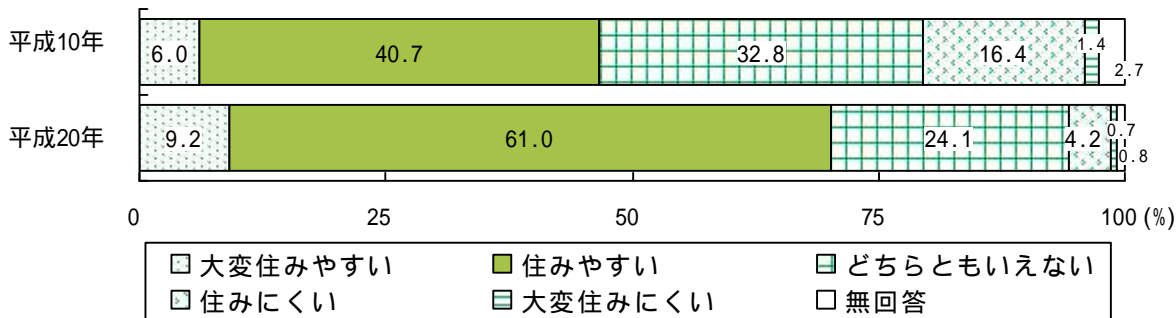
【性別・年代別】



< 調査結果の経年比較 >

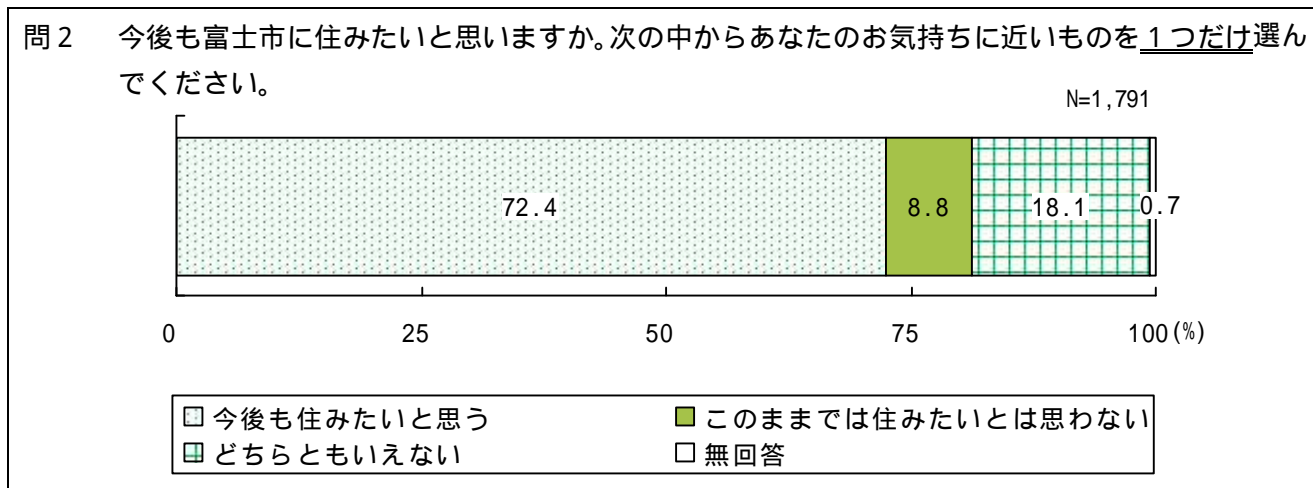
昭和52年、平成6年、平成10年の調査結果と比較すると、「住みやすい」という人は平成10年から23.5%増加している。一方、「住みにくい」という人は12.9%減少しており、「ふつう」と答えた人も8.1%減少している。

調査年	調査数 (人)	住みやすい		住みにくい		どちらともいえない	わからない	無回答		
		大変住みやすい	住みやすい	住みにくい	大変住みにくい					
昭和52年	1,267	45.3	2.8	42.5	20.9	18.8	2.1	32.3	1.5	-
平成6年	2,021	52.6	10.5	42.1	17.4	15.6	1.8	29.7	-	0.2
平成10年	1,864	46.7	6.0	40.7	17.8	16.4	1.4	32.8	-	2.7
平成20年	1,791	70.2	9.2	61.0	4.9	4.2	0.7	24.1	-	0.8



回答選択肢は、平成6年、平成10年は「非常に住みやすい」「住みやすい」「やや住みにくい」「大変住みにくい」「ふつう」の5つの回答となっており、昭和52年は「わからない」を加えた6つの回答となっている。平成20年と質問の表現が異なっている。

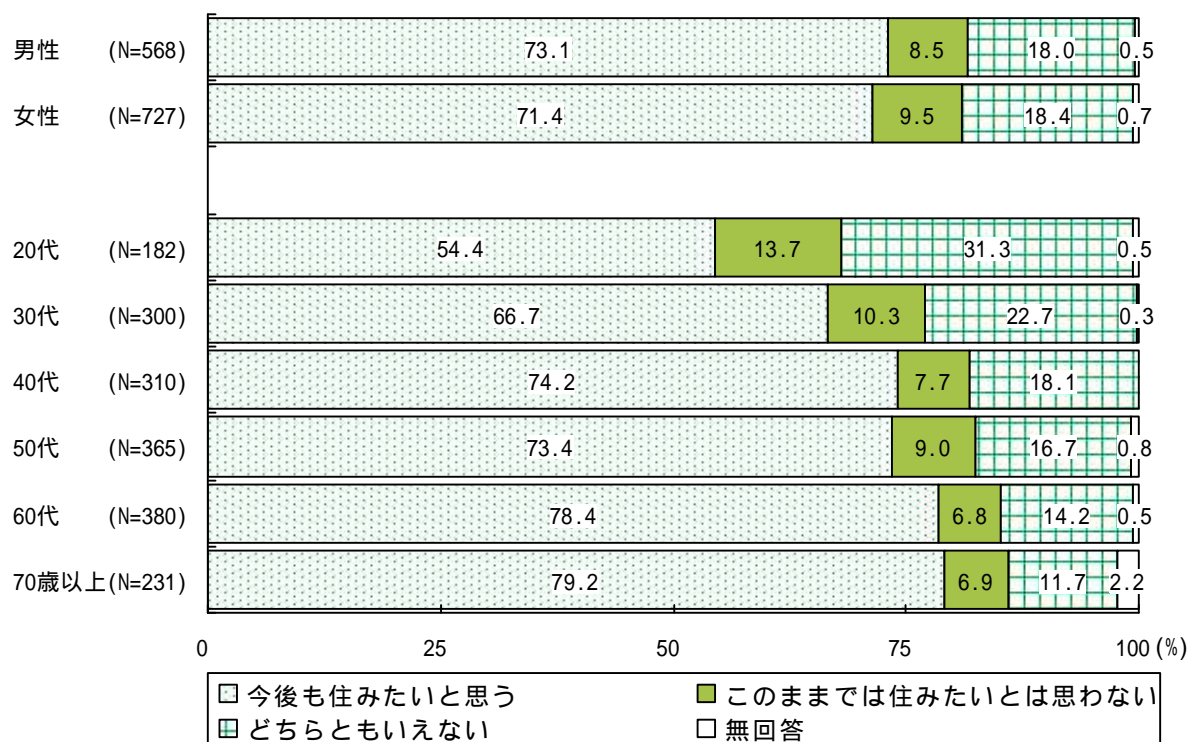
## (2) 今後も富士市に住みたいか



今後も富士市に住みたいかと尋ねたところ、「今後も住みたいと思う」と答えた人が最も多く、72.4%と7割を超えている。一方、「このままでは住みたいとは思わない」と答えた人は、8.8%と1割未満になっている。

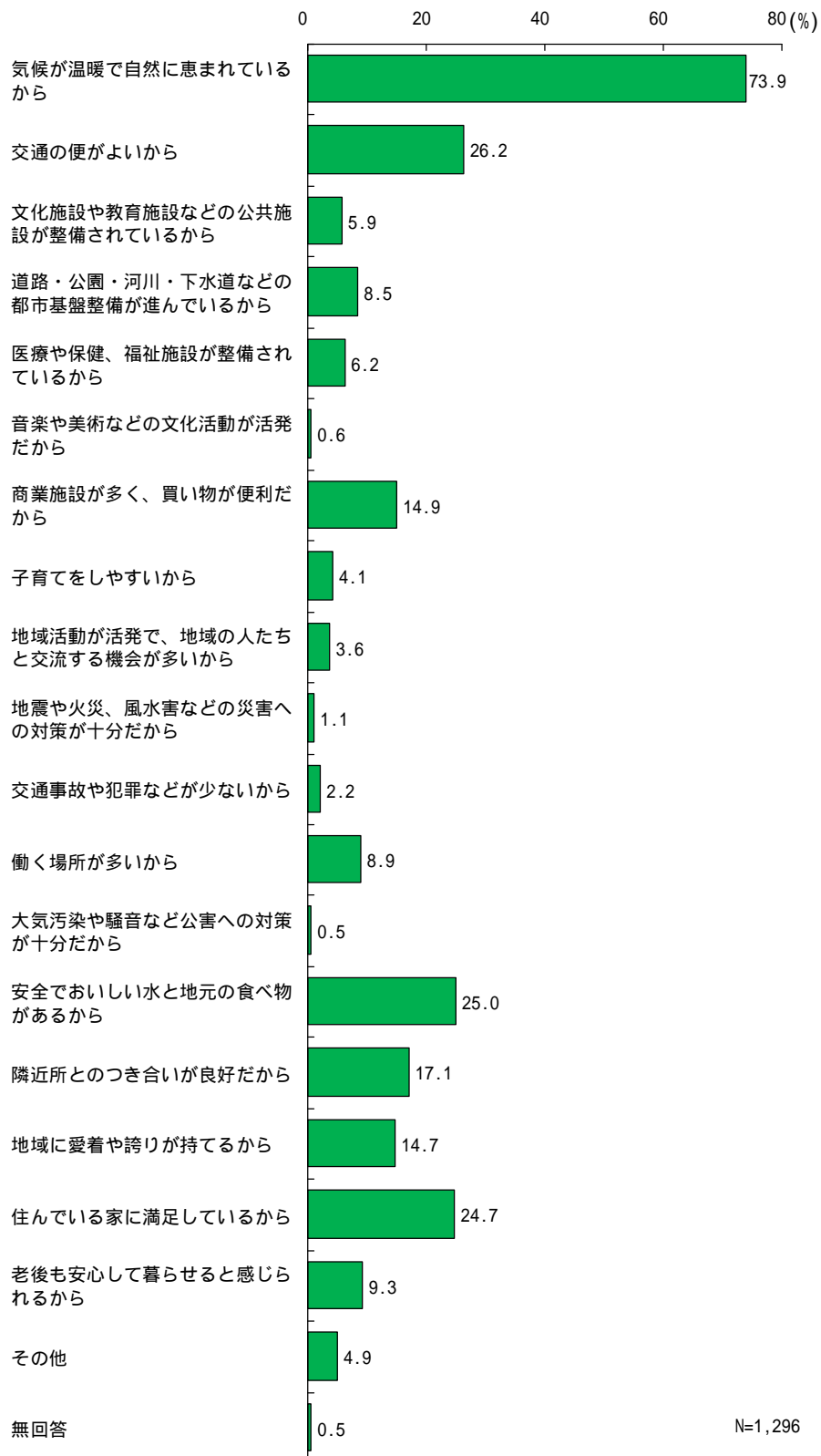
年代別にみると、「今後も住みたいと思う」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で79.2%となっており、40代以上は7割を超えている一方で、20代は54.4%と半数にとどまっている。

## 【性別・年代別】



(3) 富士市に住みたいと思う理由

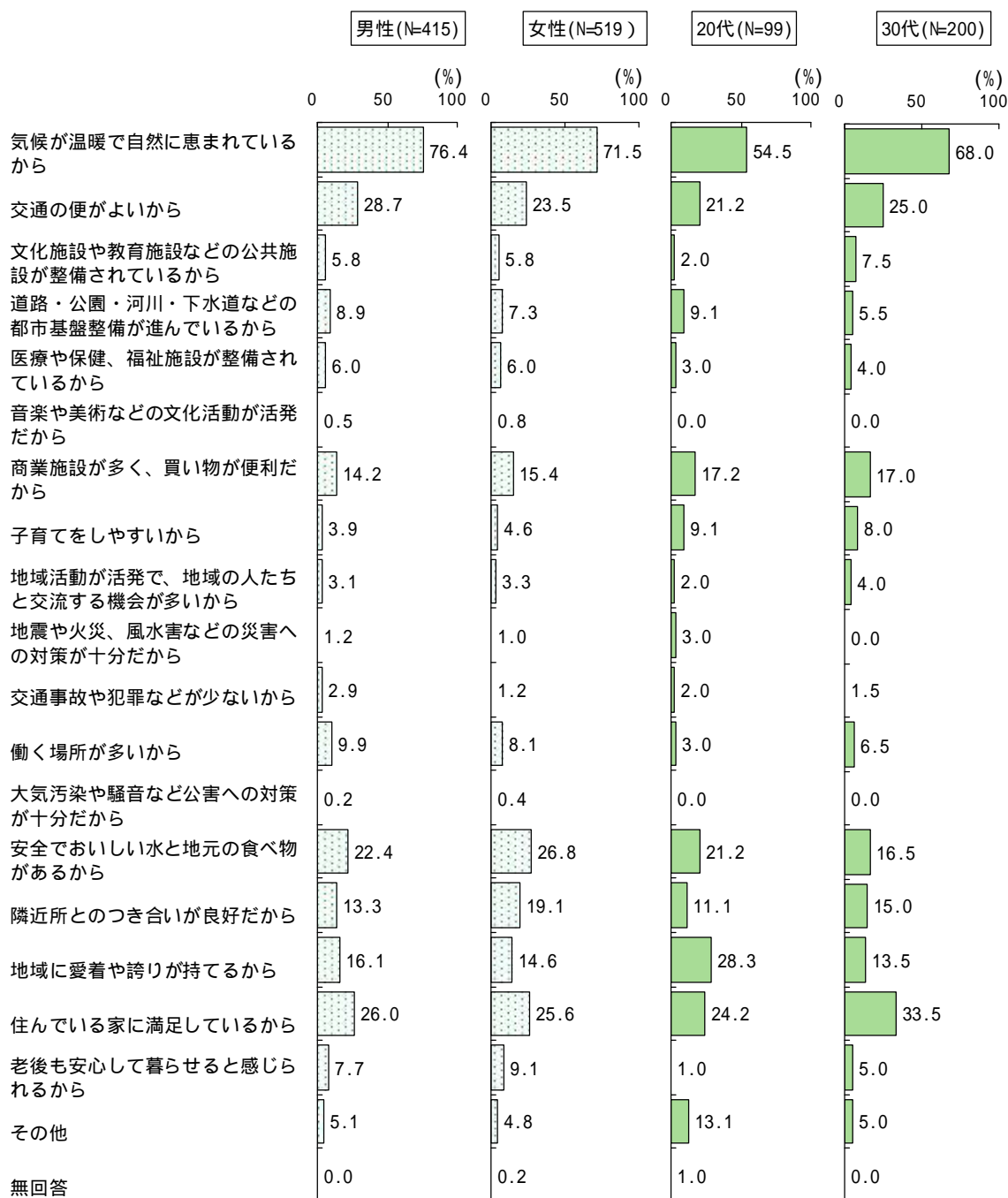
問2 - 1 今後も住みたいと思う理由を次の中から3つ以内で選んでください。



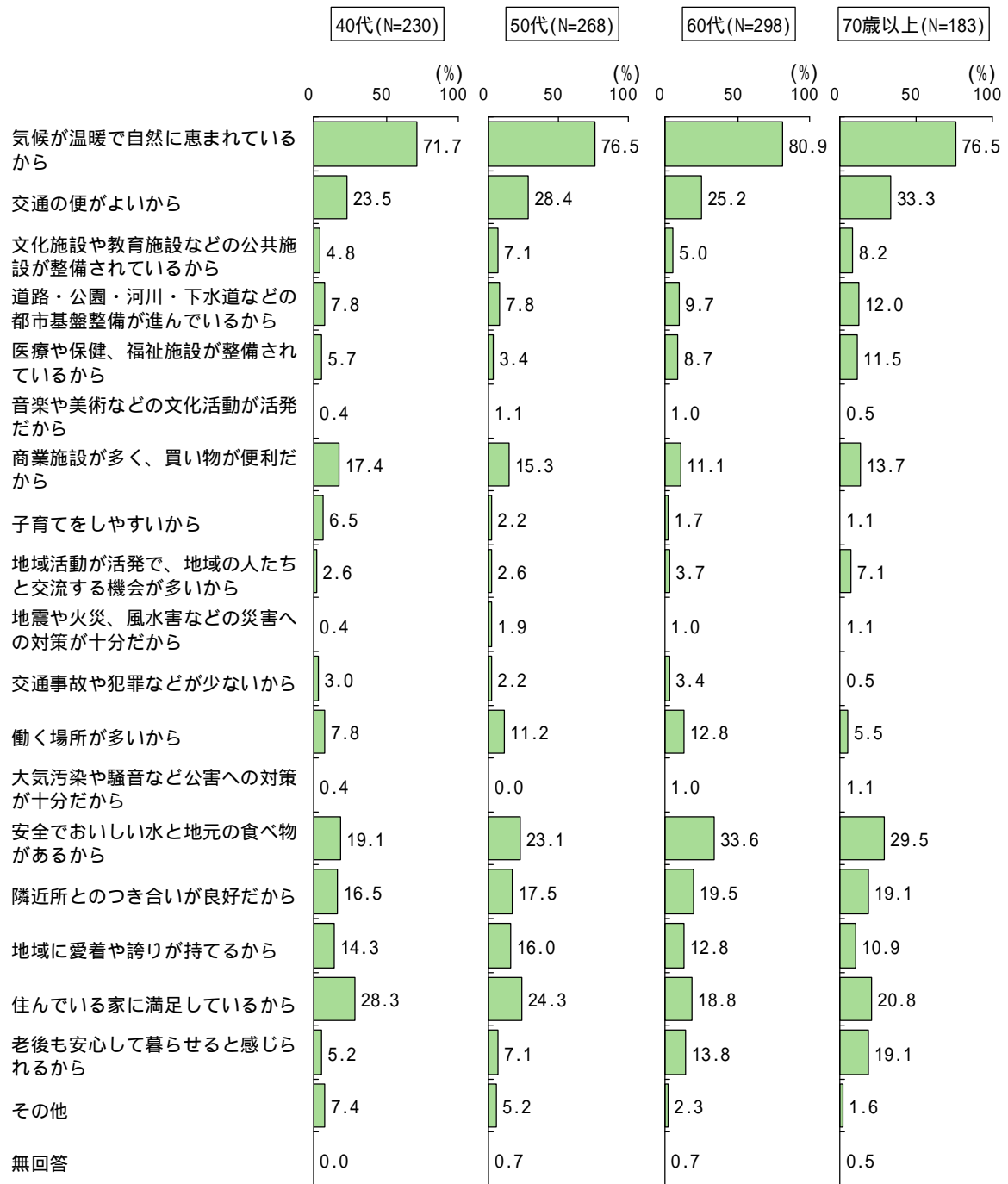
問2の質問で「今後も住みたいと思う」と答えた人に、富士市に住みたいと思う理由を尋ねたところ、「気候が温暖で自然に恵まれているから」と答えた人が最も多く、73.9%と7割を超えている。次いで「交通の便がよいから」が26.2%、「安全でおいしい水と地元の食べ物があるから」が25.0%、「住んでいる家に満足しているから」が24.7%と、いずれも2割を超えている。

年代別にみると、「気候が温暖で自然に恵まれているから」と答えた人が最も多いのは、60代で80.9%となっており、40代以上は7割を超えている一方で、20代は54.5%と半数にとどまっている。「地域に愛着や誇りが持てるから」と答えた人が最も多いのは、20代で28.3%と3割を占めている。

### 【性別・年代別】

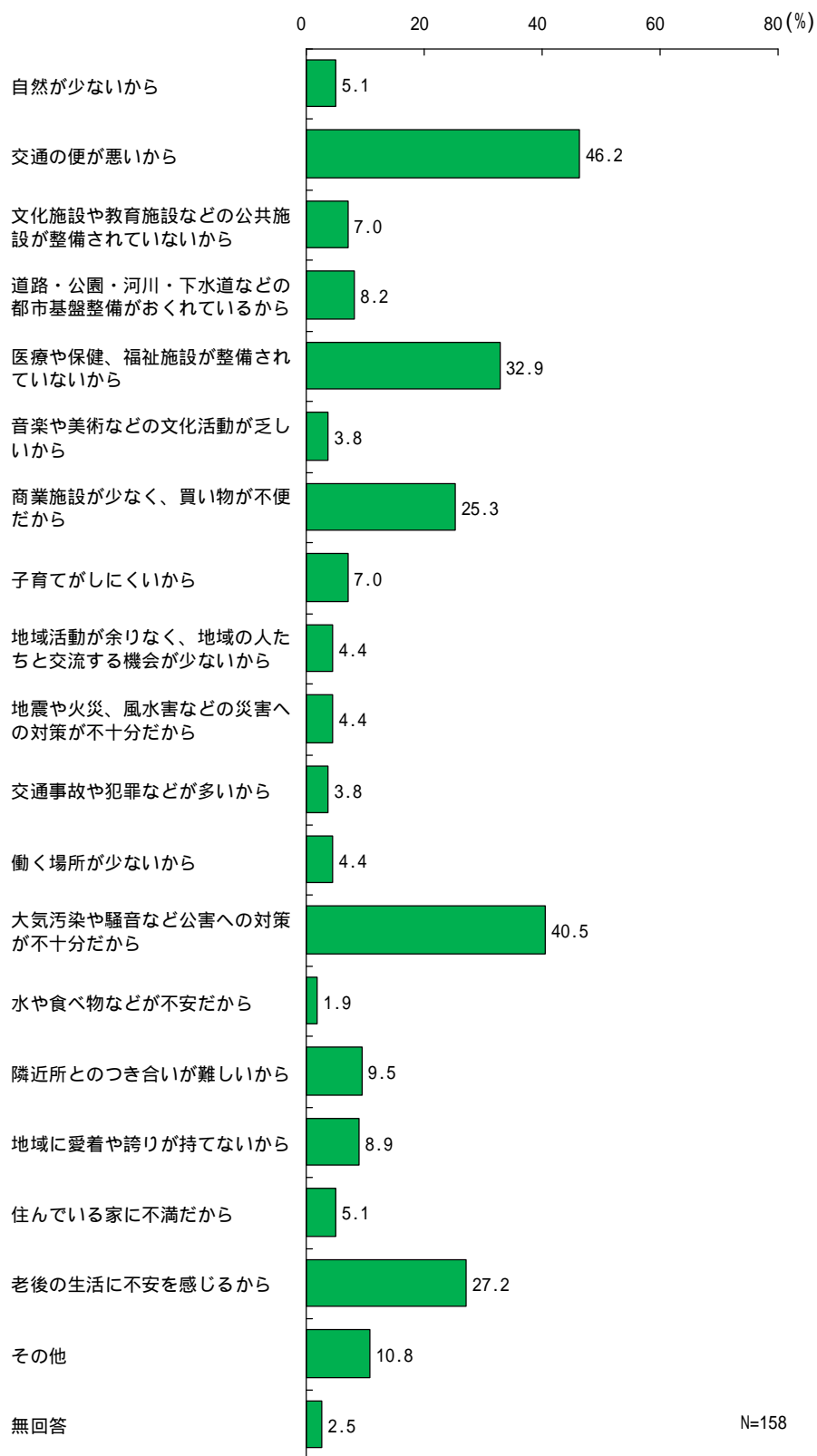


調査結果



## (4) 富士市に住みたくないと思う理由

問2 - 2 このままでは住みたくないと思う理由を次の中から3つ以内で選んでください。





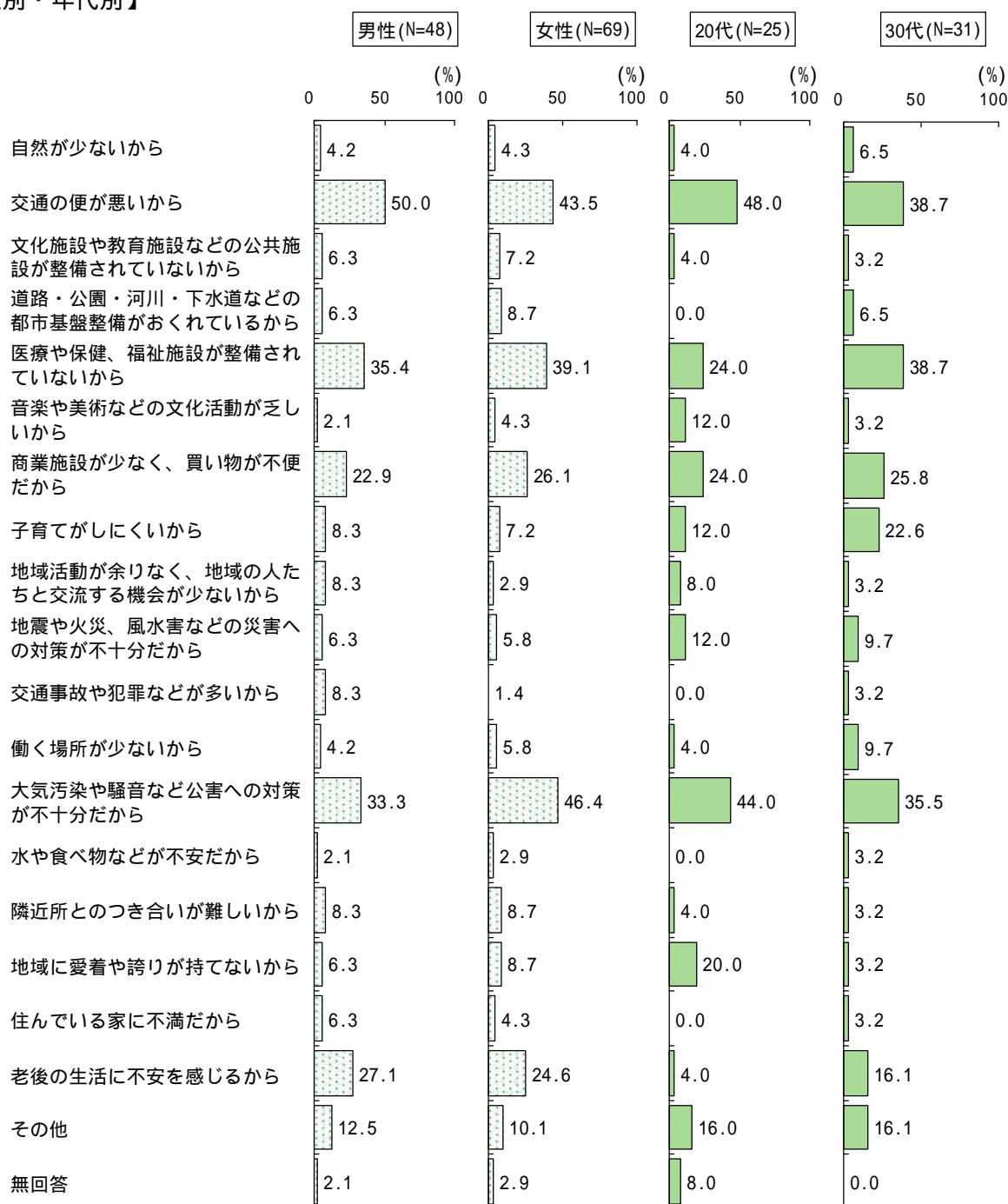
## 調査結果

問2の質問で「このままでは住みたくない」と答えた人に、富士市に住みたくないと思う理由を尋ねたところ、「交通の便が悪いから」と答えた人が最も多く、46.2%となっている。次いで「大気汚染や騒音など公害への対策が不十分だから」が40.5%、「医療や保健、福祉施設が整備されていないから」が32.9%、「老後の生活に不安を感じるから」が27.2%、「商業施設が少なく、買物が不便だから」が25.3%となっている。

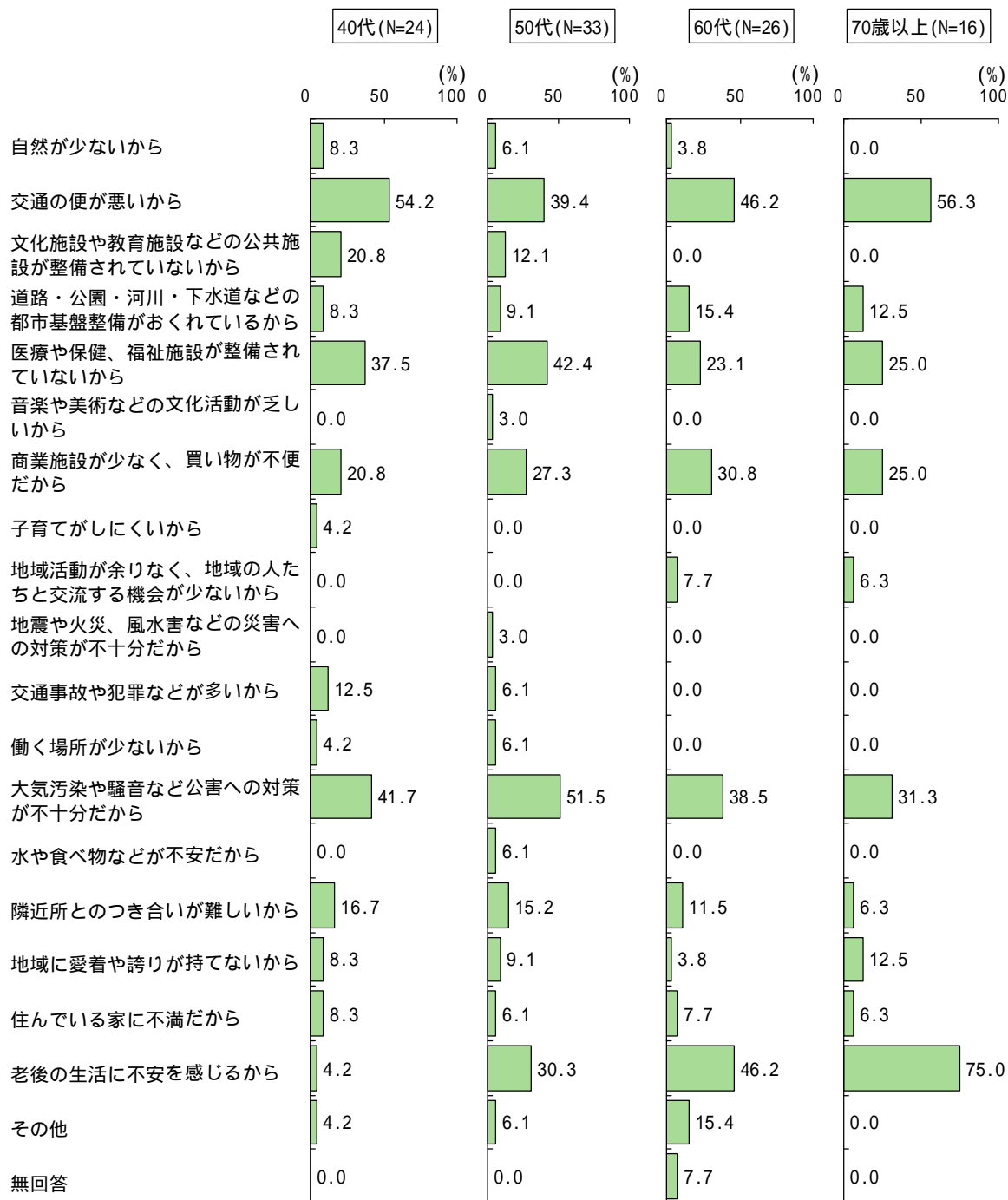
性別にみると、「大気汚染や騒音など公害への対策が不十分だから」と答えた女性は46.4%と、男性より13.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、「交通の便が悪いから」と答えた人は、すべての年代で4割から5割を占めている。「大気汚染や騒音など公害への対策が不十分だから」と答えた人が最も多いのは、50代で51.5%と半数を超えている。「老後の生活に不安を感じるから」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で75.0%と4人に3人の割合になっている。

### 【性別・年代別】

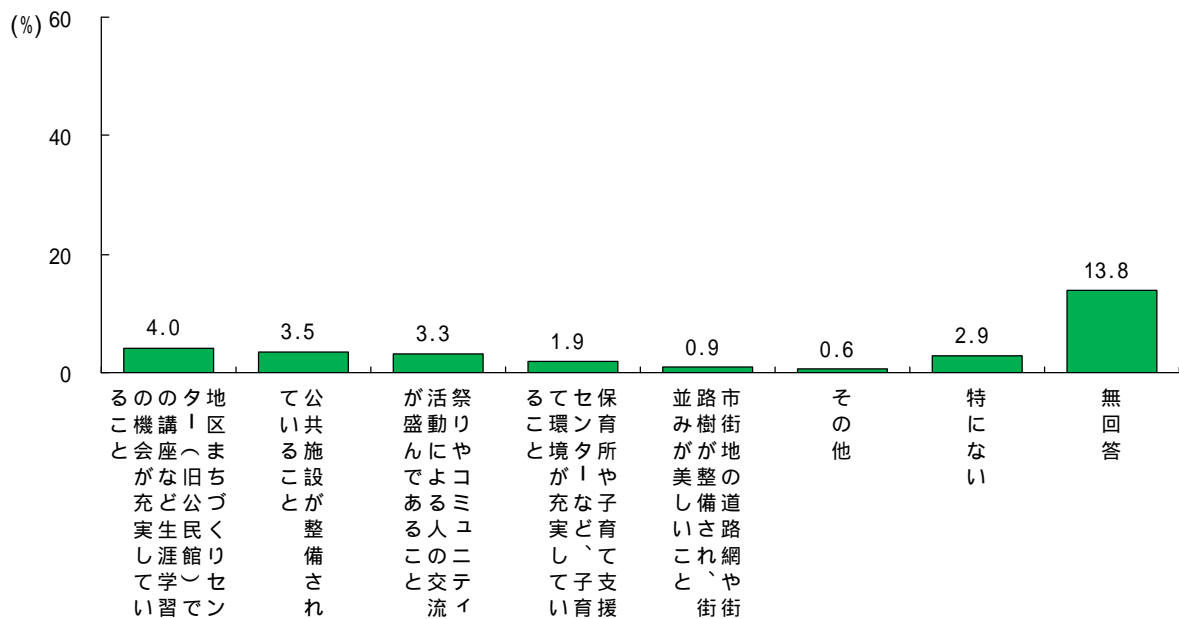
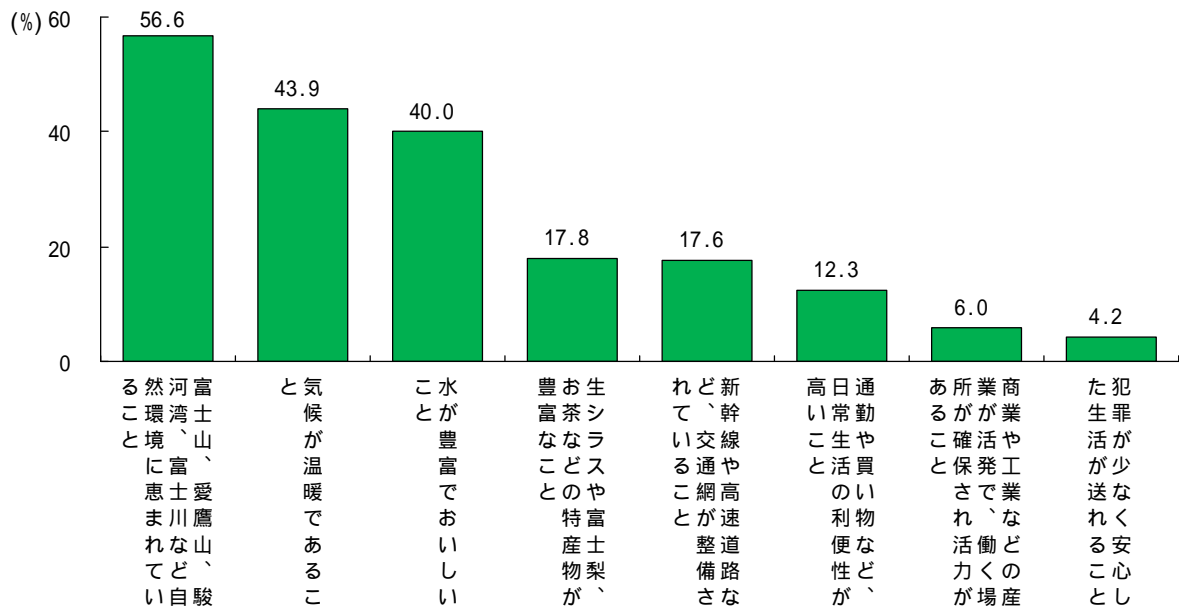






(5) 富士市が誇れると思うこと

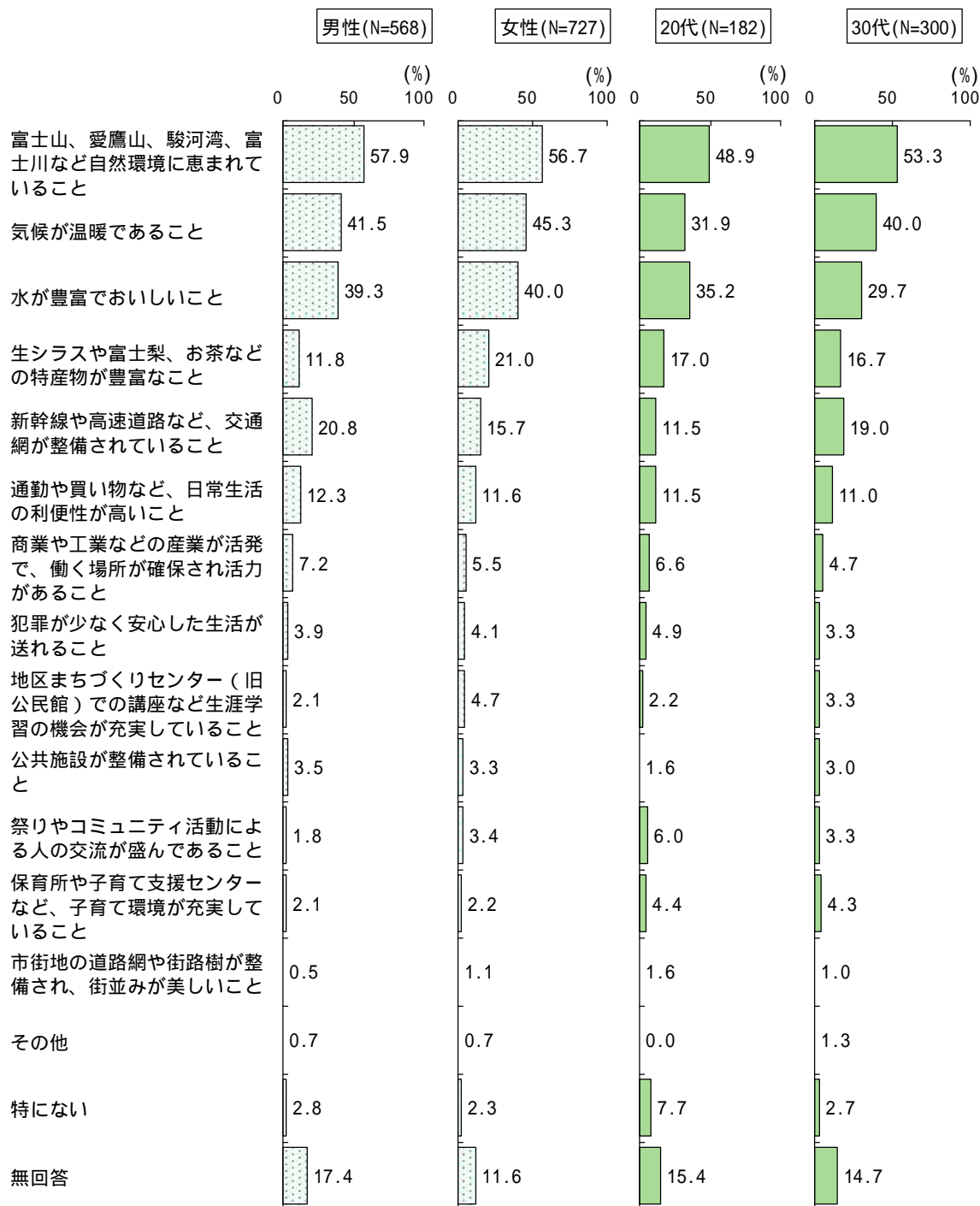
問3 あなたが富士市に住んでいて、富士市がほかの市町村の人々に誇れると思うことはどのようなことですか。次の中から3つ以内で選んでください。



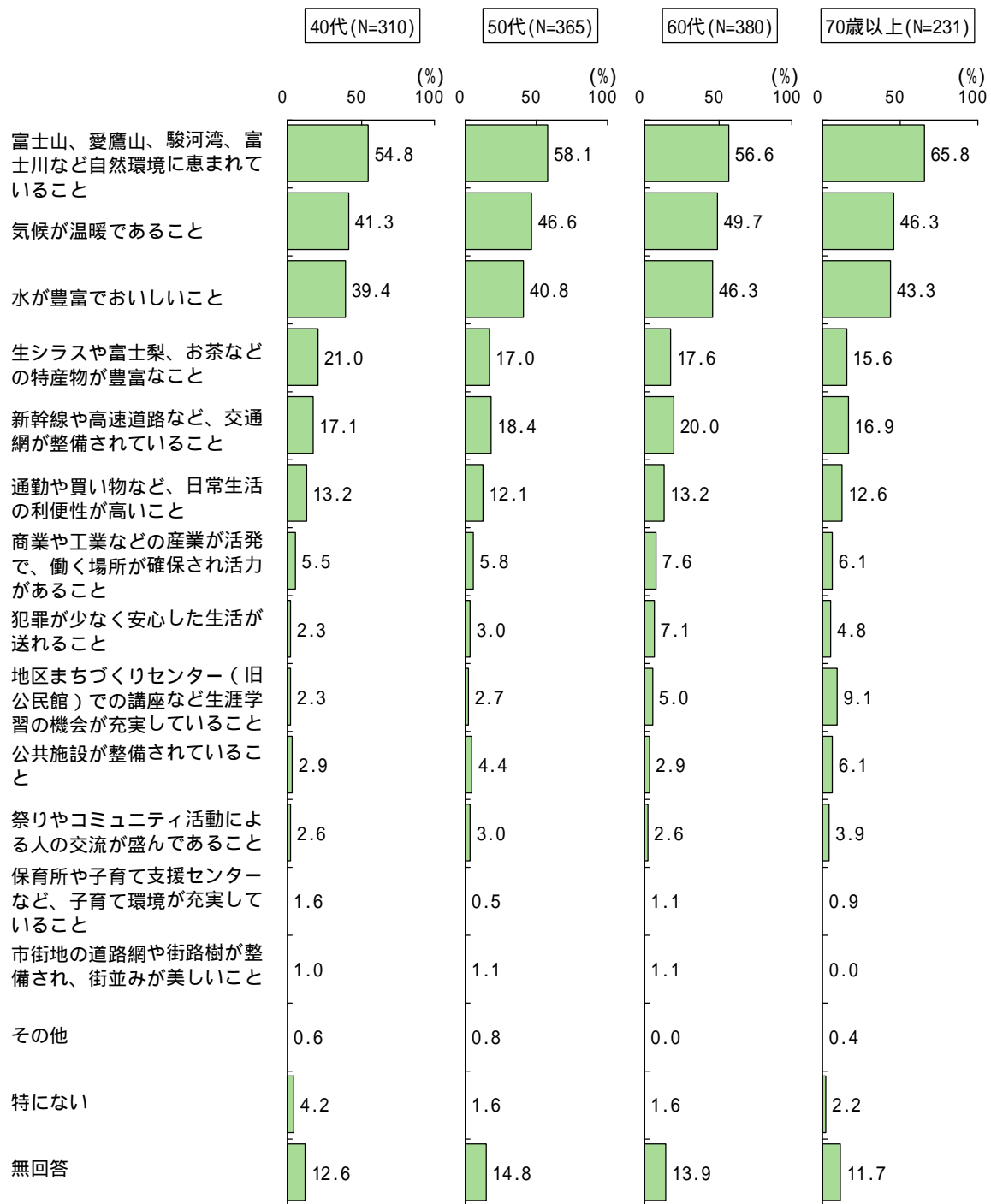
富士市に住んでいて、富士市がほかの市町村の人々に誇れると思うことはどのようなことかと尋ねたところ、「富士山、愛鷹山、駿河湾、富士川など自然環境に恵まれていること」と答えた人が最も多く、56.6%と半数を超えている。次いで「気候が温暖であること」43.9%、「水が豊富でおいしいこと」40.0%となっており、富士市の風土を誇れると思う人が、4割から5割を占めている。

年代別にみると、「富士山、愛鷹山、駿河湾、富士川など自然環境に恵まれていること」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で65.8%となっており、すべての年代で半数を占めている。「気候が温暖であること」と答えた人が最も多いのは、60代で49.7%となっており、30代以上は4割を超えている一方で、20代は31.9%と3割にとどまっている。

【性別・年代別】



調査結果

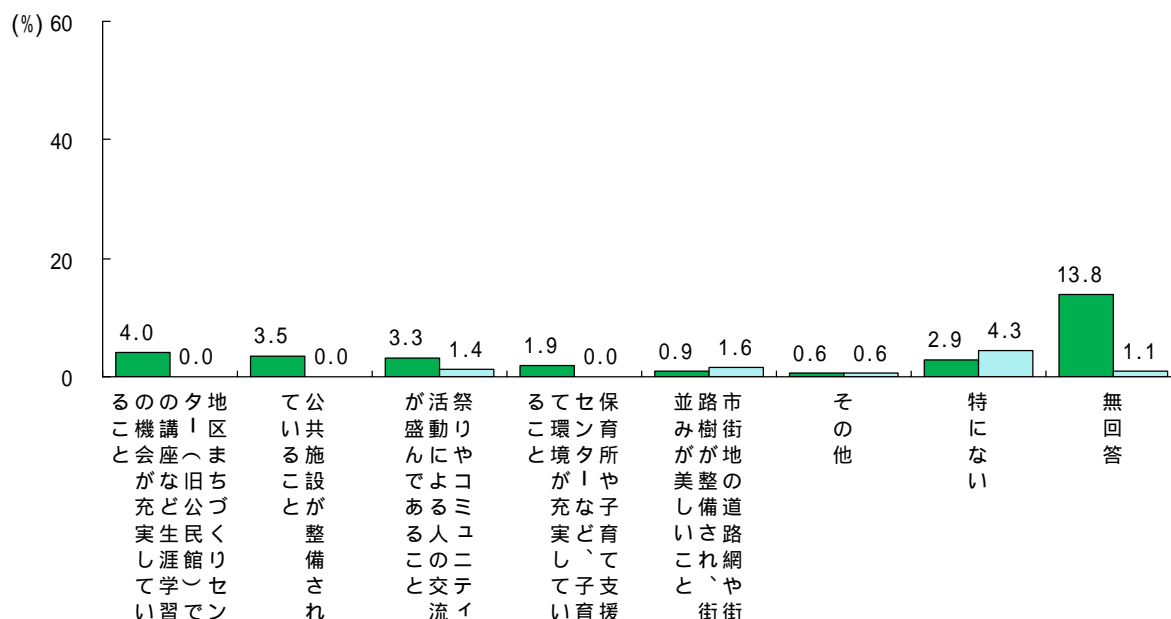
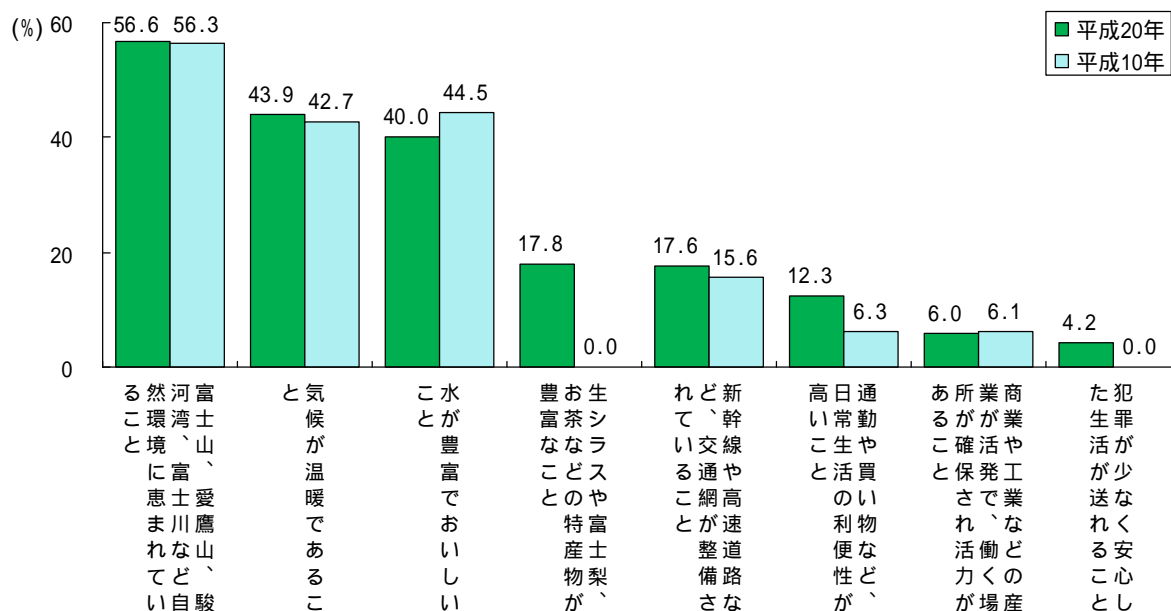


< 調査結果の経年比較 >

平成10年の調査結果と比較すると、「通勤や買い物など、日常生活の利便性が高いこと」は12.3%で、6.0%増加している。一方、「水が豊富でおいしいこと」は40.0%で、4.5%減少している。

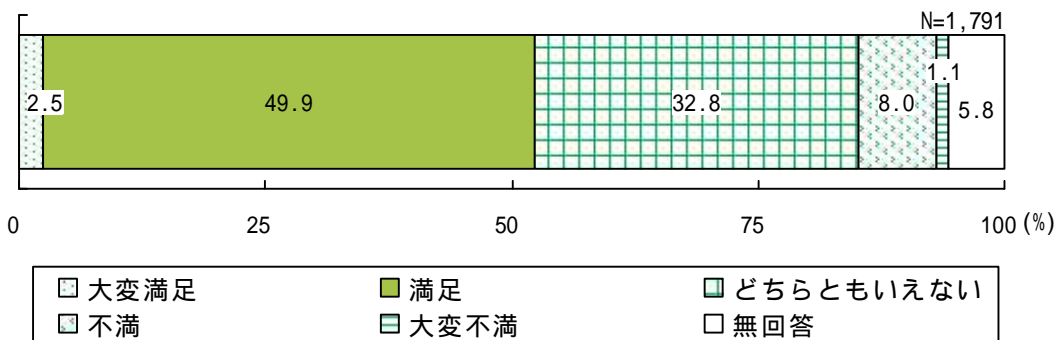
多い項目	平成20年	平成10年
富士山、愛鷹山、駿河湾、富士川など自然環境に恵まれていること	56.6%	56.3%
気候が温暖であること	43.9%	42.7%
水が豊富でおいしいこと	40.0%	44.5%
生シラスや富士梨、お茶などの特産物が豊富なこと	17.8%	-
新幹線や高速道路など、交通網が整備されていること	17.6%	15.6%
通勤や買い物など、日常生活の利便性が高いこと	12.3%	6.3%

平成10年は質問事項が9種類で2つ選択し回答、平成20年は質問事項が13種類で3つ選択し回答する方式となっている。



(6) 周辺環境・日常生活満足度

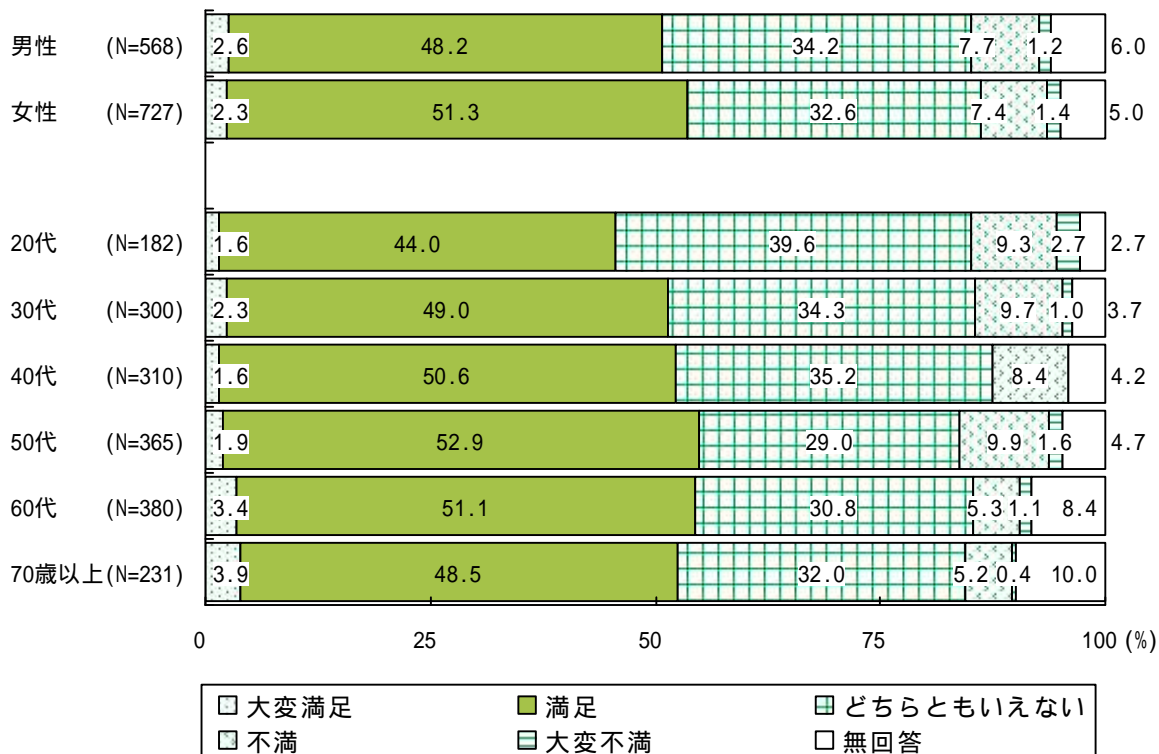
問4 あなたが住んでいる周辺の環境及び日常生活について、全体的にはどの程度満足していますか。次の中からあなたのお気持ちに最も近いものを1つだけ選んでください。



住んでいる周辺の環境及び日常生活について、全体的にはどの程度満足しているかと尋ねたところ、「大変満足」2.5%と、「満足」49.9%を合わせた“満足”が52.4%と半数を超えている。一方、「不満」8.0%と、「大変不満」1.1%を合わせた“不満”は9.1%と1割未満になっている。

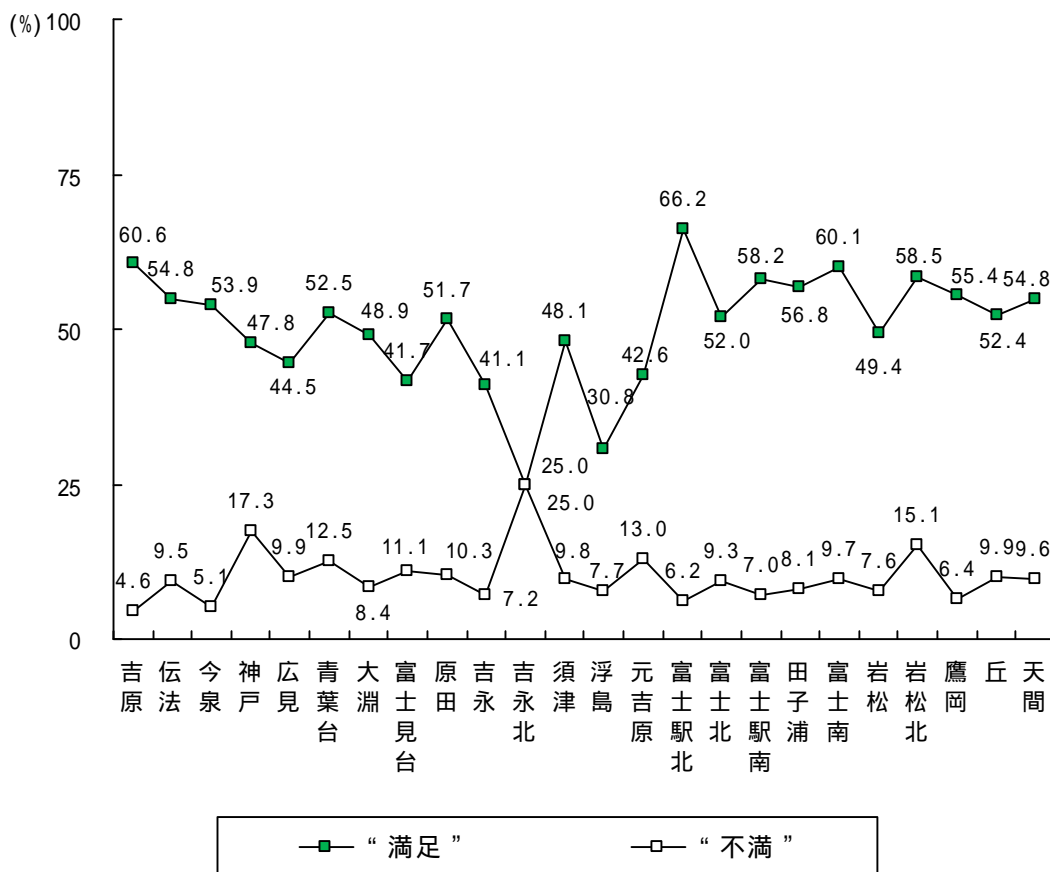
年代別にみると、“満足”と答えた人が最も多いのは、50代で54.8%となっており、30代以上はどの年代も半数を超えている。

【性別・年代別】



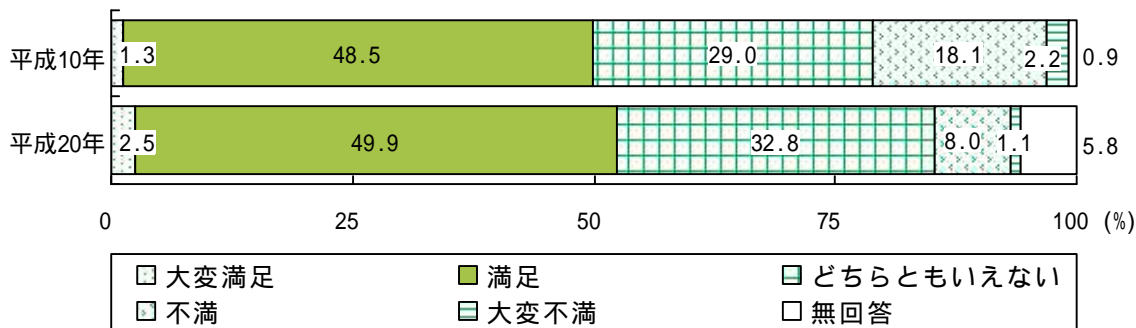
【居住地区別】

居住地区別にみると、“満足”が最も多いのは、「富士駅北」が66.2%で3人に2人の割合となっている。次いで「吉原」が60.6%、「富士南」が60.1%と、いずれも6割を超えている。一方、“不満”が最も多いのは、「吉永北」が25.0%で2割を超えている。次いで「神戸」が17.3%、「岩松北」が15.1%となっている。



< 調査結果の経年比較 >

平成10年の調査結果と比較すると、“満足”は52.4%で、2.6%増加している。どちらともいえないは32.8%で、3.8%増加している。一方、“不満”は9.1%で、11.2%減少している。

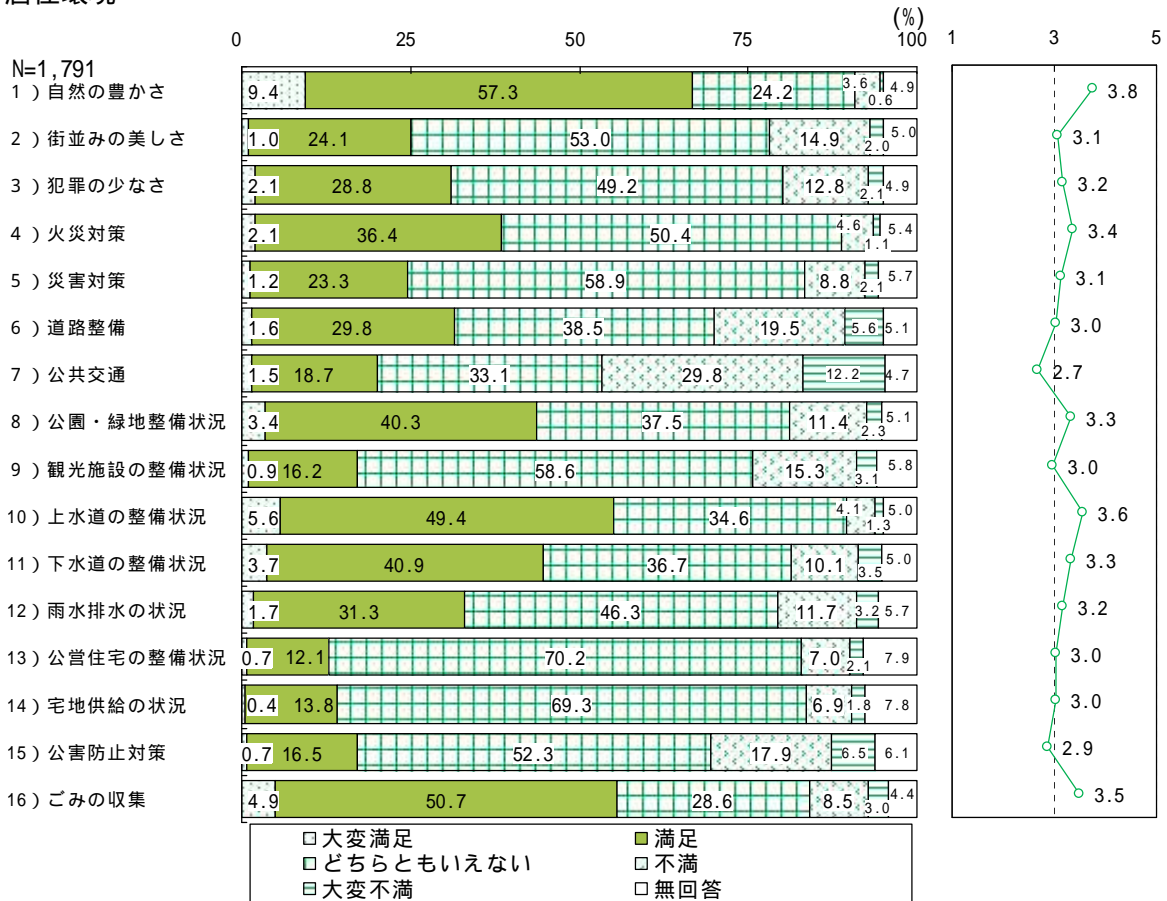




(7) 周辺環境・日常生活の項目ごとの満足度

問5 あなたが住んでいる周辺の環境及び日常生活において、次のそれぞれの項目について、どの程度満足していますか。あなたのお気持ちに近いものを1つずつ選んでください。

居住環境



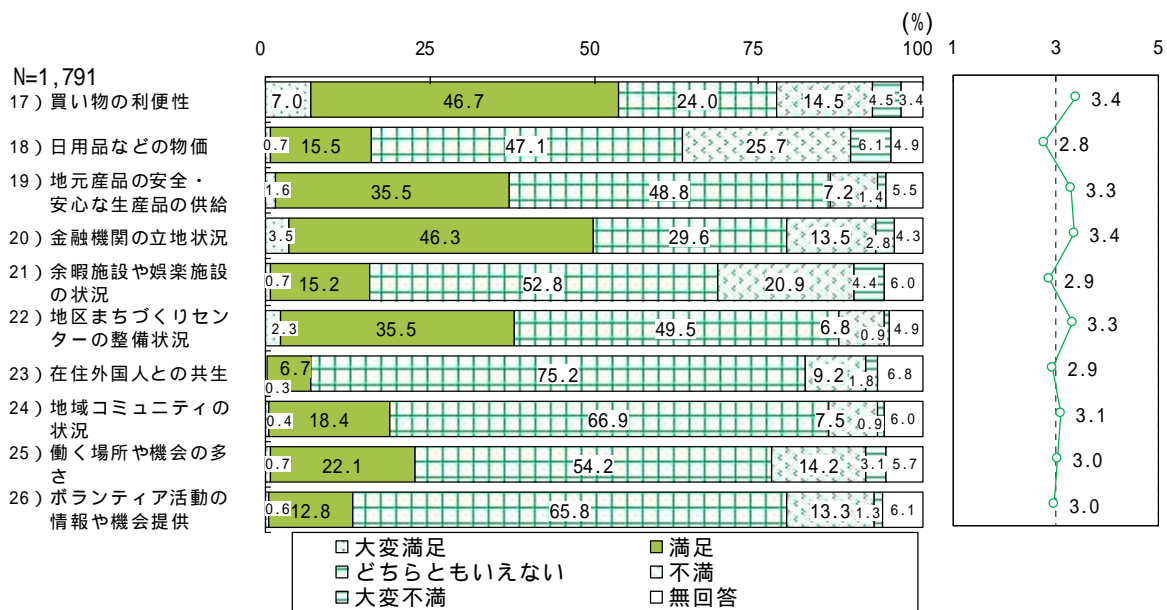
住んでいる周辺の環境及び日常生活の項目ごとの満足度を尋ねたところ、居住環境で「大満足」と「満足」を合わせた“満足”が最も多いのは、「自然の豊かさ」で、66.7%となっている。次いで「ごみの収集」が55.6%、「上水道の整備状況」が55.0%と、いずれも5割を超えている。一方、「不満」と「大満足」を合わせた“不満”が最も多いのは、「公共交通」で、42.0%と4割を超えている。次いで「道路整備」が25.1%、「公害防止対策」が24.4%と、いずれも2割を超えている。

満足度が高い項目は、「自然の豊かさ」が3.8点、「上水道の整備状況」が3.6点となっている。

満足度の加点方法

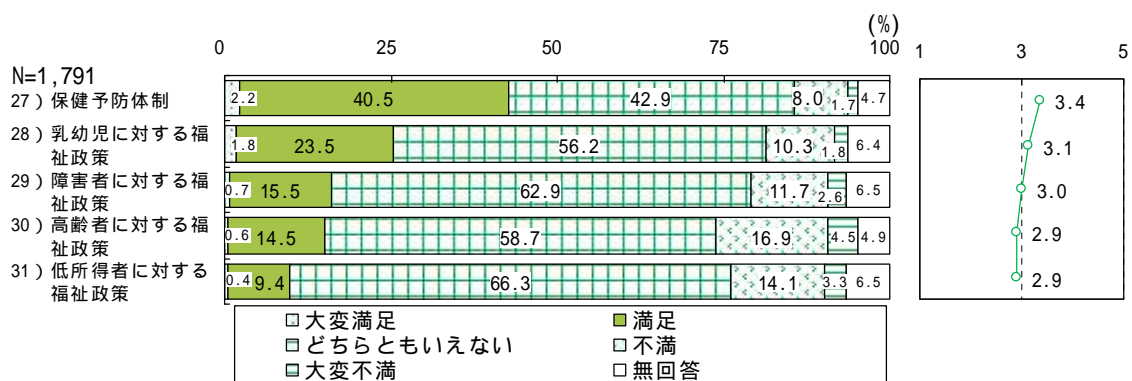
大満足(5点) 満足(4点) どちらともいえない(3点) 不満(2点) 大満足(1点)

生活



住んでいる周辺の環境及び日常生活の項目ごとの満足度を尋ねたところ、生活で“満足”が最も多いのは、「買い物の利便性」で、53.7%と5割を超えている。次いで「金融機関の立地状況」が49.8%、「地区まちづくりセンターの整備状況」が37.8%、「地元産品の安全・安心な生産品の供給」が37.1%となっている。一方、“不満”が最も多いのは「日用品などの物価」で、31.8%と3割を超えている。満足度が高い項目は、「買い物の利便性」が3.4点、「金融機関の立地状況」が3.4点となっている。

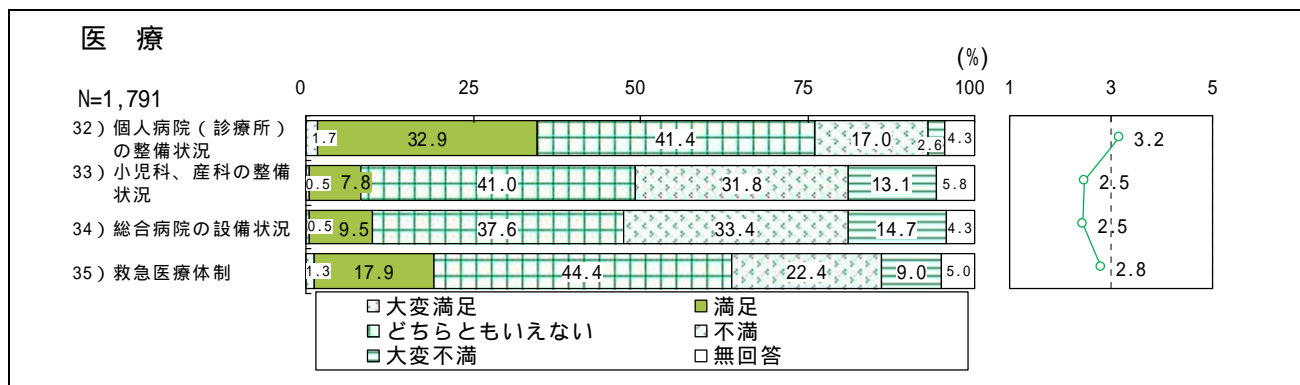
保健・福祉



住んでいる周辺の環境及び日常生活の項目ごとの満足度を尋ねたところ、保健・福祉で“満足”が最も多いのは、「保健予防体制」で、42.7%と4割を超えている。一方、“不満”が最も多いのは、「高齢者に対する福祉政策」で、21.4%と2割を超えている。満足度が高い項目は、「保健予防体制」が3.4点となっている。

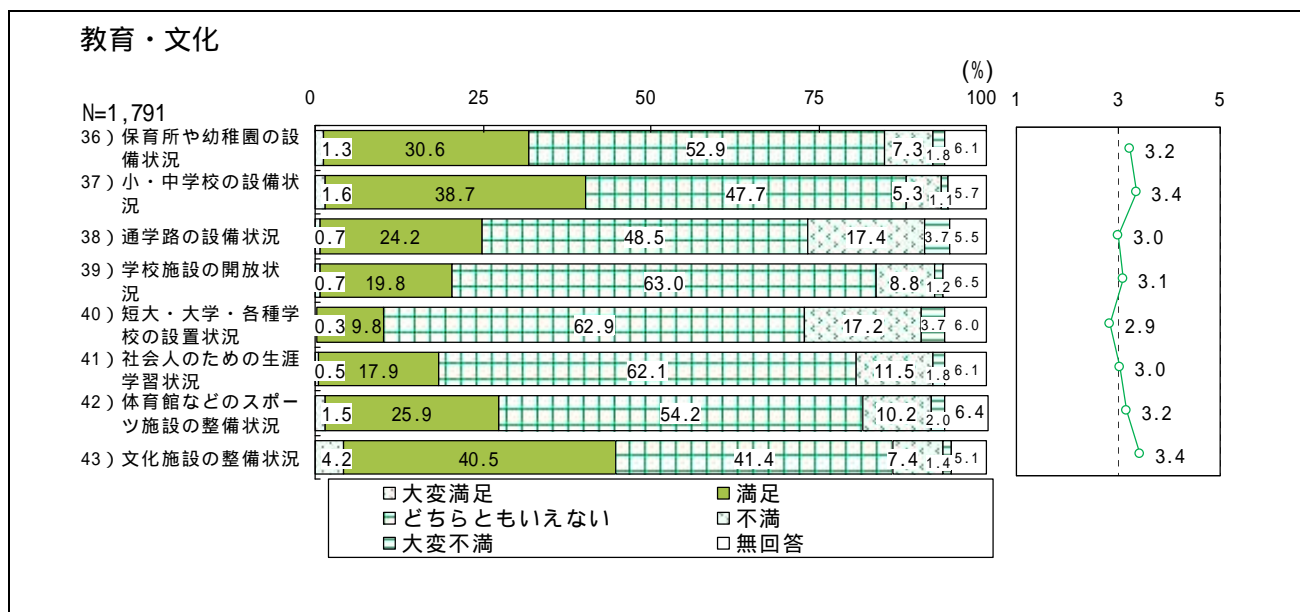
満足度の加点方法

大満足 (5点) 満足 (4点) どちらともいえない (3点) 不満 (2点) 大不満 (1点)



住んでいる周辺の環境及び日常生活の項目ごとの満足度を尋ねたところ、医療で“満足”が最も多いのは、「個人病院(診療所)の整備状況」で、34.6%となっている。一方、“不満”が最も多いのは、「総合病院の設備状況」で、48.1%とほぼ半数を占めている。次いで「小児科、産科の整備状況」が44.9%、「救急医療体制」が31.4%となっており、医療は“満足”と答える人の割合より、“不満”と答える人の割合が高くなっている。

満足度が低い項目は、「小児科、産科の整備状況」が2.5点、「総合病院の設備状況」が2.5点となっている。



住んでいる周辺の環境及び日常生活の項目ごとの満足度を尋ねたところ、教育・文化で“満足”が最も多いのは、「文化施設の整備状況」で、44.7%となっている。次いで「小・中学校の設備状況」が40.3%、「保育所や幼稚園の設備状況」が31.9%となっている。

満足度が高い項目は、「小・中学校の設備状況」が3.4点、「文化施設の整備状況」が3.4点となっている。

#### 満足度の加点方法

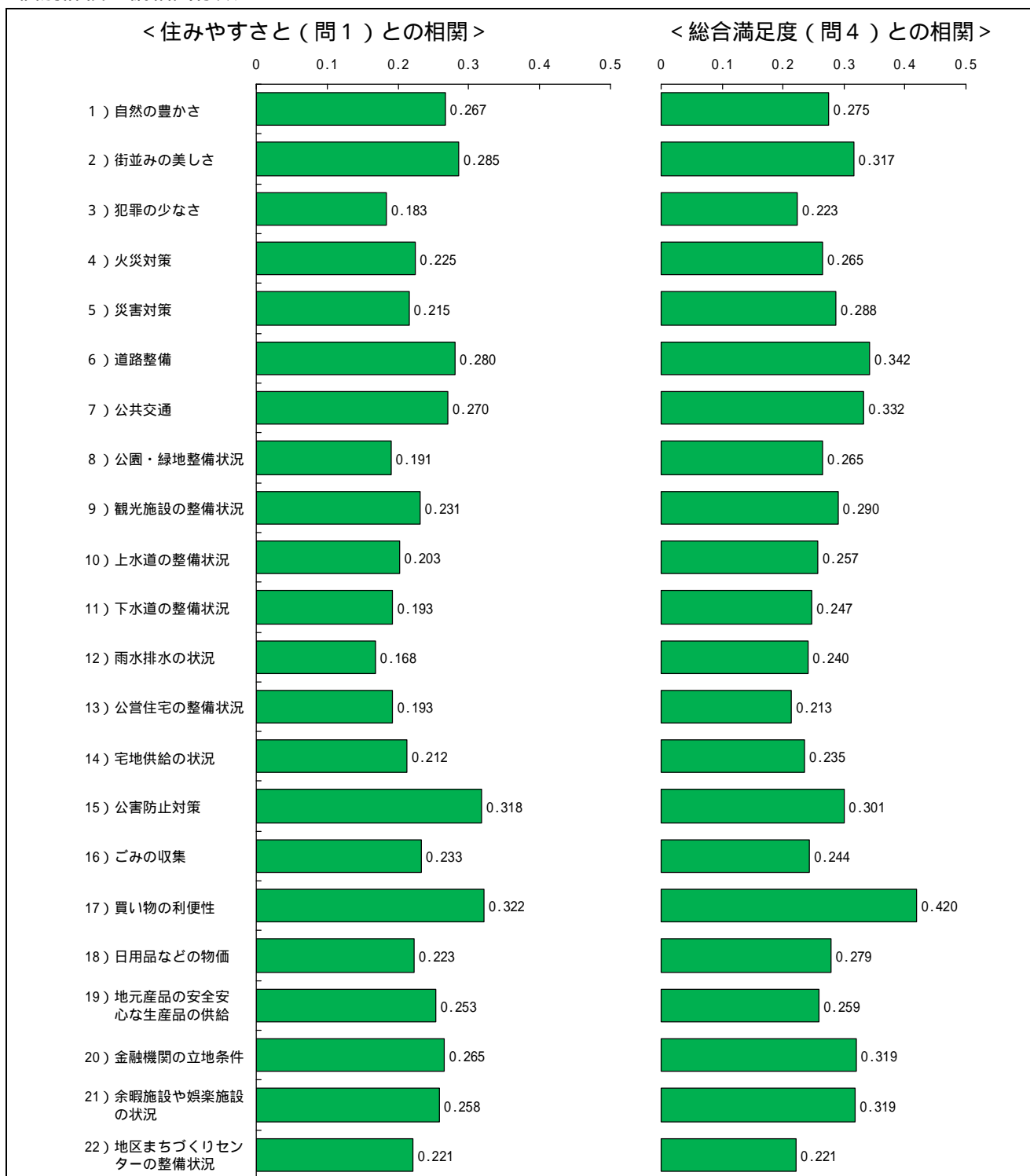
大変満足(5点)    満足(4点)    どちらともいえない(3点)    不満(2点)    大変不満(1点)

## (7) - 1 個別評価と住みやすさの相関

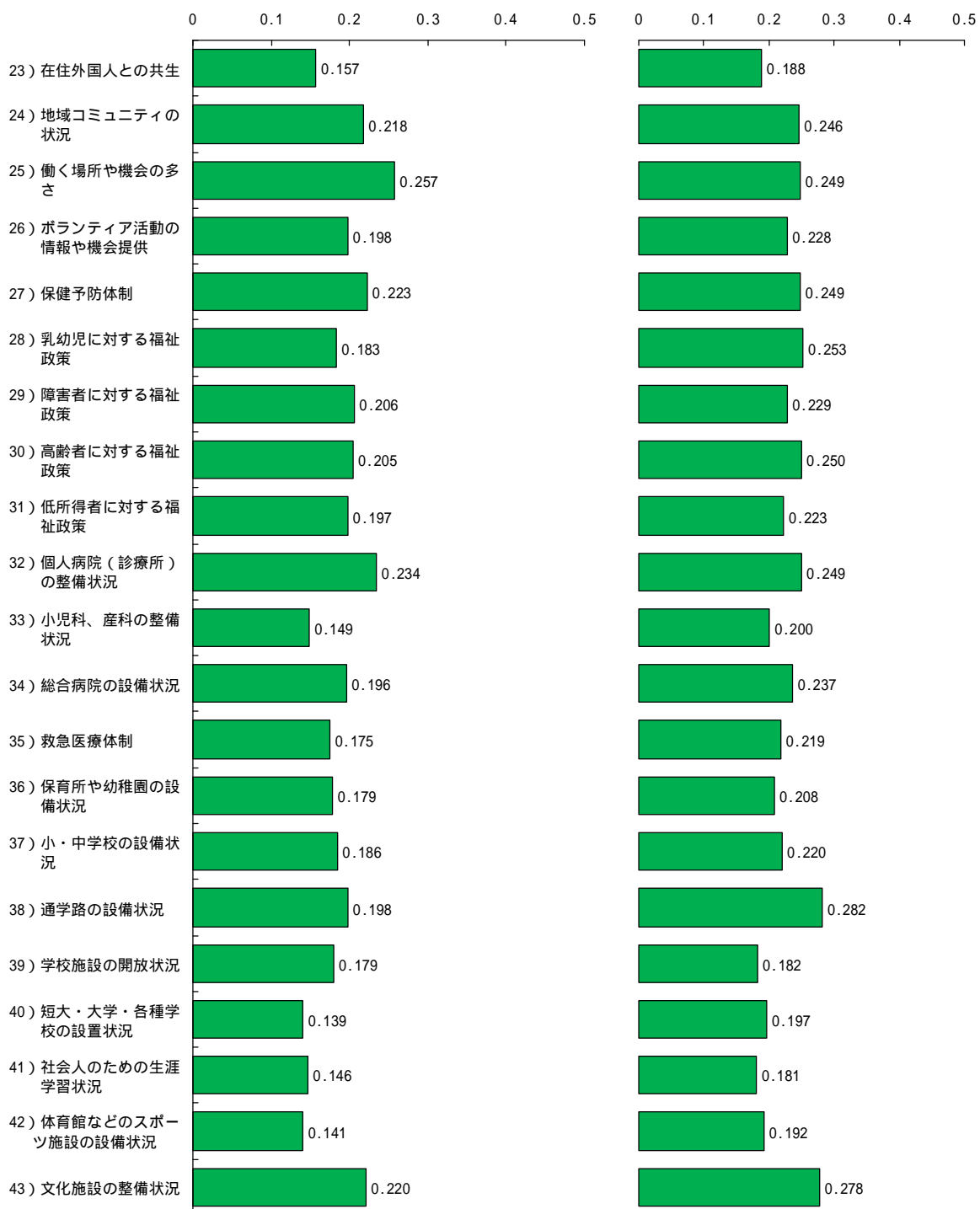
ここでは、43項目に細分化した個別評価が住みやすさ（問1）とどの程度相関関係を持っているか把握するため、偏相関係数を算出した。偏相関係数は+1から-1までの値をとり、相関が全くないときは0となる。偏相関係数が高い項目は、「買い物の利便性」、「公害防止対策」、「道路整備」であり、これらの項目の満足度が高ければ、それだけ住みやすいと感じる傾向が強いといえる。

また、地区の環境や日常生活の総合的な満足度（問4）との偏相関係数を算出したところ、「買い物の利便性」、「道路整備」、「公害防止対策」などが高く、住みやすさとの相関とほぼ同様の傾向を示している。

## 個別評価の偏相関係数



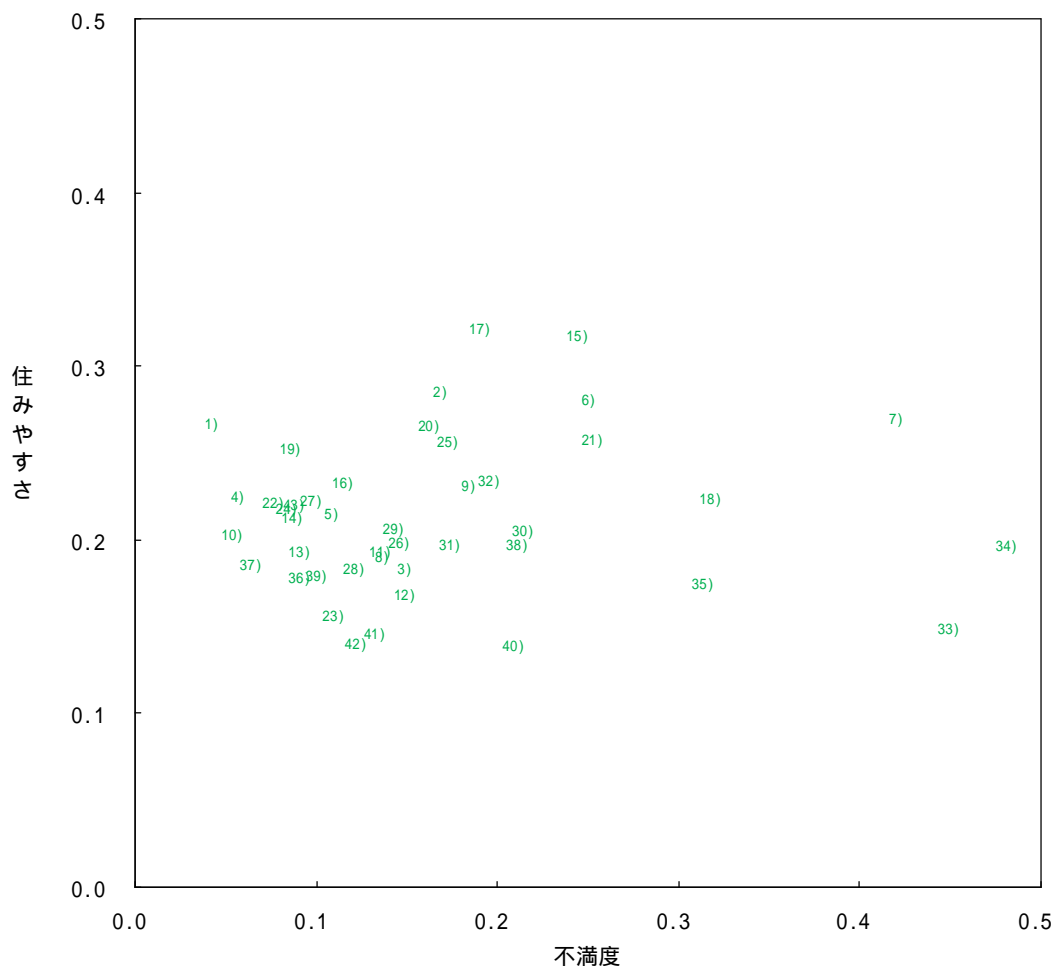
調査結果



ここで算出した偏相関係数は、傾向を示すためだけのものであるため、次に43項目の不満足度(「不満」、  
「大変不満」と回答した人の割合)と住みやすさ(問1)の関係をみることにする。

図の上方に位置するのは不満足度の高い項目、右側に位置するのは偏相関係数の高い項目であり、右上  
に位置する項目ほど不満足が高く、住みやすさを改善するためには検討すべき項目といえる。

住みやすさと偏相関係数と不満足度の関係



1) 自然の豊かさ	16) ごみの収集	31) 低所得者に対する福祉政策
2) 街並みの美しさ	17) 買い物の利便性	32) 個人病院(診療所)の整備状況
3) 犯罪の少なさ	18) 日用品などの物価	33) 小児科、産科の整備状況
4) 火災対策	19) 地元産品の安全・安心な生産品の供給	34) 総合病院の設備状況
5) 災害対策	20) 金融機関の立地条件	35) 救急医療体制
6) 道路整備	21) 余暇施設や娯楽施設の状況	36) 保育所や幼稚園の設備状況
7) 公共交通	22) 地区まちづくりセンターの整備状況	37) 小・中学校の設備状況
8) 公園・緑地整備状況	23) 在住外国人との共生	38) 通学路の設備状況
9) 観光施設の整備状況	24) 地域コミュニティの状況	39) 学校施設の開放状況
10) 上水道の整備状況	25) 働く場所や機会の多さ	40) 短大・大学・各種学校の設置状況
11) 下水道の整備状況	26) ボランティア活動の情報や機会提供	41) 社会人のための生涯学習状況
12) 雨水排水の状況	27) 保健予防体制	42) 体育館などのスポーツ施設の設備状況
13) 公営住宅の整備状況	28) 乳幼児に対する福祉政策	43) 文化施設の整備状況
14) 宅地供給の状況	29) 障害者に対する福祉政策	
15) 公害防止対策	30) 高齢者に対する福祉政策	



調査結果

(7) - 2 個別評価の因子分析

因子分析とは、多数の質問の中から共通な因子を取り出し、それがどのような因子であるかを想定する手法である。そこで、43項目の個別満足度がそれぞれどのような結びつきを持っているか調べるため、関連の強い項目をいくつかの因子にまとめてみた。(因子分析)

下表は因子分析で得られた因子負荷量であり、選択肢ごとの回答傾向の結びつきをあらわしている。下表の空欄にも実際は数値があるが、8つの因子に対して最も高い因子の数値のみを拾い、表に示している。

その結果、8つのグループに分けられ、それぞれの因子に振り分けられた項目から判断し、名称を与えるとすれば、第1因子は「福祉・保健」、第2因子は「地域・学習」、第3因子は「都市・生活」、第4因子は「医療・教育」、第5因子は「水環境」、第6因子は「居住環境」、第7因子は「安心・安全」、第8因子は「美観」と解釈できる。

因子負荷量

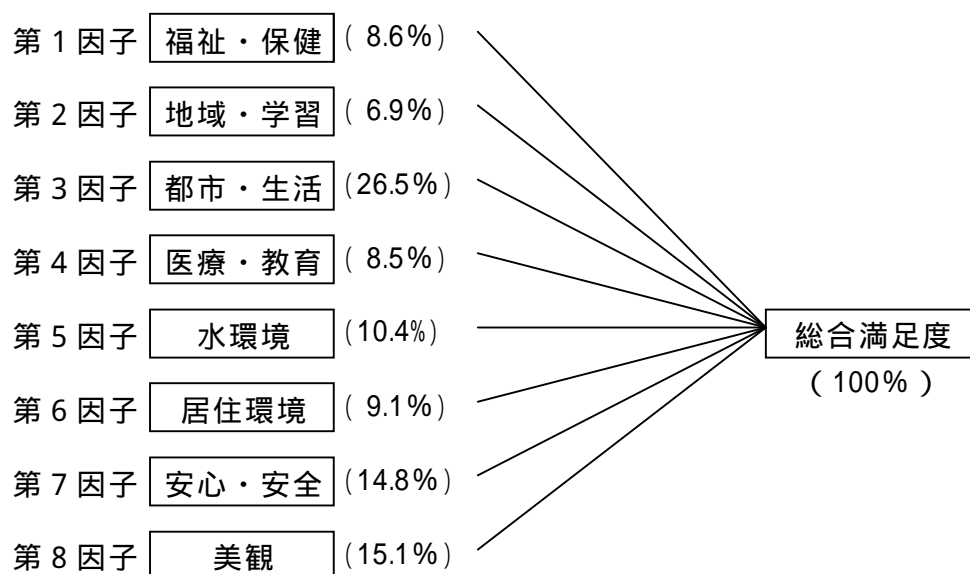
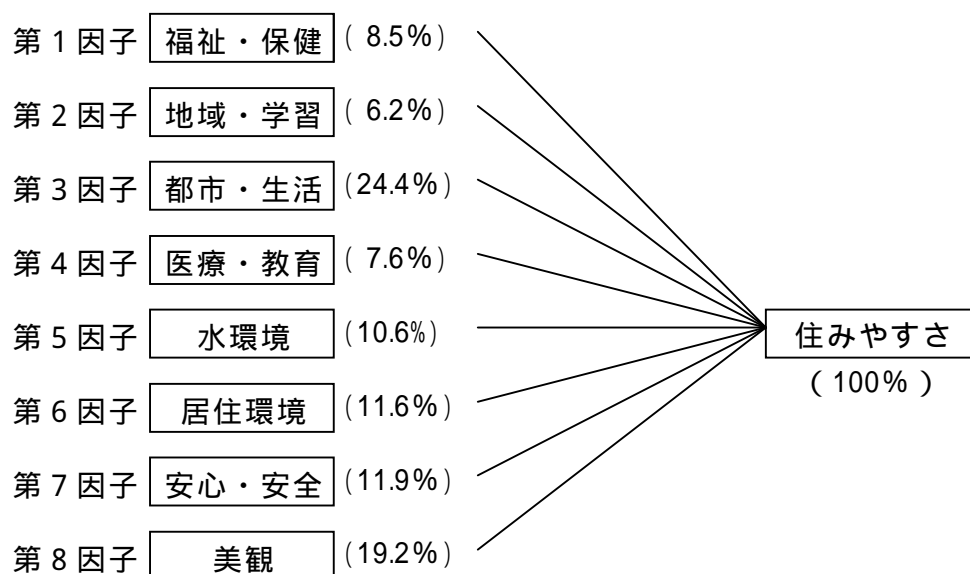
	第1因子 福祉・保健	第2因子 地域・学習	第3因子 都市・生活	第4因子 医療・教育	第5因子 水環境	第6因子 居住環境	第7因子 安心・安全	第8因子 美観
居住環境	1) 自然の豊かさ							0.710
	2) 街並みの美しさ							0.537
	3) 犯罪の少なさ						0.583	
	4) 火災対策						0.658	
	5) 災害対策						0.688	
	6) 道路整備			0.395				
	7) 公共交通			0.548				
	8) 公園・緑地整備状況			0.477				
	9) 観光施設の整備状況						0.471	
	10) 上水道の整備状況					0.728		
	11) 下水道の整備状況					0.730		
	12) 雨水排水の状況					0.528		
	13) 公営住宅の整備状況						0.638	
	14) 宅地供給の状況						0.696	
	15) 公害防止対策						0.397	
	16) ごみの収集							0.292
生活	17) 買い物の利便性		0.704					
	18) 日用品などの物価		0.525					
	19) 地元産品の安全・安心な生産品の供給		0.443					
	20) 金融機関の立地条件		0.564					
	21) 余暇施設や娯楽施設の状況		0.512					
	22) 地区まちづくりセンターの整備状況		0.391					
	23) 在住外国人との共生						0.443	
	24) 地域コミュニティの状況		0.458					
	25) 働く場所や機会の多さ			0.368				
	26) ボランティア活動の情報や機会提供	0.454						
福祉・保健	27) 保健予防体制	0.613						
	28) 乳幼児に対する福祉政策	0.671						
	29) 障害者に対する福祉政策	0.731						
	30) 高齢者に対する福祉政策	0.704						
	31) 低所得者に対する福祉政策	0.665						
医療	32) 個人病院(診療所)の整備状況			0.466				
	33) 小児科、産科の整備状況			0.652				
	34) 総合病院の設備状況			0.702				
	35) 救急医療体制			0.651				
	36) 保育所や幼稚園の設備状況			0.536				
教育・文化	37) 小・中学校の設備状況			0.494				
	38) 通学路の設備状況			0.500				
	39) 学校施設の開放状況		0.491					
	40) 短大・大学・各種学校の設置状況		0.607					
	41) 社会人のための生涯学習状況		0.711					
	42) 体育館などのスポーツ施設の設備状況		0.709					
	43) 文化施設の整備状況		0.575					



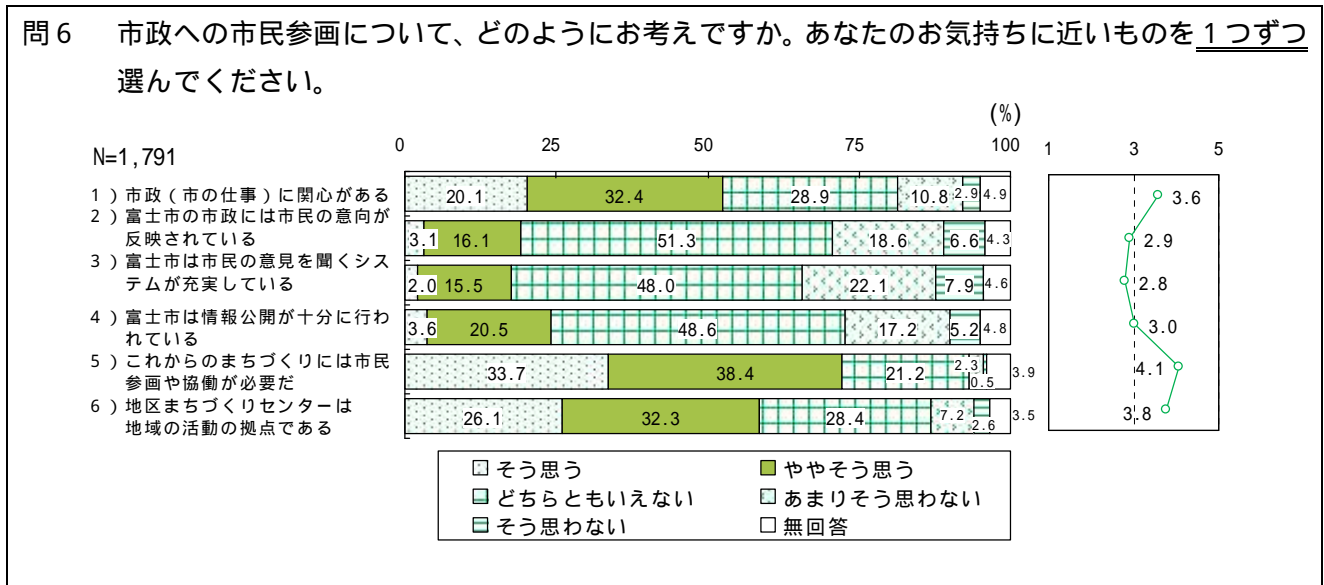
## (7) - 3 満足度因子と住みやすさ、総合満足度との関係

因子分析によって得られた8つの因子と住みやすさ(問1)との関係を見るため、重回帰分析を行った。その結果、第3因子の「都市・生活」、第8因子の「美観」が住みやすさに与える影響が強いといえる。

また、総合満足度(問4)との関係でも、第3因子の「都市・生活」、第8因子の「美観」、第7因子の「安心・安全」の順に与える影響が強いことを示している。

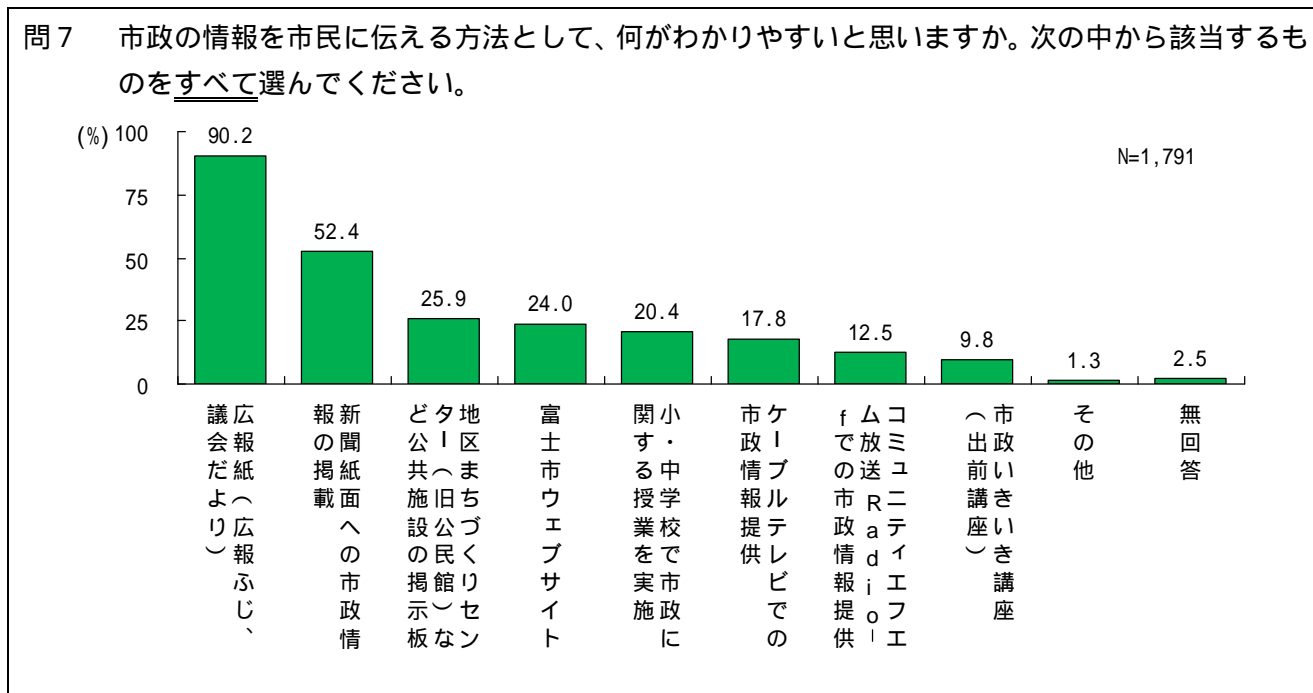


(8) 市政への市民参画について



市政への市民参画についての考えを尋ねたところ、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた“そう思う”が最も多いのは、「これからのまちづくりには市民参画や協働が必要だ」で、72.1%と7割を超えている。次いで「地区まちづくりセンター(旧公民館)は地域の活動の拠点である」が58.4%、「市政(市の仕事)に関心がある」が52.5%と、いずれも半数を超えている。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も多いのは、「富士市は市民の意見を聞くシステムが充実している」で、30.0%と3割を占めている。

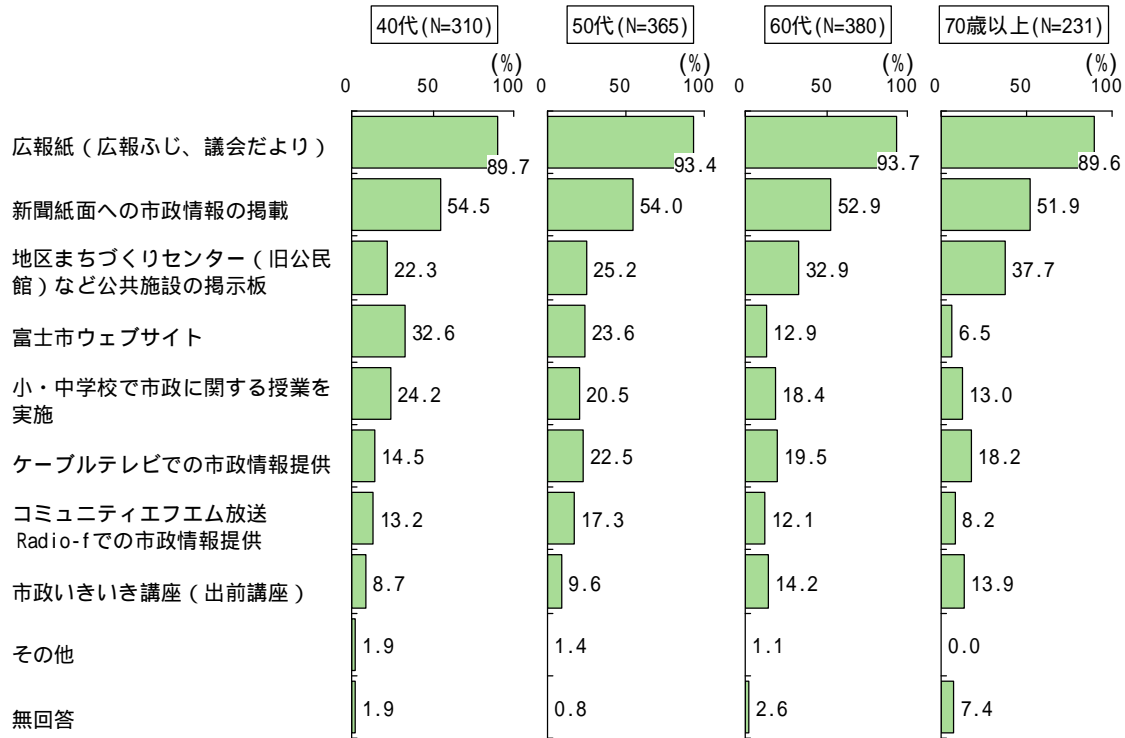
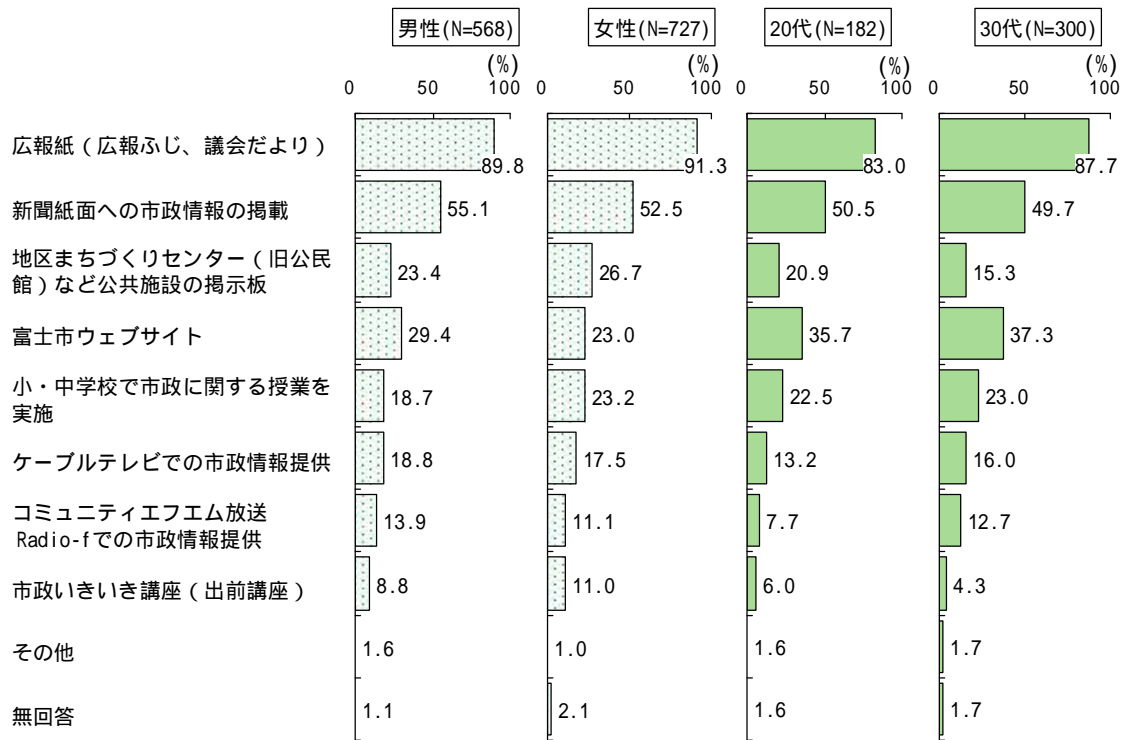
## (9) 市政の情報を伝える方法としてわかりやすいもの



市政の情報を市民に伝える方法として何がわかりやすいかと尋ねたところ、「広報紙(広報ふじ、議会だより)」と答えた人が最も多く、90.2%と9割を占めている。次いで「新聞紙面への市政情報の掲載」が、52.4%と半数を超えている。「地区まちづくりセンター(旧公民館)など公共施設の掲示板」が25.9%、「富士市ウェブサイト」が24.0%、「小・中学校で市政に関する授業を実施」が20.4%と、いずれも2割を占めている。

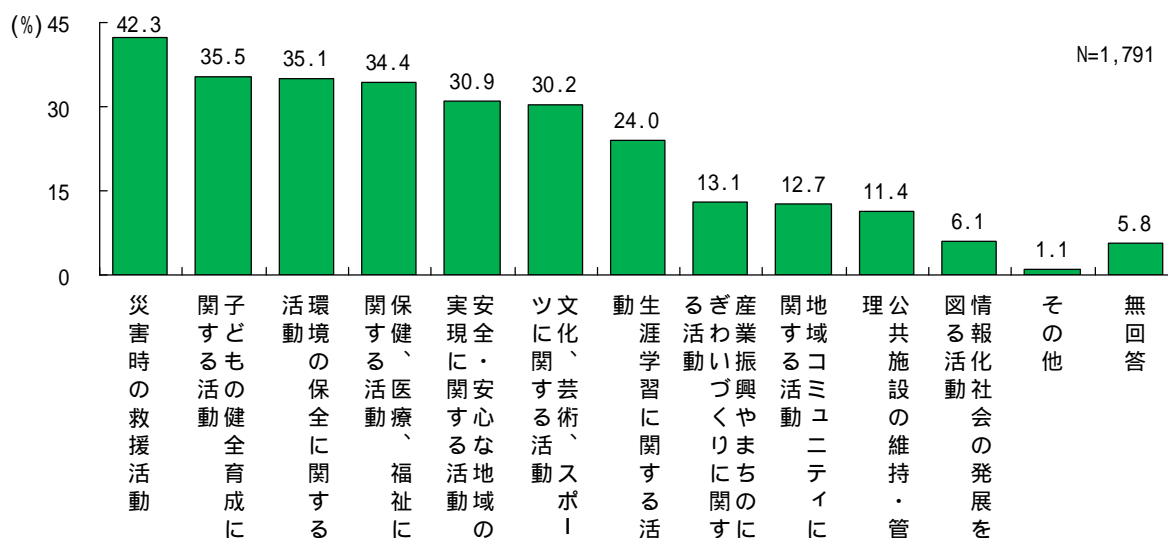
年代別にみると、「広報紙(広報ふじ、議会だより)」と答えた人が最も多いのは、60代で93.7%となっており、50代・60代は9割を超えている。「地区まちづくりセンター(旧公民館)など公共施設の掲示板」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で37.7%となっており、60代・70歳以上は3割を超えている。「富士市ウェブサイト」と答えた人が最も多いのは、30代で37.3%となっており、20代から40代までは3割を超えている一方で、60代・70歳以上は1割前後にとどまっている。

【性別・年代別】



## (10) 協働のまちづくりをする中で参加してもよいと思う活動

問8 市民と行政による協働のまちづくりを進めていく中で、あなたはどのような活動なら参加してもよいと思いますか。次の中から該当するものをすべて選んでください。

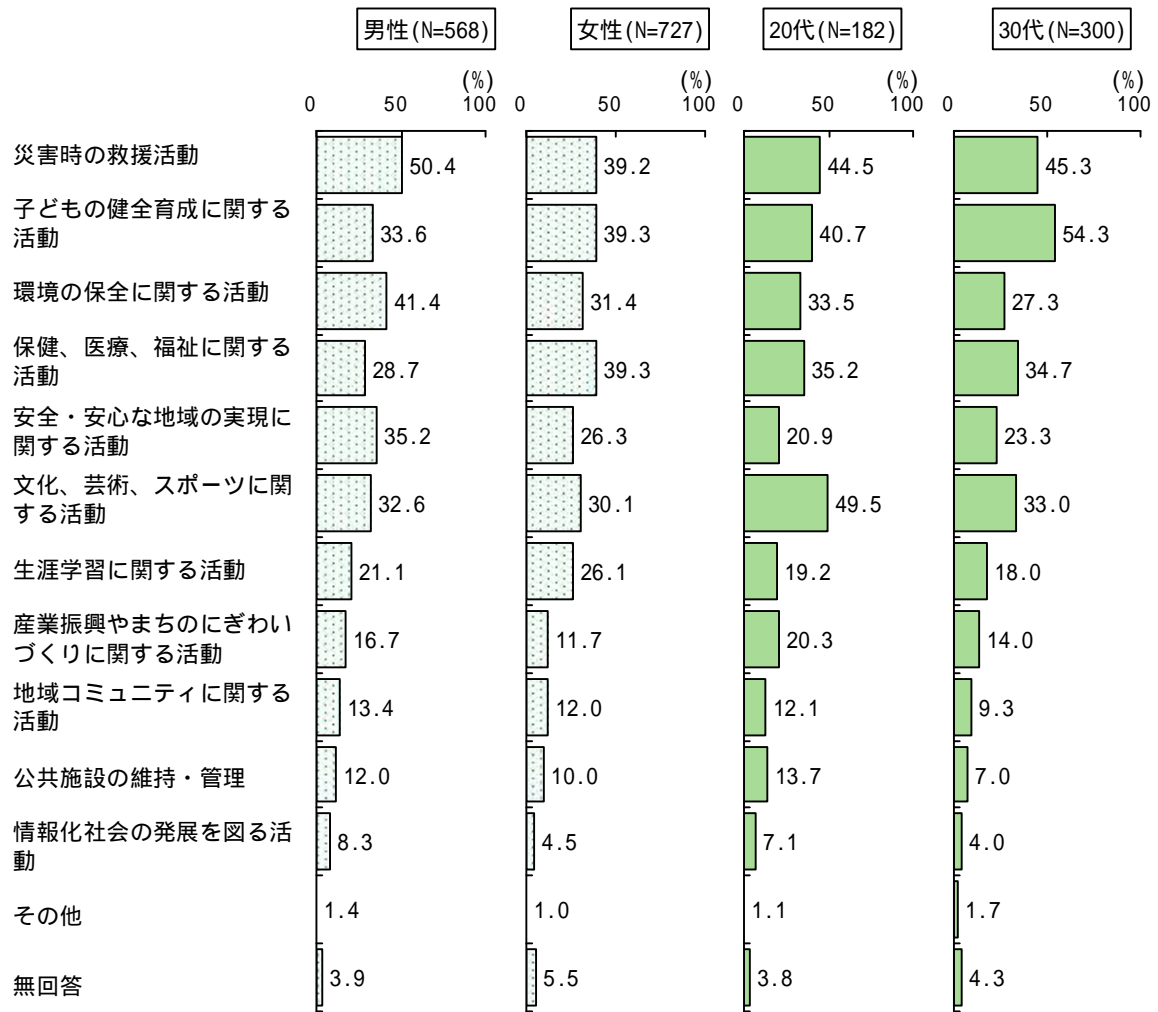


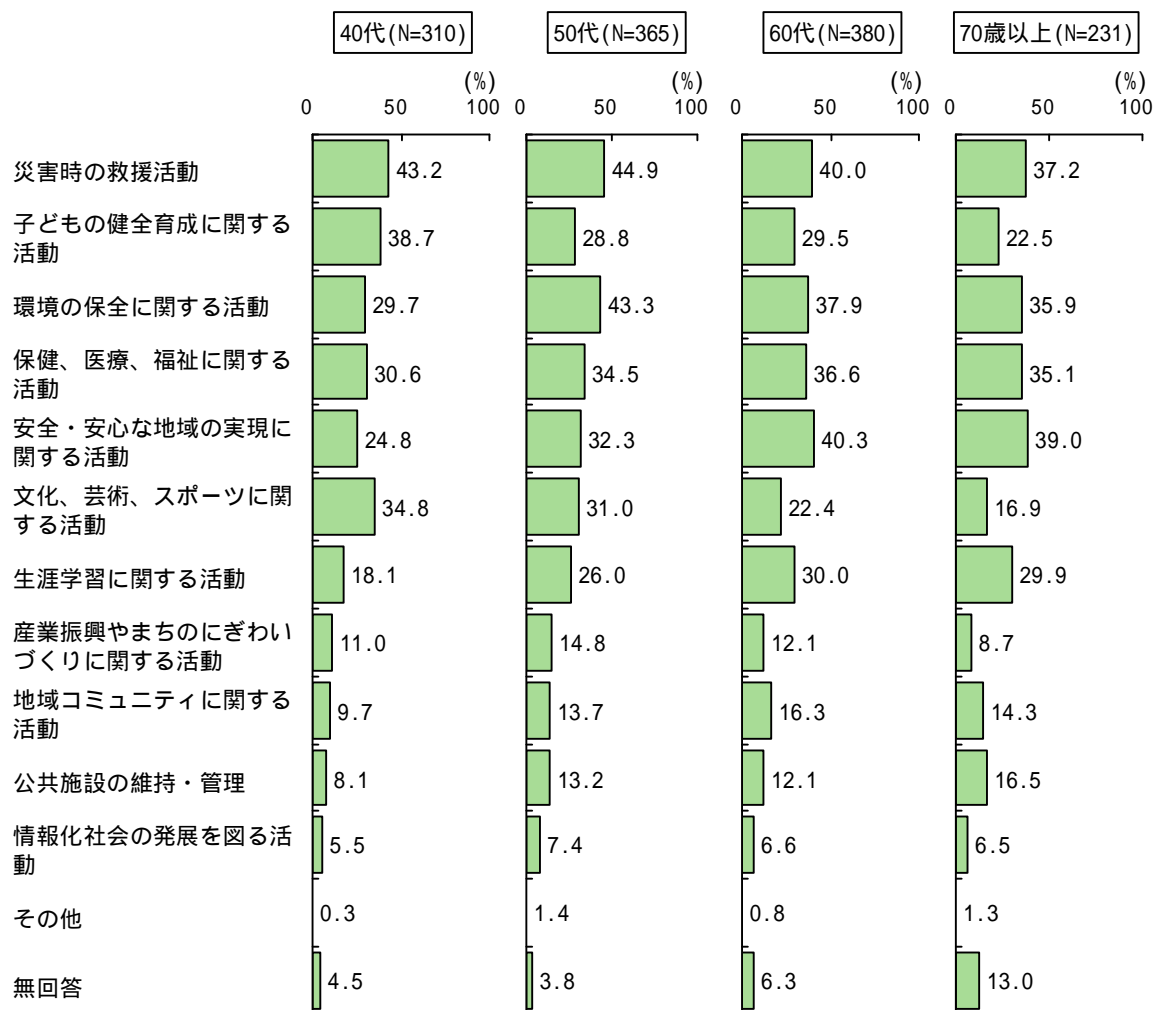
市民と行政による協働のまちづくりをする中で参加してもよいと思う活動を尋ねたところ、「災害時の救援活動」と答えた人が最も多く、42.3%となっている。次いで「子どもの健全育成に関する活動」が35.5%、「環境の保全に関する活動」が35.1%、「保健、医療、福祉に関する活動」が34.4%、「安全・安心な地域の実現に関する活動」が30.9%、「文化、芸術、スポーツに関する活動」が30.2%と、いずれも3割を超えている。

性別にみると、「災害時の救援活動」と答えた男性は50.4%と、女性より11.2ポイント高くなっている。「環境の保全に関する活動」と答えた男性は41.4%と、女性より10.0ポイント高くなっている。「保健、医療、福祉に関する活動」と答えた女性は39.3%と、男性より10.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「子どもの健全育成に関する活動」と答えた人が最も多いのは、30代で54.3%と半数を超えている一方で、70歳以上は22.5%と2割程度にとどまっている。「文化、芸術、スポーツに関する活動」と答えた人が最も多いのは、20代で49.5%と半数を占めている一方で、70歳以上は1割台にとどまっている。

【性別・年代別】

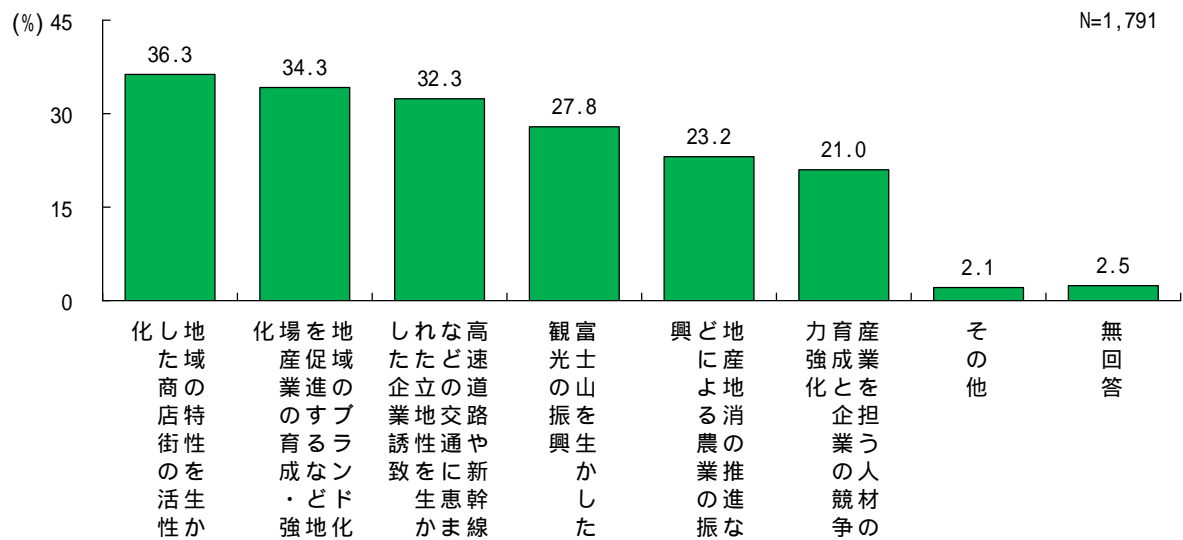






(11) 産業を振興し活性化させるために必要なこと

問9 まちの活力の維持・発展の観点から、市の産業を振興し活性化させるために、何が重要だと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。

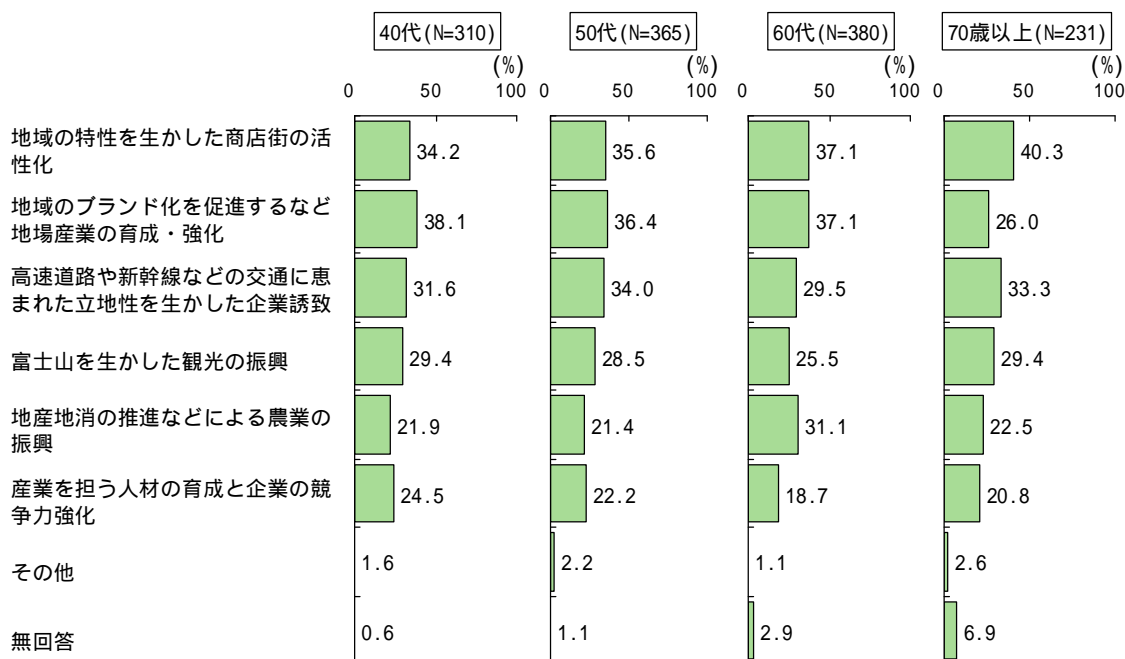
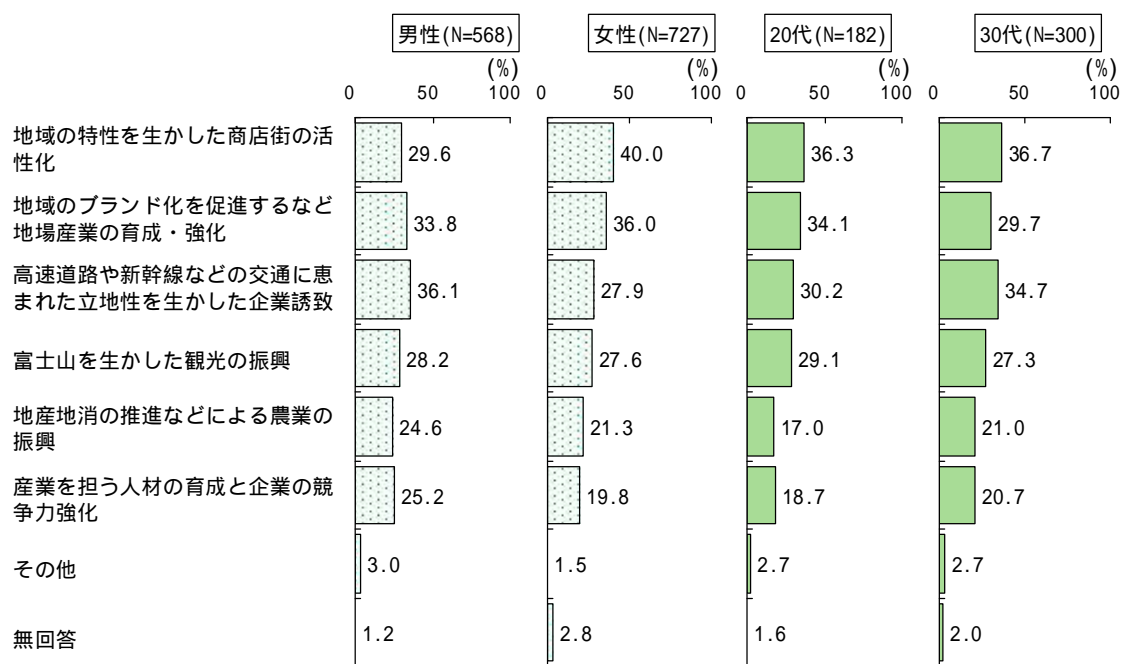


富士市の産業を振興し活性化させるために何が重要か尋ねたところ、「地域の特性を生かした商店街の活性化」と答えた人が最も多く、36.3%となっている。次いで「地域のブランド化を促進するなど地場産業の育成・強化」が34.3%、「高速道路や新幹線などの交通に恵まれた立地性を生かした企業誘致」が32.3%と、いずれも3割を超えている。

性別にみると、「地域の特性を生かした商店街の活性化」と答えた女性は40.0%と、男性より10.4ポイント高くなっている。

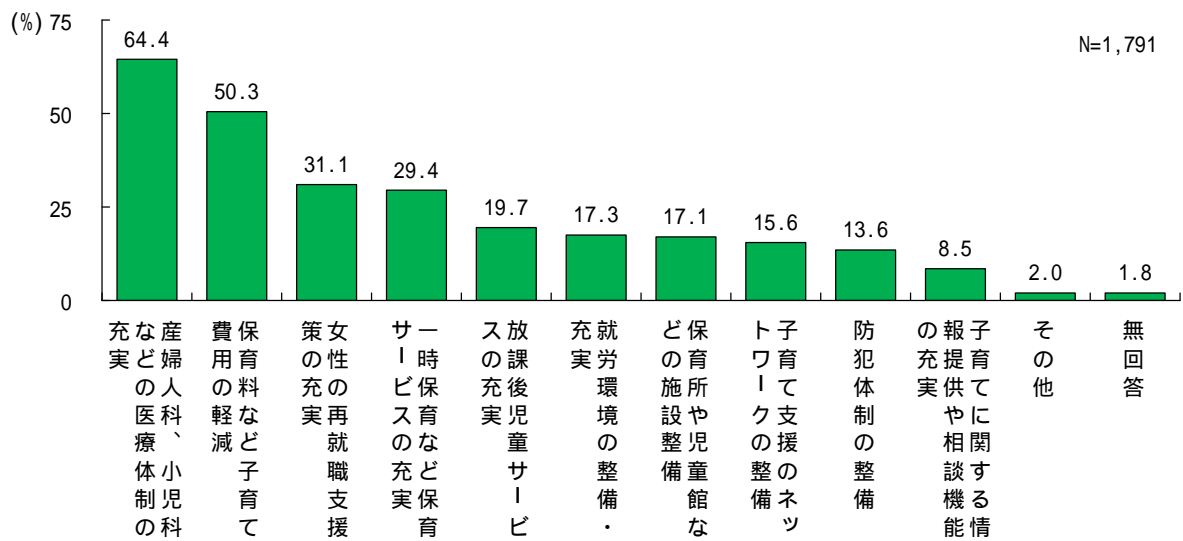
年代別にみると、「地域の特性を生かした商店街の活性化」と答えたのが最も多いのは、70歳以上で40.3%と4割を占めている。「地産地消の推進などによる農業の振興」と答えたのが最も多いのは、60代で31.1%と3割を占めている。

【性別・年代別】



(12) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに必要なこと

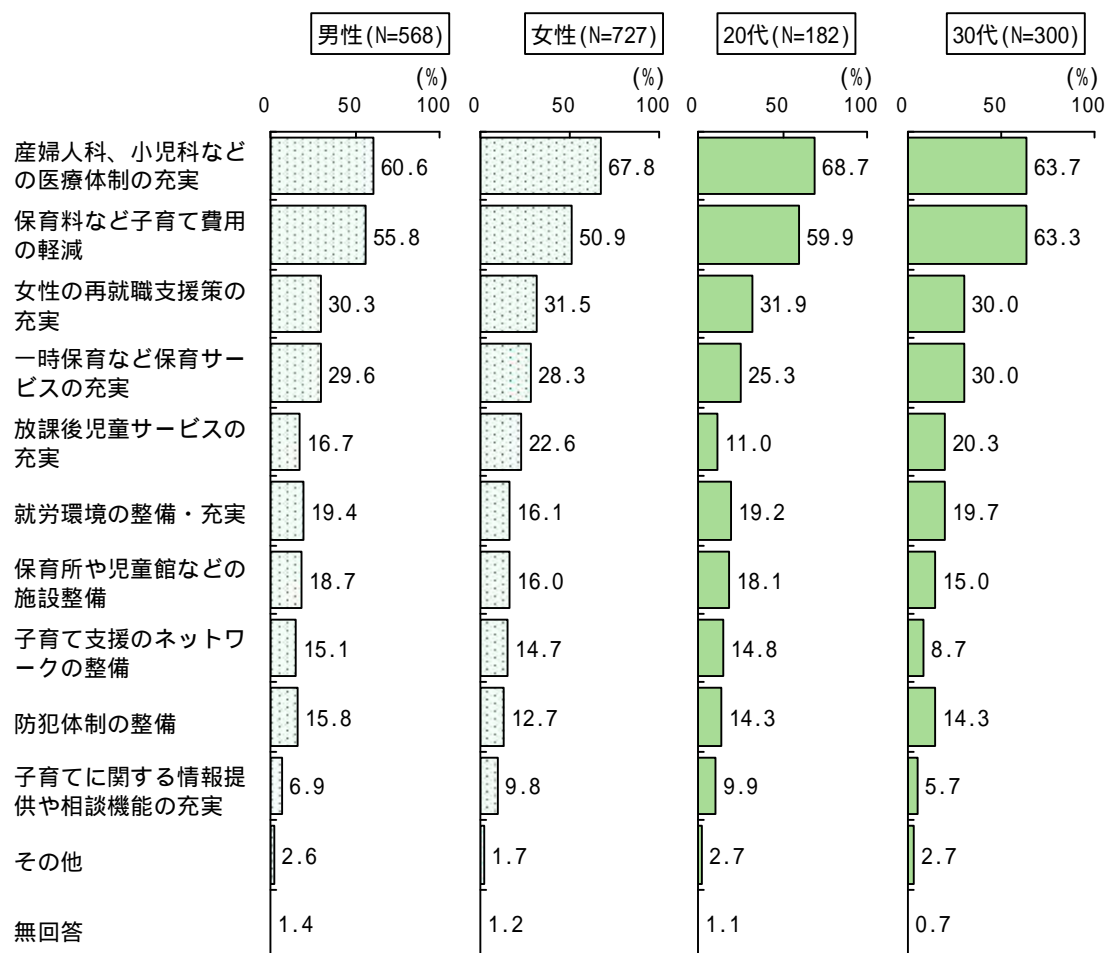
問10 少子化が深刻な問題とされていますが、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりのために、何が必要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。



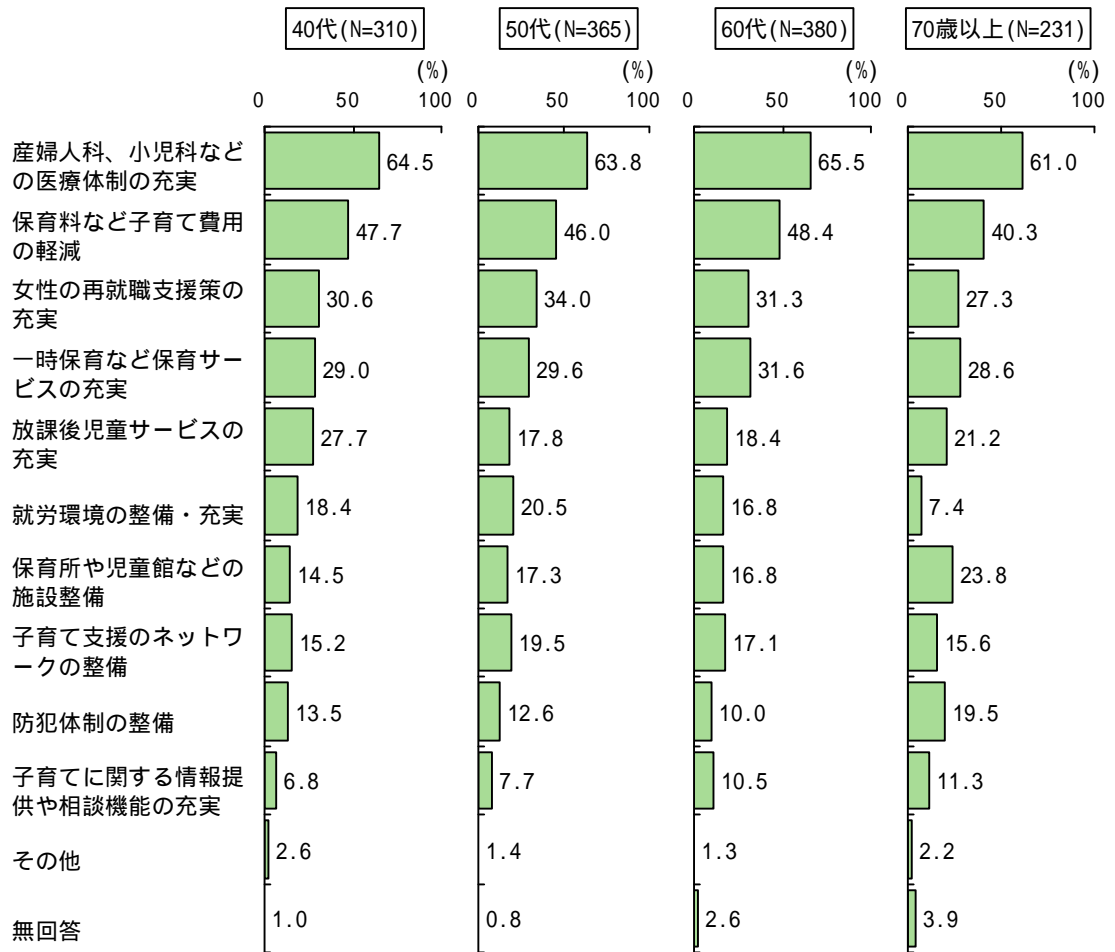
安心して子どもを産み育てることができる環境づくりには何が必要か尋ねたところ、「産婦人科、小児科などの医療体制の充実」と答えた人が最も多く、64.4%とほぼ3人に2人の割合となっている。次いで「保育料など子育て費用の軽減」が50.3%、「女性の再就職支援策の充実」が31.1%、「一時保育など保育サービスの充実」が29.4%となっている。

年代別にみると、「産婦人科、小児科などの医療体制の充実」と答えた人が最も多いのは、20代で68.7%となっており、すべての年代で6割を超えている。「保育料など子育て費用の軽減」と答えたのが最も多いのは、30代で63.3%となっており、20代・30代は6割を占めている。

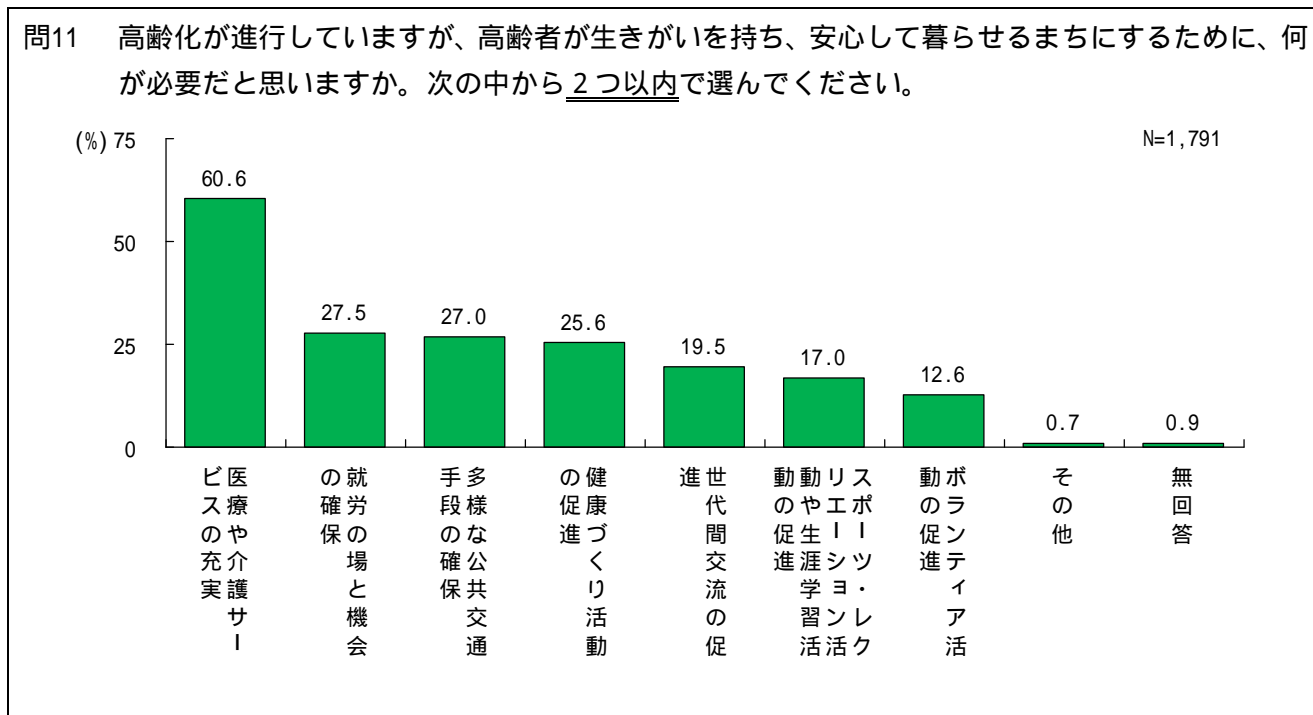
## 【性別・年代別】



調査結果



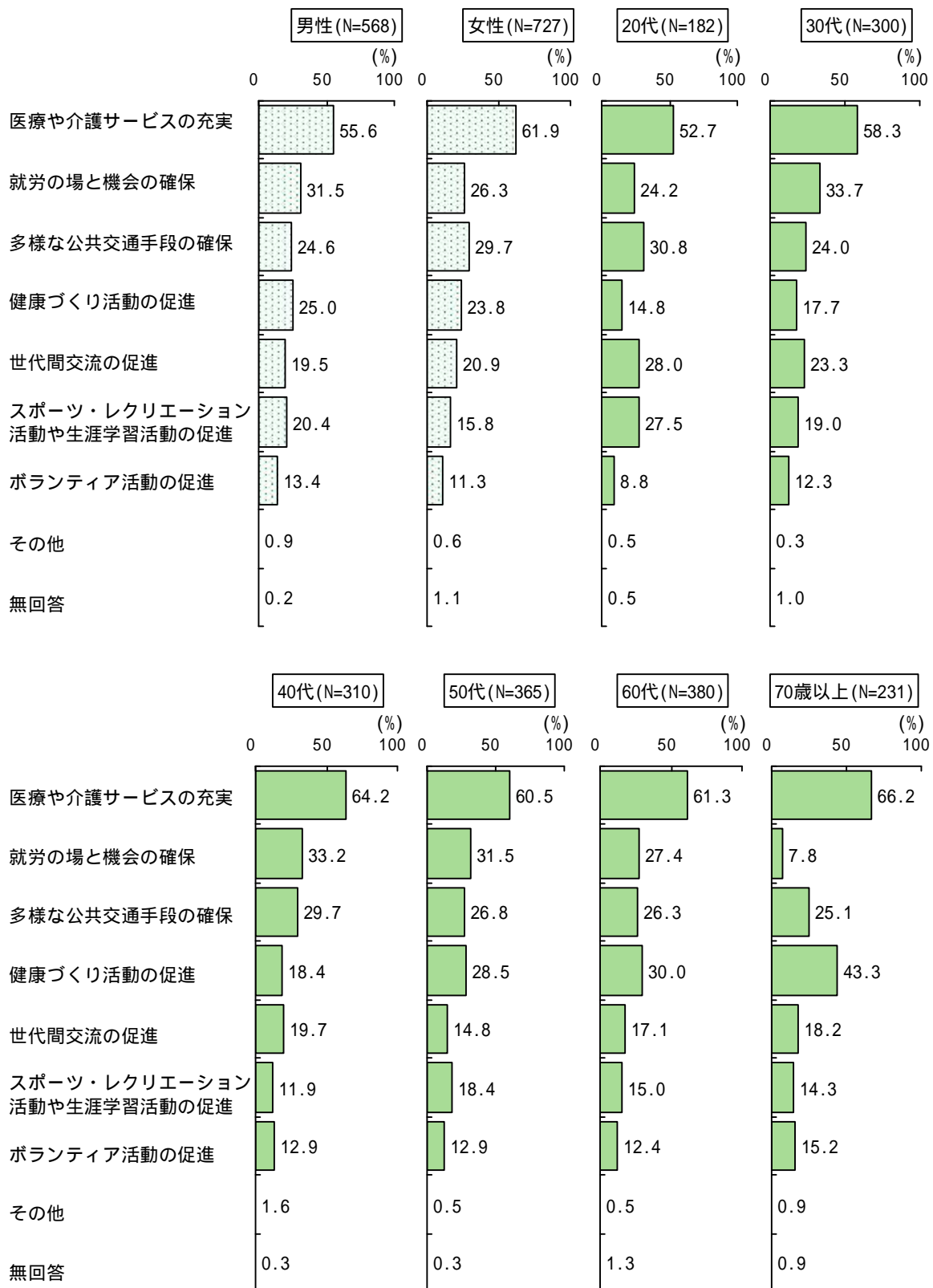
## (13) 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまちにするために必要なこと



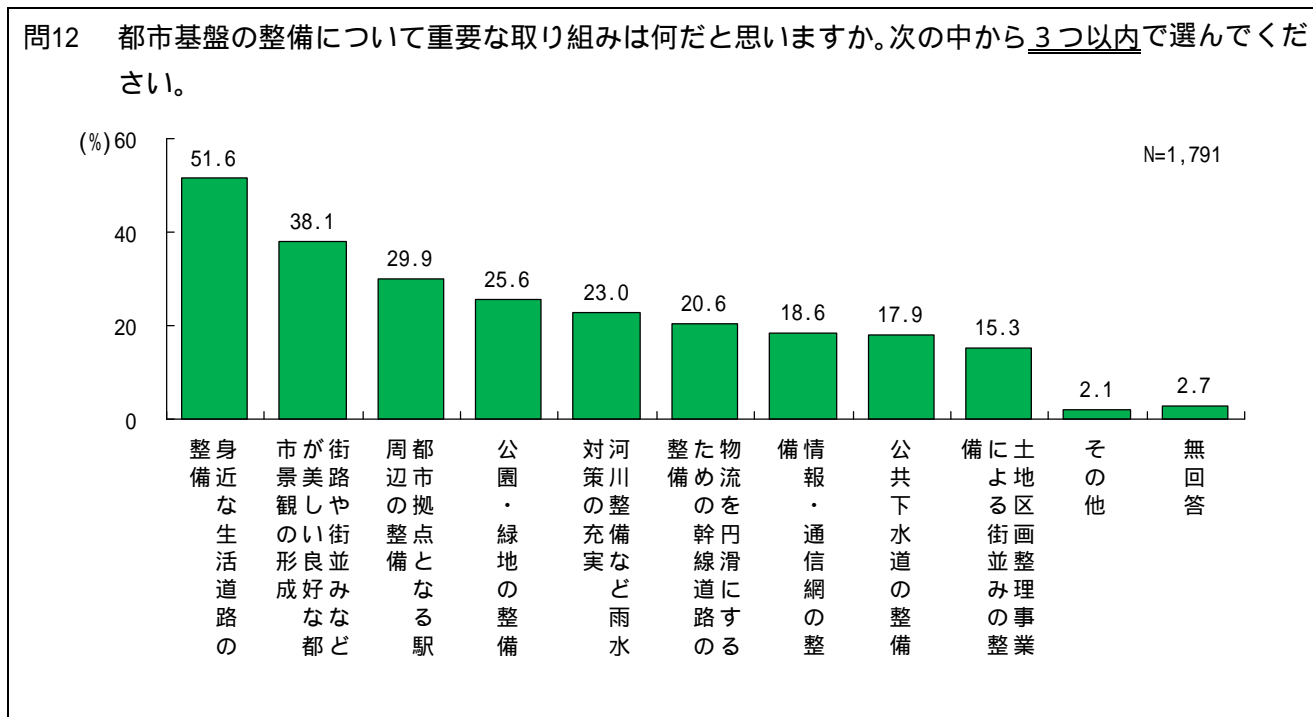
高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまちにするために何が必要か尋ねたところ、「医療や介護サービスの充実」と答えた人が最も多く、60.6%と6割を占めている。次いで「就労の場と機会の確保」が27.5%、「多様な公共交通手段の確保」が27.0%、「健康づくり活動の促進」が25.6%といずれも2割を超えている。

年代別にみると、「医療や介護サービスの充実」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で66.2%と6割を超えており、3人に2人の割合となっている。「就労の場と機会の確保」と答えた人が最も多いのは、30代で33.7%となっており、30代から50代までは3割を超えている一方で、70歳以上は7.8%と1割未満になっている。「健康づくり活動の促進」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で43.3%と4割を超えている一方で、20代から40代までは1割台にとどまっている。

【性別・年代別】



## (14) 都市基盤整備のために重要な取り組み

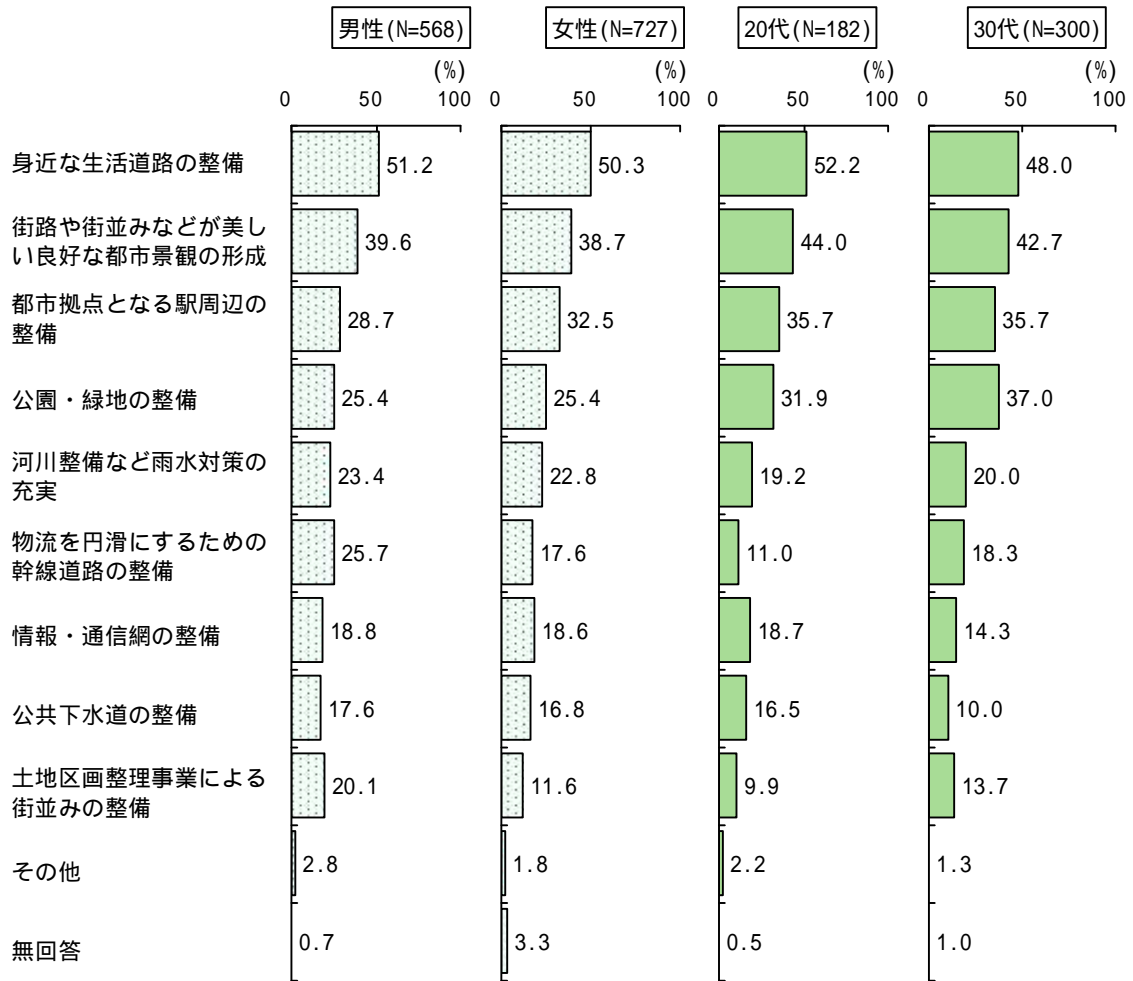


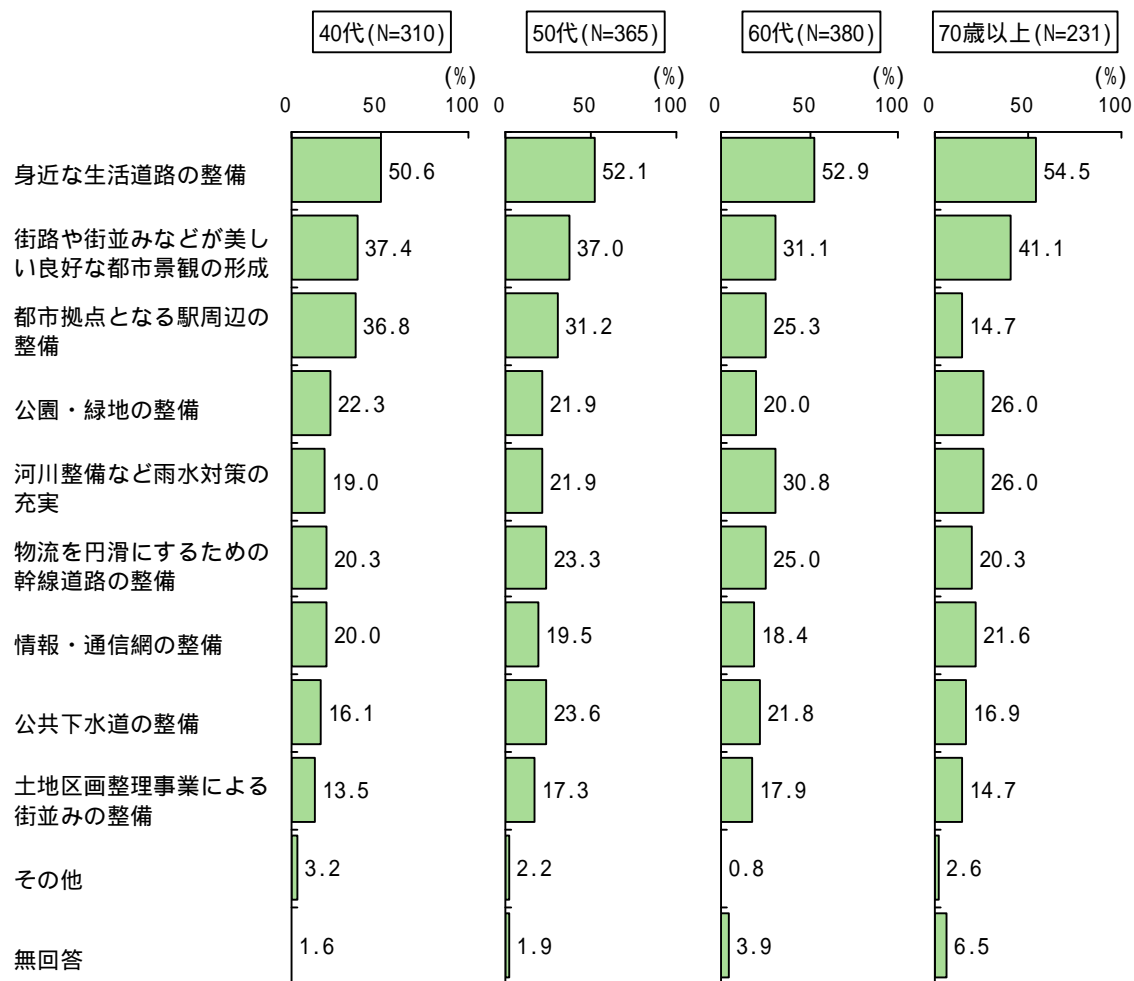
都市基盤の整備について重要な取り組みは何かと尋ねたところ、「身近な生活道路の整備」と答えた人が最も多く、51.6%と半数を超えている。次いで「街路や街並みなどが美しい良好な都市景観の形成」38.1%、「都市拠点となる駅周辺の整備」29.9%、「公園・緑地の整備」25.6%となっている。

年代別にみると、「都市拠点となる駅周辺の整備」と答えた人が最も多いのは、40代で36.8%となっており、20代から50代までは3割を超えている一方で、70歳以上は14.7%と1割台にとどまっている。「公園・緑地の整備」と答えた人が最も多いのは、30代で37.0%となっており、20代・30代は3割を超えている。

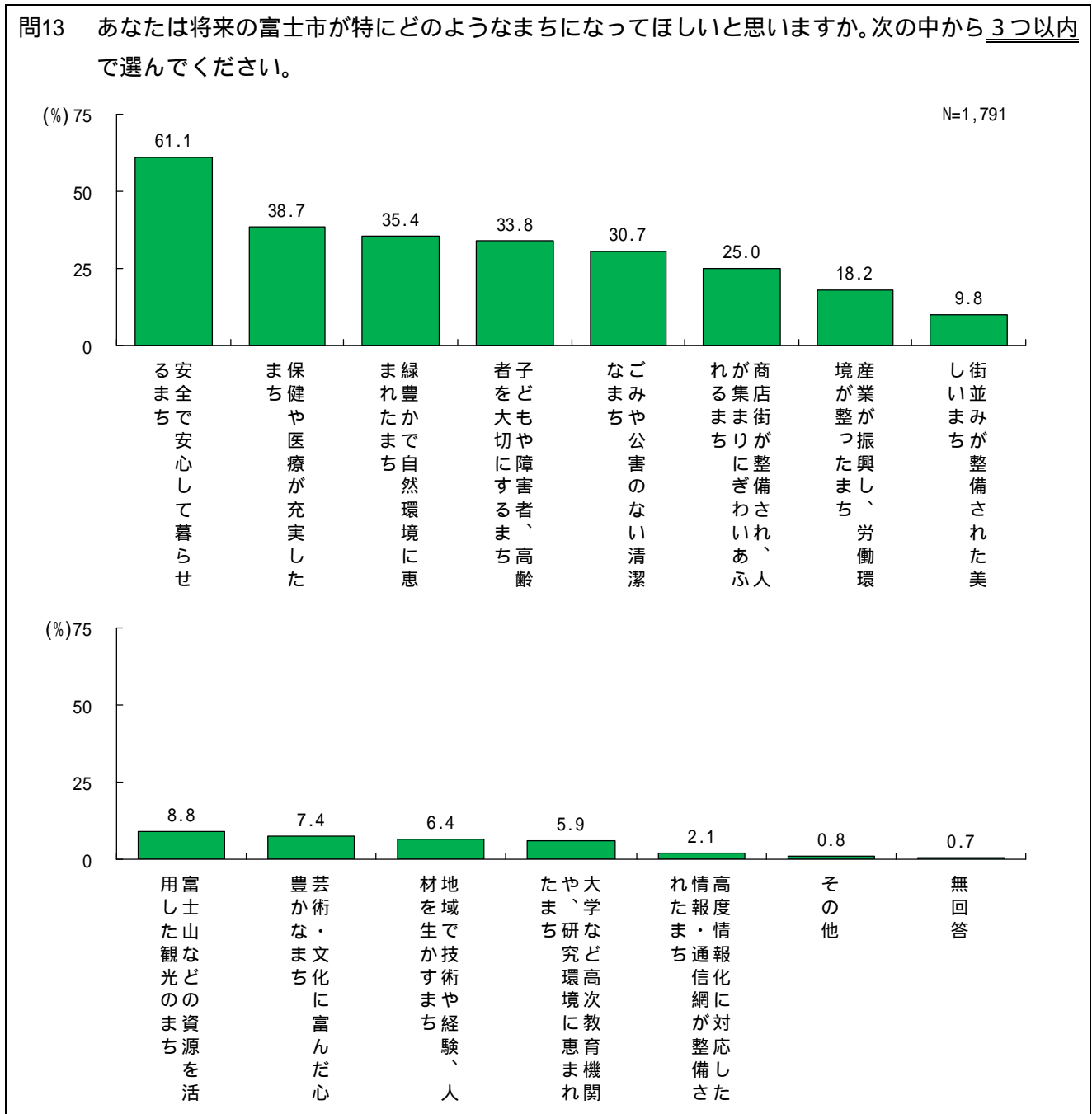


【性別・年代別】





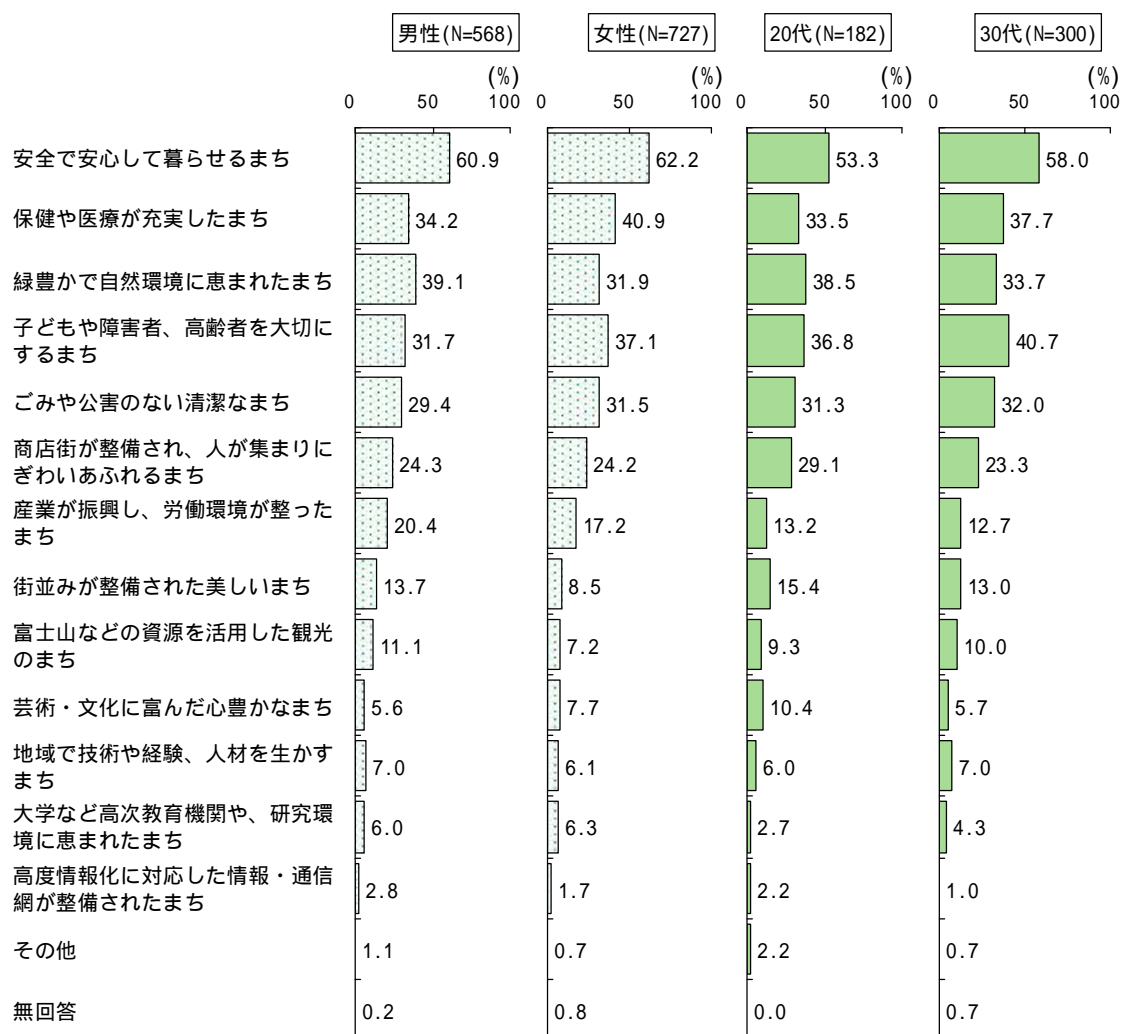
(15) 富士市の将来像



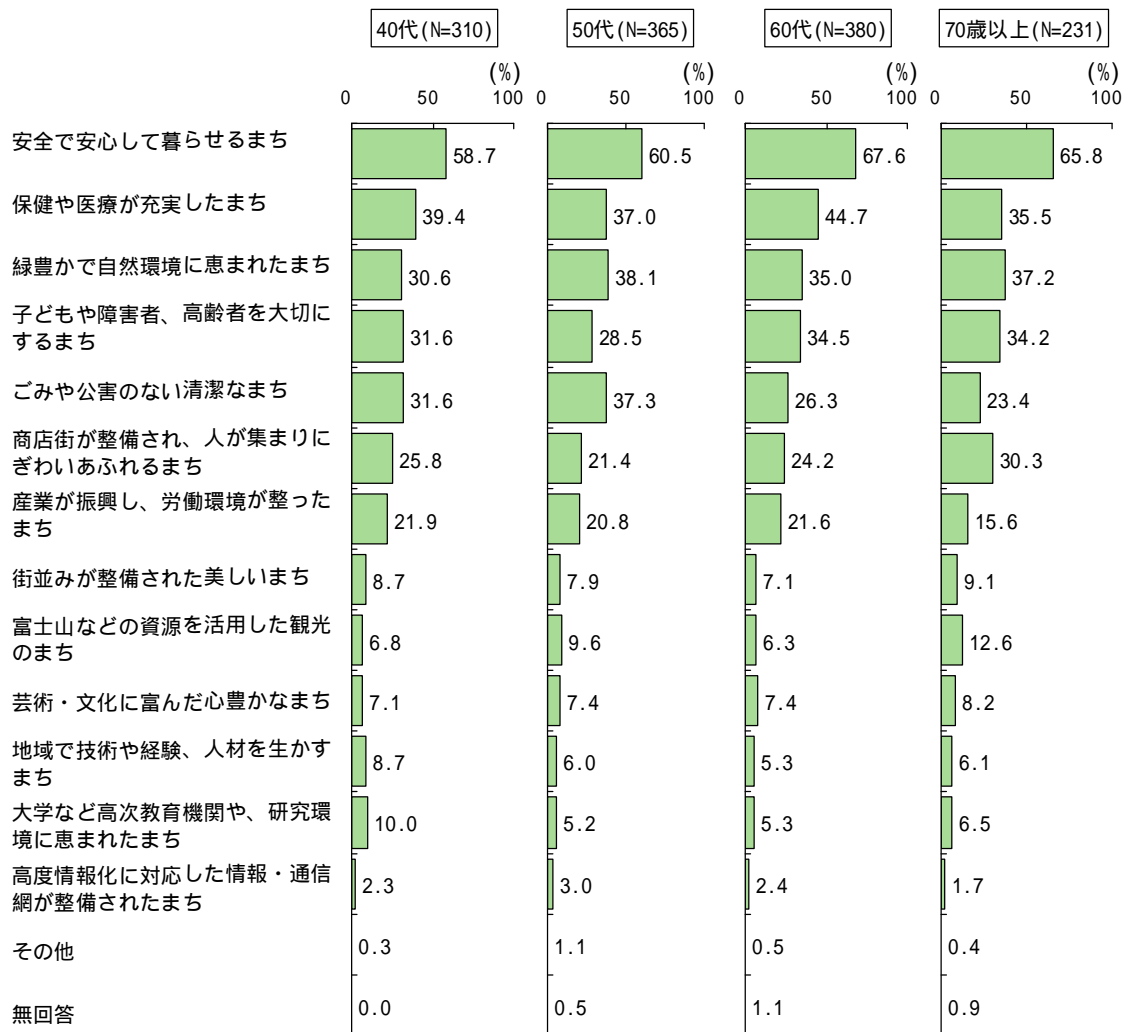
将来の富士市がどのようなまちになってほしいかと尋ねたところ、「安全で安心して暮らせるまち」と答えた人が最も多く、61.1%と6割を超えている。次いで「保健や医療が充実したまち」が38.7%、「緑豊かで自然環境に恵まれたまち」が35.4%、「子どもや障害者、高齢者を大切にするまち」が33.8%、「ごみや公害のない清潔なまち」が30.7%と、いずれも3割を超えている。

年代別にみると、「安全で安心して暮らせるまち」と答えた人が最も多いのは、60代で67.6%となっており、すべての年代で5割から6割を超えている。「保険や医療が充実したまち」と答えた人が最も多いのは、60代で44.7%と4割を超えている。「子どもや障害者、高齢者を大切にするまち」と答えた人が最も多いのは、40代で40.7%と4割を超えている。

【性別・年代別】



調査結果



## (16) 富士市が目指すまちのイメージ

問14 これからの富士市が目指すまちのイメージ（好きな都市でも結構です）を自由に記入してください。  
いくつでも結構です。

## 好きな都市

国内都市名	件数
横浜市	54
京都府 / 京都市	25
仙台市	25
神戸市	22
浜松市	17
金沢市	16
名古屋市	15
静岡市	14
鎌倉市	11
倉敷市	7
東京都	7
富士宮市	7
札幌市	6
長崎県 / 長崎市	6
函館市	5
富士市	5
川崎市	4
長野県 / 長野市	4
福岡市	4
松本市	4
宮崎県 / 宮崎市	4
山梨県 / 山梨市	4
高山市	4
愛知県	3
大阪府 / 大阪市	3
沖縄県 / 沖縄市	3
掛川市	3
鹿児島県 / 鹿児島市	3
軽井沢町	3
奈良県 / 奈良市	3
北海道	3
伊東市	2
浦安市	2
岡崎市	2
小樽市	2
小田原市	2
岐阜県 / 岐阜市	2
高崎市	2
千葉県 / 千葉市	2
長泉町	2
沼津市	2
町田市	2
三島市	2
宮城県	2
盛岡市	2
青森市	1
芦屋市	1
伊豆の国市	1
板橋区	1

国内都市名	件数
宇都宮市	1
江ノ島近辺	1
大垣市	1
小布施町	1
角館町（現在の秋田県仙北市）	1
博多市	1
川崎市	1
北九州市	1
郡上市	1
熊本	1
郡山市	1
国立市	1
小平市	1
埼玉	1
堺市	1
島田市	1
自由が丘	1
裾野市	1
世田谷区駒沢	1
総社市	1
多摩市	1
つくば市	1
津和野市	1
豊田市	1
八王子市	1
日田市	1
平塚市	1
広島	1
弘前市	1
福井市	1
福島	1
藤沢市	1
文京区	1
三重県	1
三鷹市	1

外国都市名	件数
シンガポール	3
オランダ / アムステルダム	2
ドイツ	2
サンフランシスコ	1
スイス	1
ゾーリングゲン（ドイツ）	1
ニュージーランド	1
バンクーバー	1
ベルン	1
ヨーロッパ	1
ラスベガス	1

## 富士市が目指すまちのイメージ

- 安全で安心して暮らせるまち。（特に高齢者・障害者・子ども）（68）
- 美しいまち。（48）
- 活気あるまち。（35）
- 人に優しいまち。（特に高齢者・障害者・子ども）（32）
- 空気がきれいなまち。（18）
- 公共交通機関が充実したまち。（17）
- 市立中央病院などの医療が充実したまち。（15）
- 緑が豊かなまち。（14）
- 公害のないまち。（11）
- 富士山のあるまち。（10）
- 商店街がにぎやかなまち。（10）
- 富士山が美しく見えるまち。（9）
- 住みやすいまち。（9）
- 活気ある美しいまち。（8）
- 子どもを産み育てることができるまち。（産婦人科の充実）（7）
- 清潔なまち。（7）
- ごみや公害のないまち。（7）
- 子育てがしやすいまち。（6）
- 水がきれいなまち。（6）
- 自然を大切にするまち。（6）
- 思いやりのあるまち。（6）
- みんなが住みたくなるまち。（6）
- おしゃれなまち（5）
- 元気があるまち。（5）
- 犯罪がないまち。（5）
- 観光のまち。（5）
- 自然が多いまち。（5）
- 暮らしやすいまち。（5）
- 環境に優しいまち。（4）
- 煙突のないまち。（4）
- 人が集まるまち。（4）
- 下水道の整備が行き届いたまち。（3）
- マナーのあるまち。（2）
- 子どもが伸び伸び育つまち。（2）
- 自然と共生するまち。（2）
- 人とのふれあいを大切にするまち。（2）
- 明るいまち。（2）
- 明るい活気のあるまち。（2）

- 臭くないまち。(2)
  - 健全なまち。(2)
  - 道路が整備されたまち。(2)
  - にぎわうまち。(2)
  - 緑が多く、落ち着いたまち。(2)
- 
- 「富士山」とともに生きる「紙の都」。
  - 二酸化炭素の排出を極力抑えた、きれいな空気のまち。
  - IT産業や研究機関の発展。電気列車の中心点をつなぐ交通機関が整備されたまち。
  - エコチャレンジ富士市。
  - オムニバスタウン(静岡市の水準に少しでも近く)。
  - きれいで活気あって、都会だけど静岡の大自然に囲まれたまち。
  - きれいな水が豊富なので、水を生かしたまちづくり。
  - 歩道がどこにでも設置してあるまち。
  - 緑豊かでエコなまち。
  - 思いやりがあり、人にも環境にも温かいまち。
  - 地域活動が盛んなまち。
  - たばこのポイ捨てなど、ごみのないまち。
  - ペット、犬猫のふんなど、ごみのないまち。
  - ルール、マナーを守る安全快適なまち。
  - 暴力団のいないまち。
  - すばらしい紙のまち。
  - すべての人に平等なまち。
  - すべての世代が楽しみを持ち、生き生きと生活できるまち。
  - においのないまち。
  - バリアフリー、環境共生、統一感のあるまち。
  - 煙突から煙の全く出ないまち。
  - 運転マナーのよいまち。
  - 観光客ががっかりしないまち。
  - ブランドのあるまち。
  - 何か一番として自慢できるまち。
  - ペットにも優しいまち。
  - まとまりのあるまち。
  - マンションやアパートをふやさずに、余り高いビルをつくらないまち。
  - おじいさん、おばあさんと孫のつながりを大切にするまち。
  - 古いものを、もっと大切にするまち。
  - パチンコ店のないまち。
  - みんなが楽しく過ごせるまち。
  - みんなが集まるまち。
  - みんなが助け合って暮らすまち。



## 調査結果

- みんなが笑顔で、暮らしやすい富士市。
- メリハリのあるまち。
- 自然公園などとビルなどの先進的建物が共生したまち。
- 伝統のあるまち。
- やさしさあふれる笑顔のまち。
- ものづくりのまち。
- ゆとり、マナーのあるまち。
- ゆとりあるまち。
- 愛あふれる、優しい温かいまち。
- 子どもが守られているまち。
- 歩道が整備されていて、きれいな道のまち。
- 自然環境に優れたまち。
- 安全かつ明るいまち。
- 産業や工業が盛んなまち。
- 若者たちが正社員となれる職場があるまち。
- ゆとりあるきれいなまち。
- 道端にごみが捨ててないまち。
- 安全で安心して暮らせ、市民一人一人が心豊かになるまち。
- 安全で心豊かなまち。
- 子どもが笑うまち。
- 安全安心で子どもが普通に遊べるまち。
- 商店街に人々が集まる、公共交通機関が発達したまち。
- 医師や介護職員などの人材が充実しているまち。
- 医療が充実し、地球環境に優しいまち。
- ごみ分別を徹底したまち。
- 医療機関の医師不足のないまち。
- 緑豊かな美しいまち。
- 医療費が安く、路線バスなど交通の便がよいまち。
- 一部の人だけでなく、市民一人一人がもっといろいろなことに参加できるまち。
- 駅周辺の活気があるまち。
- 生き生き、伸び伸び明るいまち。
- 駅周辺に活気があり、人が集まる明るい雰囲気のあるまち
- 煙がなく、川や海がきれいなまち。
- 煙突がなく、煙やにおいのない、クリーンなまち。
- 煙突のない明るいまち。
- 汚職のないまち。
- 横浜市と渋谷区、川根本町が融合したようなまち。
- 温かいまち。
- 家族の団らん、生活の音が聞こえてくるまち。
- 家族のきずなが強いまち。

- 河川の汚染がないまち。
- 海、山、川が美しく、自然を生かしたまち。
- 海のきれいな、自然環境に恵まれたまち。
- 海を生かしたまち。
- 街並みが整ったまち。
- 街並みを崩さず自然もあるまち。
- 祭りなど富士でしか見られないものや歴史を守るまち。
- 街路樹があって、緑の多いまち。
- 学園都市、知的なまち。
- 県外からも友人を呼んでみたいまち。
- 生き生きとした観光都市。
- 産業と観光が融合した活気ある都市。
- 活気あふれる、親しみやすいまち。
- ごみのないまち。
- 環境保全がしっかりしているまち。
- 自然を大切にすまち。
- 税負担の少ないまち。
- 進歩していくまち。
- どんな世代でも住みやすいまち。
- 人と人とが心通わせるイベントなどができるまち。
- 人情味あふれるまち。
- 大きなデパートがあるまち。
- 適切な行政サービスが受けられるまち。
- 美化運動が活発なまち。
- 高齢者でも働くことができるまち。
- 活気あり、安全で安心して暮らせるまち。
- 活気ある商店があるまち。
- 活気があって、元気のよいまち。
- 活気があって、人が来たくなるようなまち。
- 活気があり、交通網の発展したまち。
- 活気があり、自然に恵まれた、安全・安心に暮らせるまち。
- 活気があり、住みよいまち。
- 活気があり、物価が安いまち。
- ごみがない、緑のまち。
- コミュニケーションがとれているまち。
- 自然環境がよく、住みやすい、生活しやすい、気持ちのよいまち。
- 活力ある企業が集まるまち。
- むだのないまち。
- 災害に強いまち。
- 空気、自然、水など、環境のよいまち。

## 調査結果

- 観光客が立ち寄る名所のある、活気あるまち。
- 企業活動も活発で、4年制大学もある学術研究都市。
- 企業誘致により活気に満ちあふれたまち。
- 機能性に富んだまち。
- 宮城県みたいなまちづくりを進めるまち。
- 居心地のよいまち。
- 京都のように落ちついたまち。
- 教育された人財の育成を目指すまち。
- 近所の人助け合い、安心して暮らせるまち。
- 空き店舗が少なく、活気あるまち。
- 公害を出さない工場があるまち。
- 美しく、物を大切にすまち。
- ウオーキングしたくなるような、安全で緑豊かなまち。
- 空気と水がきれいなまち。
- 昔と現在がマッチングするまち。
- 平和なまち。
- 自然が多く、明るいまち。
- 楽しいまち。
- 仲よしまち。
- 人が温かいまち。
- 空気のきれいな環境に配慮されたまち。
- 健康で安全なまち。
- 元気な、活気あるまち。
- 個性的なまち。
- 古いものと新しいものが融合した美しい芸術性のあるまち。
- 自然があふれて空気がよいまち。
- 交通の便がよく、商業施設が充実しているまち。
- 交通事故ゼロを目指すまち。
- 交通弱者を思いやる心のあるまち。
- 心温まる大家族が数多く住むまち。
- 模倣ではなく、独自スタイルを誇れるまち。
- 公害・犯罪のないまち。
- 公害のない、悪臭のない緑豊かな安全なまち。
- 公害のない、空気の澄んだ体に優しいまち。
- 企業の誘致を積極的に行い、労働環境の整った活気あるまち。
- 行政、市議会議員などが市民のため一生懸命努力するまち。
- 公害のない、自然豊かで安全・安心なまち。
- 水、空気のよいまち。
- 公害の少ない美しいまち。
- 人口が多く、にぎわいがあるが、整っているまち。

- 公害や、ごみ捨て場にならない富士山のあるまちづくり。
- 製紙会社の公害対策をしたまち。
- 工業・商業・農業すべてが活発なまち。
- 工業・商業ともに活気にあふれたまち。
- 工業地帯、商業地帯、住宅地帯と分かれたまち。
- 広い駐車場があり、道路が整備されたまち。
- 行き交う人と自然に言葉を交わされるまち。
- 国道一号線バイパス、東名高速道路、田子の浦港を活用した産業のまち。
- 今までの富士市とは違う面を持った、活気あふれるまち。
- 祭りやコミュニティ活動の盛んなまち。
- 産業、商業、文化のある、三位一体のまち。
- 産業が振興し、街並みが整備され、安全で福祉が行き届いた、文化的な都市。
- 産業と生活の調和のとれたまちづくり。
- 産業の発展と同時に伝統と文化を大事にするまち。
- 落ち着いたまち。
- 産業基盤がしっかりしていて活気あるまち。
- 自然を大切にしつつ、静岡市のような人々の交流が盛んなまち。
- 子ども、高齢者が住みやすく、またそれにかかわる人、子ども、親が嫌な思いをしないまち。
- 小・中・高・大学生のボランティア精神が高く、その活動が義務化されているまち。
- ほかの市町村にはない、新しい試みをしているまち。
- 治安のよいまち。
- 子どもが安全に遊ぶことができる、笑い声が聞こえるまち。
- 子どもが遊べる公園の多いまち。
- 子どもや障害者、高齢者が安心して住める、ごみのない美しいまち。
- 子どもたちが生き生きと生活できるまち。将来に希望が持てるまち。
- 子育て支援がしっかりしていて、子どもの医療費も無料のまち。
- 中心部は活気があり、住宅地区は緑あふれるまち。
- 市民が安全、安心を目指して生活でき、何十年でも生活し続けたいと思うようなまち。
- 市民が生き生きと働き、憩い、愛着と誇りの持てるまち。
- 市民が県外に出て行かないまちづくり。
- 工業、観光も、市民の活力あるまち。
- 市民の声を聞いて活動するまち。
- 私が生涯愛し続けることができるまち。
- 紙、緑、活気、思いやりのまち。
- 時間的、精神的にゆとりを持つための活動ができるまち。
- 自給自足ができるまち。
- 自然あふれるきれいなまち。
- 自然があり、人々が笑い活気あるまち。
- 仕事も持ててホームレスがないまち。
- 昔みたいな温かみのあるまち。

## 調査結果

- みんなが笑顔でいられるまち。
- 自然が活かされた美しいまち。
- 自然が豊かで、安全で安心して住めるまち。
- 自然と人が集まるまち。
- 自然と近代化が共存できるまち。
- 自然と都市が一体化したバランスの整ったまち。
- 自然に恵まれ、心をいやす景観づくりを進めるまち。
- 自然の中で生き生きとしているまち。
- 自然を基盤にしても、現在の社会と共生できるまち。
- 自然を守り、道路の整備されたまち。
- 人は自然の中で生きているので、自然を守るまち。
- 自然を大事にする、心豊かに暮らせるまち。
- エコ活動に積極的なまち。
- 自然を利用した水、緑豊かな安らぎ感のあるまち。
- 自然環境に恵まれ、安心して暮らせるまち。
- 自然環境に恵まれた、活気のある、人の交流の盛んなまち。
- 自然環境に恵まれたまち。
- 自然環境に恵まれ安全で安心して暮らせるまち。
- 自然災害に備えたまち。
- 自転車をもっと生かしたまち。
- 質のよい介護のできるまち。
- 借金のないまち。
- 若い人たちが集まってくるようなまち。
- 若い人も高齢者も元気に働いて、活気のあるまち。
- 働く場所があり、農業もあり新鮮なものが食べられるまち。
- 若者が生き生きしているまち。
- 若者も高齢者も生きがいを持って暮らせる活気のあるまち。
- 富士山とともに世界に誇れる美しいまち。
- 日本一のまちづくりを進めるまち。
- 電柱のない景観のよいまち。
- すべての世代に優しいまち。
- 自慢できることが多いまち。
- 平和なまち。
- 緑の多いまち。自然の残るまち。みんなが仲のいいまち。
- 今以上に活気あり、自然に恵まれたまち。
- 住んでいて飽きないまち。
- 充実のまち。
- 中心部だけでなく、地域全体が活気あるまち。
- 老後の心配がないまち。
- 助け合える、生きているまち。

- 商業、企業の発展した、住みよいまち。
- 駅ビル、大型デパートなど商業施設が整ったまち。
- 車に頼らないで、人が歩いているまち。
- 農産物がいっぱいあるまち。
- 便利なまち。
- 商店街はもっと活気に満ち、郊外に住む高齢者などにも交通機関が充実していて、病院や商店街に もっと簡単に外出することができるまち。
- 小京都といわれるようなまち。
- 昔懐かしい、尾道のようなまち。
- 昭和30年代のしみじみした、近隣のつながりがあるまち。
- 笑顔・楽しむ・すべてにおいて信頼が一番のまち。
- 笑顔あふれる人に優しいまち。
- 笑顔があふれるまち。
- 笑顔で暮らせる美しいまち。
- 笑顔ふれあう明るいまち。
- 障害者が住みやすいまち。
- 情報通信インフラが整備されたまち。
- たばこの吸殻などごみが落ちていないまち。
- 情報発信基地としてのまち。
- 子どもから高齢者まで、いろいろな人が公園でくつろぎ、遊ぶことができるまち。
- 心身健康で安心して暮らせるまち。
- 心豊かで優しい人の住むまち。
- 心豊かな、人に優しいまち。
- 心豊かなまち。
- 心豊かに、健康で暮らせるまち。
- 心豊かになれるまち。
- 心豊かに暮らせるまち。
- 新旧の混合したまち。
- 親切なまち。
- 人が集まって活気があり、物流のよいまち。
- 人が集まり、活気ある美しいまち。
- 美しい自然があるまち。
- 人が集まる活気のあるまち。
- 人と産業、文化の調和がとれたまち。
- 人と人とがつながるまち。
- エコを取り入れたまち。
- 人に、自然に優しいまち。
- 人に温かいまち。
- 人に優しい福祉のまち。
- 教育水準の高いまち。

## 調査結果

- 人も環境も美しく温かいまち。
- 人や動物に優しいまち。
- 健康に関することが充実した、体にいいまち。
- 人を大切にすまち。
- 人気のあるまち。
- 人口に見合ったおしゃれな商業施設（レストラン・商店）を持った、美しいまち。
- 人材あふれる活気に満ちたまち。
- 人情のあるまち。
- 明るくきれいなまち。
- 人々が集まる美しいまち。
- 水と富士山のきれいなまち。
- 産業が栄えているまち。
- 梨もシラスもおいしいまち。
- 水資源を生かした、美しい住環境都市。
- あらゆる業種の企業活動の先進都市。
- 富士という日本一の名前を生かしたブランド都市。
- 世界遺産のまち。
- 清潔で安全で活気あるまち。
- 物騒ではないまち。
- 生涯笑って学ぶまち・ふじ。
- 生活が安定したまち。
- 生活しやすいまち。
- 安心して暮らせるような優しいまち。
- 道路にはごみがなくきれいなまち。
- 子どもたちが安心して遊べるような公園のあるまち。
- 製紙会社の臭い煙のないまち。
- 静かな鎌倉市のようなまち。
- 税金の安いまち。
- 税金のむだ遣いをしないまち。
- 余計な人件費を使わないまち。
- 税負担の少ない、住みやすいまち。
- 昔の文化、生活が伝えられるまち。
- すべての市民が平等に生活できるまち。
- ほかの市町村から人々が集まってくる、活気あるまち。
- ほかの都市とは違う、富士市の特徴を生かしたまち。
- 多少の周辺環境の変化にも、左右されない筋の通ったまち。
- 大勢の子どもたちが安心して遊ぶ姿がいたるところで見られる、ほほ笑ましいまち。
- レジャー施設が多いまち。
- 大気汚染のない、人に優しいまち。
- だれでも気軽に話せるまち。

- 人に気配りできるまち。
- みんなそれぞれ役割を持ち合い、活動できるまち。
- 地域の人が助け合い、人の温かみのある、やさしく暮らせるまち。
- 地域の人々の協力とやる気のあるまち。
- 行政だけに頼らず、市民のアイデアを生かせるまち。
- 地域の盛り上がりがあるまち。
- 地域の雰囲気がよく、医療の充実、安全、安心、食の安全すべてがあるまち。
- 地域ブランドがあるまち。
- 地球環境を市民みんなで守っていけるまち。
- 公共交通網が発達し、個人所有の車による排気ガスなどの公害の少ないまち。
- 地場産業を活用できるまち。
- 伝統と未来が調和したまち。
- 都会的センスのあるまち。
- 都市であり自然があるまち。
- 東京、名古屋と身近に行き来ができるまち。
- 自然が美しいまち。
- 東京と北海道を融合させたようなまち。
- 東京の衛星都市。地球環境を研究する機関、企業が立地するまち。
- 働く人が生き生きしているまち。
- 子どもが川遊びしているまち。
- 動と静のあるまち。
- 道路がよく整備されたまち。
- 道路が整備され、きれいな街並みの京都市のようなまち。
- 道路整備を進めるとともに、子ども、高齢者に優しいまち。
- 道路網が整備され、慢性的な渋滞が発生しないまち。
- 歩行者が安心して小道を歩けるまち。
- 特産品をアピールできるまち。
- 公園にトリックアートを展示するなど、ここにしかない芸術が多いまち。
- 特色あり、人が集まる美しいまち。
- 若さあふれ、活気あるまち。
- 日本一の富士山に負けにくいくらい、ごみ一つない美しいまち。
- 温暖な気候とともに人の心も温かいまち。
- 農業が充実し、自給自足ができるまち。ごみの出し方のモラルとマナーを守るまち。
- 発展したまち。
- 思いやりのあるまち。
- 犯罪が少なく、失業率の低いまち。
- 犯罪のない、安心して暮らせる活気あるまち。
- 犯罪のない、安心できるまち。
- 犯罪のない、安全なまち。
- 犯罪のない、心豊かなまち。



## 調査結果

- 活気ある、人が集まるまち。
- 美しく花のあるまち。
- 美しく活気があり、だれでも安心して暮らせるまち。
- 美しく景観がよいまち。
- 不法投棄のないまち。
- J R 富士駅周辺が商業都市となるまち。
- J R 富士駅周辺を整備したまち。
- 富士山、愛鷹山をメインにした観光都市。
- 富士山、駿河湾、富士川を P R し、自然の美しさ、無公害を自慢できるまち。
- 富士山、富士川を活用した観光のまち。
- 東京などで勤務している人がベッドタウンとして考えるまち。
- 東京の情報が、すぐわかるまち。
- 笑顔の多いまち。
- 子どもが安心して遊べるまち。活気のあるまち。
- 病気になっても安心できるまち。
- 富士山と海の共存するまち。
- 富士山とともに歩み緑豊かなまち。
- 富士山と共生できる美しいまち。
- きれいな川と調和したまち。
- 富士山と調和の取れる緑豊かな街並み。
- 富士山と湧水の流れがある美しいまち。
- かぐや姫伝説のまち。
- 富士山に合った、澄んできれいな空気のまち。
- 富士山にふさわしい、活力ある美しいまち。
- 煙突、排煙、悪臭のない、すっきりとした、富士山のふもとの美しいまち。
- 花と自然あふれる美しいまち。
- 富士山のような美しいまちづくり。
- 元気が出るまち。
- 富士山のように美しく安心して住めるまちづくり。
- 富士山の正面玄関のまち。
- 富士山の美しさをもとにした、自然の美しいまちづくりと環境の充実。
- 富士山をもっと生かしたまち。
- 地場産業を利用したまち。
- 富士山を生かした景観づくり。
- 富士山を強調したまち。
- 富士山を中心とした、清く、美しく、誇り高いまち。
- 富士山を望む自然、緑を生かした美しいまち。
- 富士市っていいね！と言われるまち。
- 子どもたちが遊ぶことのできるまち。
- 世代間交流のあるまち。

- 災害対策が十分なまち。
- 富士市民が安心して暮らせるまち。
- 富士独特のまち。
- 福祉を充実した都市。保育園などが充実した、子どもを育てやすいまち。
- 少子化に取り組むまち。
- 郊外店を中心としたまち。
- 駐車場を備えた大型ショッピングセンターの充実した、商店街を必要としないまち。
- 物価が安いまち。教育の水準が高いまち。
- 物価が安定しているまち。
- 文化的に優れたまち。
- 静岡市のように、平日の商店街でも人が歩いているまち。
- 平和で静かな夜のあるまち。
- 便利で街並みの美しいまち。
- 便利で人が集まるまち。
- 人が元気で、目が輝いているまち。
- 大手都市銀行、大手企業の支店、公共交通が充実した便利なまち。
- 自然がたくさんあるまち。
- 豊かさある楽しいまち。
- 豊かな自然が残るまち。
- 豊かな自然環境の保持と活力あふれるまち。
- 豊かな水とともに生きづくまち。
- 防災を日本一誇れるまち。
- 毎日富士山が見えるまち。
- 夢あふれるまち。
- 笑顔がはじけるまち。
- 子どもが健康なまち。
- 明るく、元気がある、住民同士が仲がよいまち。
- 緑がきれいなまち。
- 困ったときに隣近所が協力するまち。
- 明るい印象を持てるまち。
- 公園がバランスよく配置されているまち。
- 明るく住民が楽しく住める富士市。
- 目を輝かせた子どもたちのはねるまち。
- 落ち着いた、富士山にふさわしいまち。
- 高層ビルのないまち。
- 食、文化、教育、産業、何でも活力あるまち。
- 落ち着きのある、静かなまち。
- 落ち着きのあるまち。
- 緑、公園の多いまち。
- 税金の負担が少ないまち。

## 調査結果

- 緑があふれ、バラを大切にした、きれいなまち。
- 緑が豊かで、子どもたちが伸び伸び生活できるまち。
- 事件、事故が少ないまち。
- 緑と川の美しいまち。
- 緑の多い、ごみのない、空気のきれいな、障害者や高齢者に優しい、犯罪の少ないまち。
- 税金の使用など、市政の状況を把握できるまち。
- 一生住みたいまち。
- 古い街並みのあるまち。
- 子どもが伸び伸びしているまち。
- 緑の木があるまち。
- 緑や自然と、都市発達が調和したバランスよいまち。
- 緑を大切に安心、安全なまち。
- 緑豊かで、住民がお互い気軽にあいさつを交わして、人とのつながりを感じることもできるまち。
- 緑豊かで、自然環境と産業が融合されたまち。
- 緑豊かでいやされるまち。
- 緑豊かで安心、安全、医療福祉が充実したまち。
- 緑豊かで安心して暮らせるまち。
- 緑豊かで自然が美しいまち。
- 緑豊かで自然環境に恵まれ、整備された美しいまち。
- 緑豊かで住みやすいまち。
- 緑豊かで美しい街並み。安心して暮らせる富士市。
- 緑豊かな、美しく、心落ち着くまち。
- 緑豊かなさわやかなまち。
- 緑豊かな美しいまち。
- 老後も安心して暮らせるまち。
- 高齢者が暮らしやすいまち。
- 物価の安定したまち。
- 高齢者に感謝する人間性のある人柄のまち。
- 自然を大切に、緑豊かなまち。
- 自分より弱い人、貧しい人、肩書きのない人を差別することがないまち。
- お金をかけないで自然を生かせるようなまち。
- 高齢者も子どもも主婦も参加し空き地にコスモス、ひまわりなど花を植えたりする、明るく楽しいまち。
- 近所が仲よく、助け合うことができるまち。
- センスのあるまち。
- どこへ行くのにも便利。緑豊かで、医療機関や商店街などが近くにあるまち。
- どの世代の人にも便利で安全と感じるまち。
- モダンな中にも昔ながらのよさを持ったまち。
- 安全かつ、にぎわいのある暮らしがいのあるまち。
- 人々が協力できる、まとまりのあるまち。

- 安全で子どもを外で遊ばせることのできるまち。
- 何か一つ特徴のあるまち。
- 環境汚染などの公害をより少なく、富士山がもっと映えるまち。
- 街路樹のある美しいまち。
- 公共機関が充実していて、車を持たなくてもいいまち。
- 高齢者が安心して外出できる公共交通機関の充実したまち。
- 街並みが整備された美しいまち。
- 行き交う人々が明るい笑顔の安心なまち。
- 自然を生かした子どもたちの育成に力を入れるまち。
- 労働者が生き生きと労働できるまち。
- ハンディを持った弱者を助けたいという市民であふれたまち。
- 市民のための行政サービスが充実しているまち。
- 公害のない、きれいな空気に満たされたまち。
- 若者が希望を持ち、その実現へ向かって頑張れるまち。
- 市民へのサービスがいいまち。
- 自然豊かで、世代間交流の活発なまち。
- 市が目指すまちを市民が共有できるまち。
- 昔のままを残した、多いまち。
- ほかの市のまねではない独自のまち。
- 食料に限らず、いろいろなものが地産地消できるまち。
- 大型資本ではなく、地元企業と顔の見える商品を売り買する商店街が元気なまち。
- 多摩地区などの東京郊外のようなまち。
- 街路樹・下水道などの街並みを整備した、美しい景観のあるまち。
- 都会ではないけれど買い物にも医療にも不便のないまち。
- 自然にあふれ、ほかの県から観光客が来るようなまち。
- 富士山、駿河湾などのすばらしい自然と共存していくまち。
- 富士山と水と紙の資源を大事にするまち。
- 富士山に見守られて、ゆったり成長するまち。
- 風俗店を減らすまち。
- 古いものと新しいもののバランスが取れているまち。
- 仙台のように一地区だけでも緑が豊かなまち。
- 市民の意識、目線に合った、子どもと高齢者を守るまち。
- 若い人が働く場所があり、子どもや高齢者が安心して生活できる、活気あるまち。
- 人の心が温かく、思いやりがあり、マナーを守る人の多いまち。
- ごみのない美しい水が流れるまち。
- 不審者や犯罪・交通事故のない、子どもから高齢者、障害者も安心して暮らせるまち。
- 自然災害が起こったとき、迅速かつ的確に対応できるまち。
- だれもが利用しやすい公共交通のまち。
- 日常生活で利便性に優れたまち。
- 富士山など恵まれた自然環境と共生しているまち。

## 調査結果

- 電車に乗っているいろいろなところに行けるまち。
- 富士山のように大きく清らかに活気のあるまち。
- 富士山が世界遺産になるようなまち。
- 文化、歴史、自然、街並みなどがすてきで、活気ある人々の集うまち。

## 富士市について・まちづくりのために・要望など

- エコ自転車や、ベビーカー、高齢者の電動車いすの使いやすい環境。電動自転車の補助制度や、歩道の確保。三島市のような、高齢者にも優しい段差の少ない歩道の設置。健康推進のためのウォーキングコースのある公園。水遊びのできる親水公園の湧水をアピールし、観光にも活用。
- あいさつのできる人間育成。
- 高齢者や子どもが安心して住めるようになってほしい。
- 清水町の柿田川のような、水を大切に美しく演出するまちになってほしい。
- ごみの散らかっていない、清潔なまち。とにかくごみが多い。自分の出したごみに責任を持たせる教育が必要だと思う。
- コンビニ弁当の空や、空き缶など捨てる人が多くいます。これは子どものころからのしつけの仕方だと思いますが、幼稚園、小・中学校などでもう一度、汚さないための基本の心をしつけ直してほしいと思います。
- スポーツ公園などの設置。
- 富士市は工業都市のため、県外からの移住者が多く、さまざまな見方をされます。古いものをすべて新しいものに変えるのではなく、古いものを生かして品がよく、センスのある近代的なカッコいい市になってほしいです。ほかの市と比べるだけの考えはもう古いと思います。品のあるまちには品のある住民がふえていきます。一人一人の考え方も変わってきます。私の周りの20代の友達と、よくこうした話をしています。現に、横浜市のように若い人たちに理解を示す年配者が多い都市は、例のとおり、私の理想です。
- 車からのタバコや缶・ペットボトルのポイ捨てを禁止し、きれいなまちづくりしてほしい。
- 詰め込みではなく、子どもが伸び伸び勉強できる学校が必要。
- ドラッグの問題があるようなので、その問題を解決してほしい。
- バス停で高齢者が傘を差して雨にぬれ、重い荷物を持ってバスを待っています。市役所の前はいすや屋根のあるバス停があります。大きなものでなくてもよいのですが、いすと屋根は取りつけたほうがよいと思います。街路のハナミズキなど、心にやさしく感じられます。美しい街並みだと人の心はいやさされ、缶やごみなどのポイ捨てもなくなるのではと思います。
- まちが美しく、老いも若きもいろいろな仕事に携わっている、健康的なまちであつたらいいなと思う。高齢者による託児所をつくってみたいと思う。育児に関してもベテランだし、高齢者にも生きがいになると思う。それに、だれにも相談できない若い母親のためにもなると思う。
- 景観を大切に、奇抜な建物を注意してほしい。
- もう少し交通の便がよくなると助かります。特に、朝の身延線の車両を多くしてくれるとうれしいです。
- もっともっと人々が流入して活力あるまちになるよう、富士市の中心部をつくってほしい。
- もっと医療の充実したまちになってもらいたい。

- もっと商店街などに活気があって、工場排水を違うところに流して、水がもっときれいであってほしい。
- より一層、男女共同参画が進み、男女が協力して生活していける都市。
- 愛知県の飛島村のように、医療・福祉のサービスを充実し、市民が安心して働ける企業を誘致して、市と市民が潤うまちにしてみたい。
- 安らぎと、緑に満たされた、みんなが夢中になる毎日、富士市。
- 安心して通院・入院できる医療体制の充実。河川整備による美しいまち。自然を生かした観光のまちづくり。
- 暗い道に少しでも街灯があったらいいと思う。
- 医療にお金をかけてすばらしい医者が市立中央病院に来てほしい。
- 医療体制も整い、子どもから高齢者、障害者が安心して暮らせるまちづくり。一人一人が互いにいたわりあい、本当の福祉のまちになってもらいたいと思う。また、美しいまちを目指すなら、なぜごみをポイ捨てするのか。トラックを何台も用意して捨てなければならないのか。この問題は他県にも言えると思うが、美しいまちづくりの第一歩になると思うので、皆さんで考えてもらうよう、市民に呼びかけを考えてもらいたいと思う。まち全体は自分の庭という意識を持ってもらいたい。
- 一人一人が自分たちの住んでいるまちを意識し、自慢できるようにする。
- 右折車が左折や直進の車より先に行くのはおかしい。横断歩道が青なのに、左折車が平気で曲がってくる。歩行者の横を猛スピードで接近して通過する。煙、運転マナー、これだけでかなり観光客に嫌われてしまう。
- 煙、公害を何とかしないと観光も何もありません。青い空を取り戻してください。ほかの都市から来ました、酸性雨がひどく、家が長もちしません。
- 煙突がたくさんあって臭いまち、というイメージを払拭してほしい。ほかのところから移ってきた人はみんな富士の印象をこのように言います。
- 横浜港北ニュータウンのような、近代化を調和させた、また地域の人たちの交流があるまちづくりが必要だと思う。
- 横浜市のようにバスが一律料金で、バス停が多く、高齢者には無料のパスがあり、家族の手を借りずに自由に出かけられるまちにしてほしい。私は自営業者で、ある日突然「事業ごみだ」とごみが捨てられなくなり、困っている。量はごみ袋1つ以下なのだが、袋を有料にするなど、何かほかに捨てられる手段を考えてから実施してほしい。事業税も市民税もたっぷり払っているの。
- 沖縄のように、海と山を活用し、観光のまちにしたい。田子の浦港の近くに公園ができるので、海でとれるシラスを生かし、観光のスポットにしていきたい。
- 温暖な気候と自然に恵まれた条件を生かし、静かで気持ちがいやされるまち。
- 下水道の整備。
- 海も山も近くにあるのに、余り行かないのもったいない気がします。清水区のように港や海岸付近をもっと整備したらいいのではと思います。
- 海岸や道路に故意に捨てられるごみが多い。大人の教育を考えたい。
- 防犯対策をしっかりしてほしい。
- 私は東京から大淵へ引っ越して6年目ですが、大変住みにくいです。自分で運転ができず、どこへ行くにも1時間から2時間に1本のバスで用事を済ませます。図書館へ行くのもままならず、もう少し交通の便をよくしてほしい。図書館の閉館時間を延長し、読みたい本がすぐに読めるようなま

## 調査結果

ちづくりをしてほしい。また役所などの公共機関が、5時で閉館となっていますので、勤めている人には大変不便です。

- 掛川市のようなまちにしたいです。
- 活気があり、すっきりしたまち。民意に対する実行力。
- 活気のあるまち。静岡市は商店街に活気があり、イベント行事が多くにぎわっている。
- 環境に優しい、文化の香りがするまちにしてほしい。特に子どもに優しいまち。子ども教育に力を入れてほしい。
- 観光発展のため、各種外国語教育が盛んで、通訳ガイドを養成できるまち。外国語教育には現在富士市に来ている外国人を活用するのがよい。また、飛行船の製作、パイロット育成ができるまち。
- 吉原商店街を整備し、人の集まる地域にしてほしい。
- 近江八幡市のような、まちの中に清流のある富士山のふもとのまちはいかがだろうか。JR新富士駅を降りて市内を歩く他県の人、「ここはいい、住みたいまちだ」と思ってもらえるはず。
- 空気が汚染されていない、緑も豊かなまちであってほしい。そして市民が安心して暮らせるよう、医療も充実して生き生きと暮らせるのを望んでいます。
- 規模の大きなイベントが望めないのでふじさんめっせは不要。DMVの導入はやめて、きめ細やかなワンコインバスをふやしてほしい。
- 現在、富士市はいろいろなものが混在していてゴチャゴチャしている。区分けを設定できたらいいと思います。
- 個人の権利だけを大きく主張するのではなく、果たすべき責任も十分果たすことのできる、良識ある市民が住む、生活のしやすい富士市。
- 午後2、3時過ぎに車で市内を走っているときによく見かけるのですが、ごみが山と積まれて、鳥、猫が袋を破ってごみが散乱しているので、もう少し早くごみを持っていってもらえたらと思います。せっかく緑が植えられているのに、その根元にごみを置いている。車の中からごみを捨てる人は許せません。富士市のどのまちを通ってもごみの山が、市民や、ほかのところから来た人の目にふれないようにできたら、きれいなまちのイメージにつながると思います。以前カナダに行ったときに、どのまちをバスで通っても、公園に行ってもごみや缶の入れ物がその場所にマッチして、旅行している人にとっても、すごく優しいまちだと好感を覚えました。
- 映画館、ショッピングモール、カフェなどの娯楽施設をつくる。年齢を問わず楽しめる、何でもおいてある雑貨店をつくる。また、それらの施設をまとめたほうがよいと思う。
- 交通網の整備。高齢者でも、日常生活に困らなく住めるまち。
- 交通網をもっと充実したらいいです。
- 公園にもっと幼児が遊べる遊具などがあつたらと思います。
- 富士西公園は好評なので、公園をふやしてほしい。JR富士駅からJR新富士駅への道のりが遠い。
- 公害のまち、というイメージを払拭し、自然や気候に恵まれた日本一住みやすいまちになってほしい。市の政策はもっと独自性を持ってほしい。
- 工業都市として有名だが、街並みをもう少しきれいにしてほしい。富士市は人口が多いので、仙台市や福島市などのように政令指定都市を目指してほしい。
- 工業都市からの脱皮。
- 工業都市でいて、文化の香りのするまち。このまちに生まれこの地で育った者として胸を張れるよう、明るく自然を生かしながら整備してほしい。

- 工業都市のイメージが多いので、自然豊かなまち、人に優しいまちになってほしい。
- 工場が多い市で、不可能かもしれないが、緑が多い環境のよい市になってほしい。
- 工場の煙突を少なくする。バスの通る道をふやしてほしい。
- 行政改革、産業の活性化。市職員の意識改革などをして浜松市のようにしてほしい。小さな行政、効率のよい行政を目指してください。補助金など過剰なサービスはいらぬ場合もあります。
- 大学を卒業した若者が帰ってくるような就職先を確保してほしいです。若い世代が地元に着住しなければ、まちの発展はないと思います。
- 高齢者が一人でも安心できるような富士市を望む。
- 高齢者のバス、電車の運賃の割引、無料化など。幹線道路以外の道路をよくしてほしい。
- 精神科の病院が大変に不足しています。うつなどになる若者が多くいます。予約なしで当日診察できる病院が必要です。また、その家族をサポートする場所が本当にほしいです。お願いします。
- 田子浦地区に大型店が進出したことはよいことですが、JR富士駅周辺、吉原中央駅周辺の商店街に活気がなく、人がほかの市に流れている。玄関口である駅周辺に人が集まるような、元気のある富士市にしてほしい。
- 最近では企業のマナーが悪いような気がします。会社で火を燃やしたり、会社のロゴの入った車なのに、遅い車をあおったり。ディズニーランドや富士急ハイランドみたいに何度も行きたくなる施設があるといいです。新幹線も止まって交通の便もいいし、そういうところで働きたい。
- 山、川が清潔で美しい。この地で育った人は、悪いことはしないだろうと第一印象で感じました。
- 山と海をもっと生かし、またせっかく旧東海道など歴史もあるのに埋没してしまっているので、自然と歴史のまちのイメージをつくる。
- 産業活性化が必要。新幹線のひかりが停車する市になりたい。
- 子どもから高齢者、すべての人に優しいまち。富士市をもっとアピールしてほしい。
- 子どもの夏休みなどに母親が安心して働けるような児童施設の充実。ただ少子化問題だけを取り上げても、このままの社会の状態では、まじめに考えれば考えるほど産めないのが現状ではないでしょうか。
- 子どもたちがゆったりとした気持ちで楽しく暮らせるような、いろいろな面で豊かな心優しいまちになってほしい。
- 子どもたちが安心して外で遊べるようになってほしい。
- 市民の意識（モラル、教養、公德心など）の高いまち。そのためには教育が充実していること。生活が安定していること。緩やかでもいいから、地域コミュニティが機能していることが必要です。
- 市民の一人として富士市を愛することができること。お金がなくても豊かに暮らしていくことができたらよいと思う。市民にツケがまわることのないよう、税金収入の範囲の中で、むだを省いて有効活用することを望む。
- 市民一人一人が富士市のことを愛して、ごみや郊外での犯罪が少なくなるような市。
- 思いやりの心を持って仕事してもらいたい。
- 私はあるスポーツで全国を訪れていますが、これだけの規模の市でありながら、まともな体育館は一つもなく、芸術文化の拠点もないので、精神的には殺伐としたまちだと思う。これらの解消が重要でしょう。
- 紙のまち・富士というイメージだけでなく、小さな工場のオンリーワン商品をもっと多方面にPRすべき。市長が先頭となりPRする。



## 調査結果

- 滋賀県守山市は、娘夫婦が転勤で住んでいますが、道路が広く歩道に凸凹がありません。自転車で走っても安全です。富士市は産婦人科の受け入れ体制が整ってなく、里帰り出産ができませんでした。
- 自然は大切にしてもらいたい。
- そのままの富士山を残しておきたい。
- 自然豊かなまち。市民が協力し合って安全なまちをつくる。知床、小樽市などは自然が多く、まちの人がとても親切で、初めて来た人もすぐになじめる都市でした。
- 自然豊かな田園風景を備えたまちづくり。思いやりのある人づくりと教育の充実を図る。河川を整備し、常にきれいな水が流れる川にする。高齢者が安心、安全に暮らせる施設を充実する。
- 私は障害を持っているので、もっと障害者でも働ける仕事などをふやしてほしい。また、自分の地元はすばらしいと思えるまちにしてほしい。
- 車がないと暮らせないまちから、車がなくても暮らせるまちにしてほしい。
- 車がなくても生活しやすい、京都のような路線バスの充実した市。
- 車の中からごみを捨てないまち。家の前に、ジュースの缶、紙おむつなど、よく捨てられています。
- 車ばかりでなく、自転車や歩いていて心地よく感じる道の整備。
- 車社会なのに、ガードレールなどもなく、歩いていると危ない場所が多い。子どもの通学路などにもっとガードレールの設置や、道を広くすべき。
- 若者が地元で元気よく働けるまちを望む。地元商店は、スーパーにないものを探し、それを生かせば十分対抗できると思う。
- 商業地は一極化すべき。分散しては集客力がない。買い物、映画鑑賞など休みを市内で過ごせるまち。
- 商店街がシャッター通りではなく、活気があり、企業がふえ、若者の雇用が盛んな経済力のあるまちを望む。
- 富士北地区と伝法地区の間にはまだ田畑があるので、公共施設があると活性化すると思います。
- 商店街に活気を取り戻してほしい。
- 商店街に駐車場が足りない。駐車違反の罰金の高さにはあきれてしまう。これでは商店街で買い物ができない。
- 商店街に緑を植え、歩行者天国にする。魅力的な商店を商店街につくる。
- 商店街を活性化し、バス路線を充実させる。長泉町ではごみ分別を徹底しており、町民の意識が高いので見習ったほうがよい。
- 商店街の活性化として、東京上野のアメ横のようなまちづくり。
- 商店街の整備。市の中心部を充実する。
- 商店街を整備し、野球場・サッカー場などのスポーツ施設をつくり、人が集まり、にぎわいのあるまちになってほしい。
- 通学路の整備。できれば自転車専用道路を設置する。
- 長野県小布施町のような、住んでいる人が誇りと品格を持ち、落ち着いた雰囲気のある市を目指す。建物の高さも、富士山の景観を壊さないよう高さや、色をそろえる。
- 沼津市は商業都市なのに学校、病院など整備され、充実している。富士市は、産業都市で豊かなわりには学校や病院がない。沼津市、静岡市のように、誇れる病院をつくるべき。
- 障害者や高齢者が安心して散歩ができる道路の整備と緑豊かな公園を、各地域に希望します。

- いろいろな産業がある都市。今の富士市は古い会社が多く、画一的な感じがするため。
- 新しい施設をつくるときは相談してほしい。新しい道路はいらない。
- 新しいところの発展もよいが、商店街も活気あるまちにしてほしい。
- J R 新富士駅と J R 富士駅、吉原駅が直結できて、交通アクセスが便利になるとよい。自然が豊かで、めだか、オタマジャクシ、虫たちを子どもたちが身近に感じたり、楽しんだりできる環境が必要。
- 人と人が助け合って生きていけるまち。お互いに思いやれば豊かでも生きていける。お金で解決するようなことばかりやってもよくない。
- 仲よく協力し合い、いたわりあって生きられる豊かなまち。日本一安心して暮らせるまちといわれる富士市にしたい。
- 人工的に作り出されたまちでなく、今の自然を残しつつ整備されたまち。あまり人の通らないところに、立派な歩道や歩道橋をつくるのではなく、通学路の安全のために歩道やガードレールなどの整備をしてもらいたい。どこかの都市のものまねではなく、ほかの都市から目標とされるまち、目指されるまちになることを願う。
- 富士市は水のまちでもあるので、水路を商店街に通し、コイを放して気持ちがりラックスできるまちになれば人が集まると思います。まずは市郊外に水路がたくさんあるので、テストしてみてください。
- 世界中の人々が観光に来られるようにランドマーク的な建物を整備する。また富士のふもとで観光会議が開かれるような施設があってもよいと思う。
- 生活のため、働く場所があるまち。緑豊かで美しいまち。ボランティアの人が、地区まちづくりセンターなどで健康体操、保育交流、高齢者の憩いの場の提供などをすればいいかもしれない。
- 製紙会社への公害対策として、各事業所への指導が必要。
- 製紙工場が多いせいなのか、空気が汚くにおいも気になる。富士山を眺めるのにふさわしい、緑豊かで空気のきれいな美しいまち。
- 静岡空港建設で税金が上がるのは絶対嫌だ。
- 静岡県内だと、静岡市より浜松市の雰囲気が好きなので、浜松市みたいになってほしい。
- 静岡市のような、住まいと職場のバランスがとれたまち。
- 税金を何とかしてほしい。すべて高過ぎる。
- 昔を懐かしむまちづくりなどどうでしょうか。まちの昔話を高齢者と若者が笑って話せるのはいいかもしれません。人生の先生だから、年配者の知識をちょっともらいましょう。きっとよい勉強になります。
- 太平洋に面し、県内で清水港に次ぐ規模の港を持つ富士市は、横浜市をモデルするとよいと思います。世界に冠たる日本一の富士山をバックに、港の発展と工業と観光で、21世紀の花形都市を目指すべきです。
- 大雨が降っても、車の通るところが通行止めとならないまちにしてください。
- 大学、短期大学などの学校をつくる。また子どもたちが近くで遊べる場をたくさんつくりたい。
- 大企業、大学の誘致。文化のまちを目指す。
- 地産地消率を上げるために、空き地を農地にする。
- 吉原中央駅経由でバスを乗り継がなければ目的地に行けないので、とてもいらいらします。交通網を発展させ、最短で行けるようにしてください。

## 調査結果

- 市立中央病院の産婦人科問題が心配。今後も続けられるよう、お願いしたい。
- 通学路などを明るい道とする。商店街の活気を取り戻す。
- 田舎は田舎なりに背伸びせずそのままがいいと思う。
- 道路、富士川橋などを整備し、充実してほしい。
- 日本を代表する富士山をどのようにアピールし、また自然を守るかが重要。そして今は災害に対して市民一体で考える、大切な時期です。市長のリーダーシップとパワーが必要です。
- 日本一の富士山が見えるまちなので、富士山周辺に道路、公園、飲食店などの整備を充実してほしい。
- 日本一の富士山が見えるまちなので、もっと観光に力を入れて、集客のできるようにしてほしい。
- まちの中心部に高齢者の各種施設（一人住まいの住宅を含む）を設置し、周辺に病院・公園・保育園・学校・ペットの店など交流できる場を設ける。歩いて買い物ができる商店街があるなど、市全体を福祉のまちにしてほしい。
- 子ども、高齢者が安心して暮らせるまちにしてほしい。教育が変わると意識も変わると思うので、まずは学校教育に力を注いでほしい。
- 美しいまちも大切ですが、その前に安心で安全なまち。車いすの介助をしても、途中からどうやって行ったらいいのか困る道が多過ぎます。車のためだけでなく、歩行者にも優しい道路を望みます。
- 田子の浦港で作業しているパルプ運輸の車が荷台にほろをかけないため、ごみをまき散らして運搬している。運送会社に問い合わせても何も変わらない状況です。こういった状況を市はどう考えているのか聞きたい。
- 美しいまちにすれば人は自然に集まり、活気あるまちになると思う。
- 美しい富士山を見ると写真を撮りたくなりますが、そのたびに電柱と電線がなかったらよいのにと思います。今すぐには無理でしょうが、何年後かには地下に埋設して、電柱と電線のないまちにしてほしいです。美しい富士山を見るためにも、ぜひお願いします。
- 富士に住んでいると友達に言うと、おおいがするまちと思われています。それを払拭するまちになってほしい。
- 富士山の名に値する、山の緑、海、きれいな水をイメージさせる、自然豊かで空気のきれいな美しいまちでありたい。そのためにも住宅地と工場はなるべく別にしたい。
- 富士山を大切にすまち。京都のような古いものを大切にする心を持つ。
- J R 富士駅～ J R 新富士駅～ 田子の浦港～ J R 吉原駅をつなぐ専用交通手段を設け、それに掛け合わせた地域活性を図る。そして田子の浦港周辺に大規模な公園、商業店舗を計画し、J R の駅周辺とあわせて振興を進める。
- J R 富士駅周辺は夜のまちとなっています。安心、安全な場所になることを願っています。
- J R 富士駅前のパピーが閉店し、飲み屋街になっていくのが残念です。富士もますます寂れていくようで、このままでは活性化どころではありません。沼津市のように映画館やショッピングができる施設の建設を考えてほしい。
- 富士宮市などのように、一つでもほかに自慢できるものを見つけて市全体で売り込む。
- 富士宮市はきれいに整備されて街並みがとてもきれいになりました。富士本町、吉原商店街はシャッター通りと言われているくらい、昔に比べるとかなり活気がなくなったように思います。田子浦地区に大型ショッピングセンターができて、これをきっかけに富士市のまちもどんどん盛り上がっ

てくれることを願います。

- 富士宮市を例に挙げると、B - 1 グルメで焼きそばが全国に名をはせるブランドになった。マスコミを巧みに利用している。富士市は紙のまち、これを利用して全国のブランドにすべき。トイレットペーパー、紙おむつ、生理用品、段ボール、紙飛行機を子どものおもちゃにするなど、紙製品のすべてを富士市から発信し、ブランド化する必要がある。マスコミを大いに利用し、PRが絶対条件である。
- 富士宮焼きそばのようなほかの県にないものがある市がよい。
- 富士球場の整備の遅れは非常に残念。例を挙げると、愛鷹、裾野、庵原などの野球場とは数段の遅れがあり、特にトイレが悪い。ほかの市町村の人は驚いていました。
- 富士山が世界遺産になれるよう、富士山を中心に富士、吉原を活気あるまちにする。富士宮市は都会的でよい。
- 富士山に代表されるように、「富士」の名に恥じぬまちづくりをしてほしい。また、市民として誇れるような、立派なまちになってくれるとうれしく思います。
- 市は道路の樹木や環境の整備や、そのほか大変努力していると思います。しかし、各家庭が、植えてある樹木を全然手入れをしないので、大変困っています。害虫も風とともにほかの家の木へ移ってきます。広報紙などで簡単で結構ですから、書いてくださればありがたいです。
- 富士山を生かした観光のまち。国際色豊かに。子どもの個性、興味を伸ばすことができる施設を充実してほしい。
- 富士山を中心とした美しいまちづくり。
- 緑豊かで自然環境に恵まれたまちづくり。煙公害を少なく、人を大切にしてもらいたい。
- 富士市の将来は富士山を活用することにある。日本一の自然であるので、守り育て、上手に利用することが富士市の発展の要である。富士山プロジェクトをつくり、対策を検討する。
- 富士市の東部地区の道路の整備。特に比奈地区にはすれ違いができない道路があります。スムーズに車が通れるようになればといつも思っております。
- 富士市はいままで工業都市でしたが、21世紀は、富士山を正面に、観光にも力を注ぎ、温泉が出るよう努め、工業と観光が両立できる都市になるのが理想です。
- 富士市は、あらゆるところにポイ捨てが多く、汚い。住んでいる人のモラルの低さを感じる。昨年行った札幌は美しかった。市民全員で美しいまちにしようという意識を感じられるまちだった。日本一の富士山のあるまちにふさわしいまちづくりを願う。
- 富士市は紙のまちです。紙を利用して、活気のあるまちにできたらいいなと思います。
- 富士市は水に恵まれたまちなので、これを生かしたらいいと思います。
- きれいな水が気持ちよく流れているとすてきです。
- 歩行者が安心して散歩できるよう整備されている美しいまち。美しい富士山を生かした、緑豊かで公害のないまち。富士市はマイカー中心のまちで、車の台数が多過ぎるので、車を減らし、路面電車や自転車などを交通手段とした都市整備を考えてほしい。
- 豊かで安全なまちであるようになってほしい。
- ホタル、トンボなどをふやし、豊かな湧水を生かしたまちづくり。車がなくても困らない、公共交通機関の整備されたまち。花や緑のあふれるまち。
- むだな税金を使わず、市職員が税金泥棒と言われぬようにする。国・県・市は税金を県・市民などから取り過ぎなのに還元していないし、していたとしてもわからない。すべての税金の使い道を

## 調査結果

わかるようにしてほしい。すべての人が安心して住めるところにしてほしい。

- 富士市には目玉がないので、目標・テーマを決めて、市のイメージを明確にし、観光を推進してほしい。富士宮市では、富士宮焼きそばと富士山を観光名物として上手に結びつけている。
- 市役所の人員整理と人件費の削減。市議会議員は20人くらいで十分です。
- 遊ぶ場所が多過ぎます。青少年への悪影響が心配です。昔のよいところを見直してみてもいいでしょうか。
- 健康がすべてのものに通じると思うので、緑豊かで空気のきれいなまち。
- 隣接自治体との連携を構想してほしい。
- 現市長になって、「あ、いいなあ」と思うところもあります。何事にもその人の気持ちになって当たってほしい。
- 霊峰富士に続く愛鷹連峰、駿河湾を望み、富士川の流れなど、この上ない立地条件に恵まれた富士市に住むことができるのは、本当に幸せなことだと常日ごろ思っています。袋井市にはエコパスタジアムがあるように、富士市も「富士山公園」を中心に、海外に通じるスポーツ施設、野球場があると、活気のあるまちになるのではないのでしょうか。市民一人一人が自覚して美しいまちを目指したいと思います。
- やはり富士山の恩恵である豊かな水とそれによってできた紙のイメージ。将来は煙突のない製紙工場、または煙突が整然と並んだまち。上空から見たら360度が緑のまち。富士山と調和。
- 老後を心明るく過ごせるよう個人の責任をしっかりとっていきたいです。
- 高齢者が多くなり、早朝夕方の散歩の人たちが多くなっています。中心地ばかり整備しないで、交通量が多いところに、安全な歩道をつくってほしいです。
- まちの中心や駅周辺は、にぎわいある商店街やデパートを充実させ、山、海、田畑などに産業をより充実させると全体的に活気あふれる富士市になると思います。
- どこから見てもきれいな富士山。JR富士駅から見たら電線が多過ぎるので地下へ通すことはできないのか。
- 地域で手を取り、温かい輪をつくろう、富士の大輪。
- もっと富士山を活用してもいいと思う。
- 愛情・人も自分も愛すること。信頼・家族、友人などを信じること。努力・自分の持つ力を十分出せるための努力。思いやり・どうすればみんなが楽しく幸福に近づけるかなど。活力あふれる生き生きとしたまち。
- 一部の人たちに利益があるような建物を次々とつくるのはどうかと思う。医療施設の充実した、安心して老後も暮らせるようなまちづくりのために、税金を使ってほしいと思う。
- 横浜市に30数年生活をしていました。確かにセンスのあるまちです。でも私は生まれ育った富士山のあるまち、富士市が一番好きです。
- 何より活気のあるまちがいいと思います。茨城県筑波研究学園都市はとても理想的だと思います。まちにゆとりがある感じがします。富士市は工場のまちだから仕方がないかと思いますが、他県から嫁いだ私には、富士市のにおいになかなかねえ、今もあまり好きではありません。富士市はもっとクリーンなイメージになるとよいと思います。
- 河川を整備し、いたずらに金をかけず、美しい自然を残す。大型スーパーがあまりにも多く、個人商店がこのまま消えていく気がする。優良企業が多くなり、それに伴い市の税収も多くなり、働く場所もふえる。活気あふれる、清い富士市であってほしい。

- 海、まち、産業の一体化した横浜市を目指す。
- ボランティアで、高齢者が安心して暮らせるように支援できる体制づくり。
- 各家庭が家庭菜園のようなものを持つ。今は住宅が敷地いっぱいになり、街並みは窮屈に見える。
- 岩本山を開発し、神戸市のような夜景のすばらしさをつくり、駿河湾また富士山を生かした観光のまちに発展してもらいたい。
- 吉原商店街を元気ある商店街にしてほしい。
- 公害の煙で富士山が見えないのは、観光に悪影響を及ぼします。ほかの市に負けない日本一の防災都市としてほしい。
- 高齢者が一人で生活に必要な買い物ができる食品・生活用品を扱う商店が多い商店街になってほしい。アーケードの両側にお花を植えて、ウォーキングしやすい楽しいまちにしていきたい。
- 川崎市のような公害を克服した都市を目指す。
- 吉原祇園祭をもっと活発に全国へPRしたい。
- 子どもや高齢者が生活しやすいまち。車がなくても生活できるまち。そういうまちがふえれば、事故や犯罪もない安心なまちになると思う。郊外の大規模な商業施設などではなく、もっと身近な生活環境を整えるべきだと思う。生活していく上で、何が一番必要なのか見きわめなければならない。
- 市政をよくしてほしい。市長の公約である市立中央病院の充実をしてほしい。できなければ公約違反として市長、市議会議員は辞職してほしい。
- 若い人が生き生きと働ける富士市にしてほしい。
- 区画整理をして私道を減らすほうがいいと思う。
- 信号交差点近くの植え込みの整備と、ごみの清掃が必要。
- 人にお世話にならないために、明るく楽しい生き方を自分で考えて生きていきます。
- 他県の人から、一番うらやましがられるのは富士山です。日本人のふるさとである富士山。それに平和の礎のような施設の建設はいかがでしょうか。
- ほかの都市のまねをする必要はない。良質の水を生かした産業を育成する。日本一美しい富士山を見ることができる都市として観光PRが必要。
- 田子の浦港を美しくしてほしい。
- 道路が曲がりくねっているところが多いので、直してほしい。
- 富士市は富士山のほかにも、特別なものが欲しい。
- 富士山を使って、静岡空港をPRしてほしい
- 豊かな自然環境を大切にして、安心して生活できるような富士市であってほしいと思います。
- 例に出ている金沢市は好きなまちです。自然、歴史、商業施設がバランスよく組み合わさっていると思います。また、人もあたたかくやさしく感じました。
- 富士市としてのアンデンティティーを生かしたまち。そのためにはランドデザインを明確に早急につくるべきだと思う。
- 子どもを遊ばせる、安全できれいなところをもっとほしい。
- 子どもが育つ環境をつくって、子どもをみんなで見守るようなまちにしたい。
- 環境整備をしてほしい。美しい富士市。明るい富士市。楽しい富士市。富士しかない市内づくり。
- 富士山を中心に全国へアピール。
- 富士山を世界遺産にしてほしい。
- 大手企業による悪臭を断つことが重要。

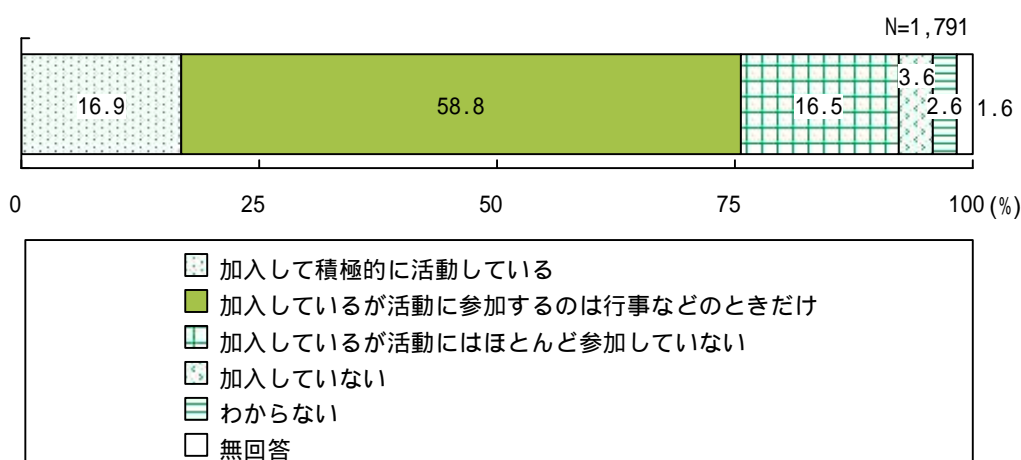
## 調査結果

- 海と山がある、美しく、歴史も大切にするまちになってほしい。犯罪などがないまち。横浜市や神戸市が特に好きです。田子の浦港がせっかくあるのに、きれいになったらすてきなまちになると思います。
- 富士山や自然を大切にするまち。宮崎マンゴーや富士宮焼きそばなど全国的に有名なものを使ってアピールできたらすてきだと思う。
- 気軽に参加できるボランティアがあれば子どもと参加したい。

## 「自治会・地域コミュニティ活動について」

### (1) 町内会・区（自治会）への加入状況

問15 あなたの世帯は、町内会・区（自治会）に加入していますか。また、どのように活動していますか。次の中から1つだけ選んでください。



町内会・区（自治会）に加入し、活動しているかと尋ねたところ、「加入しているが活動に参加するのは行事などのときだけ」と答えた人が最も多く、58.8%と半数を超えている。

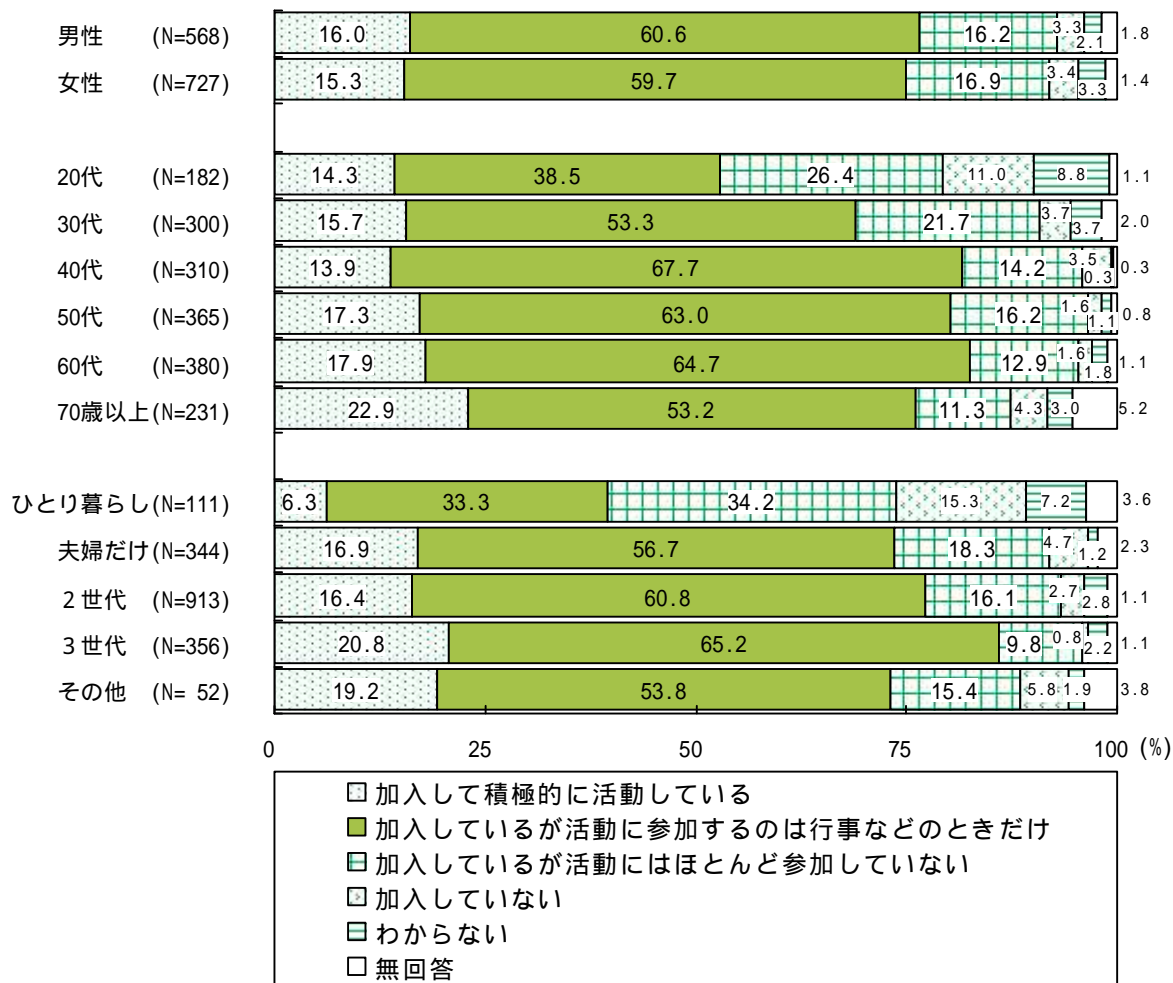
「加入して積極的に活動している」、「加入しているが活動に参加するのは行事などのときだけ」、「加入しているが活動にはほとんど参加していない」を合わせた、「加入している」は、92.2%と9割を超えている。

年代別にみると、「加入しているが活動に参加するのは行事などのときだけ」と答えた人が最も多いのは、40代で67.7%となっている一方で、20代は38.5%と4割程度である。「加入している」と答えたのが最も多いのは、50代で96.5%となっており、30代から60代までは9割を超えているが、20代は79.2%と8割程度にとどまっている。また、70歳以上では「加入している」と答えた人は87.4%にとどまっているが、「加入して積極的に活動している」と答えた人は、22.9%で最も多い。

家族構成別にみると、「加入している」と答えたのが最も多いのは、3世代で95.8%となっており、夫婦だけ・2世代も9割を超えている一方で、ひとり暮らしは73.8%と7割程度にとどまっている。

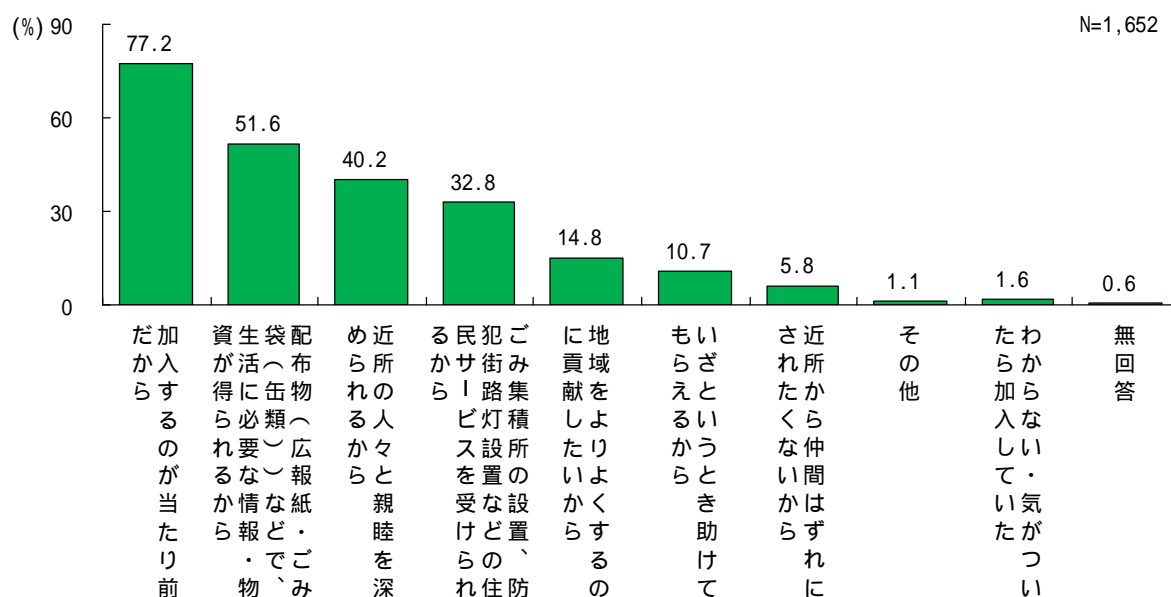


【性別・年代別・家族構成別】



## (2) 町内会・区(自治会)に加入している理由

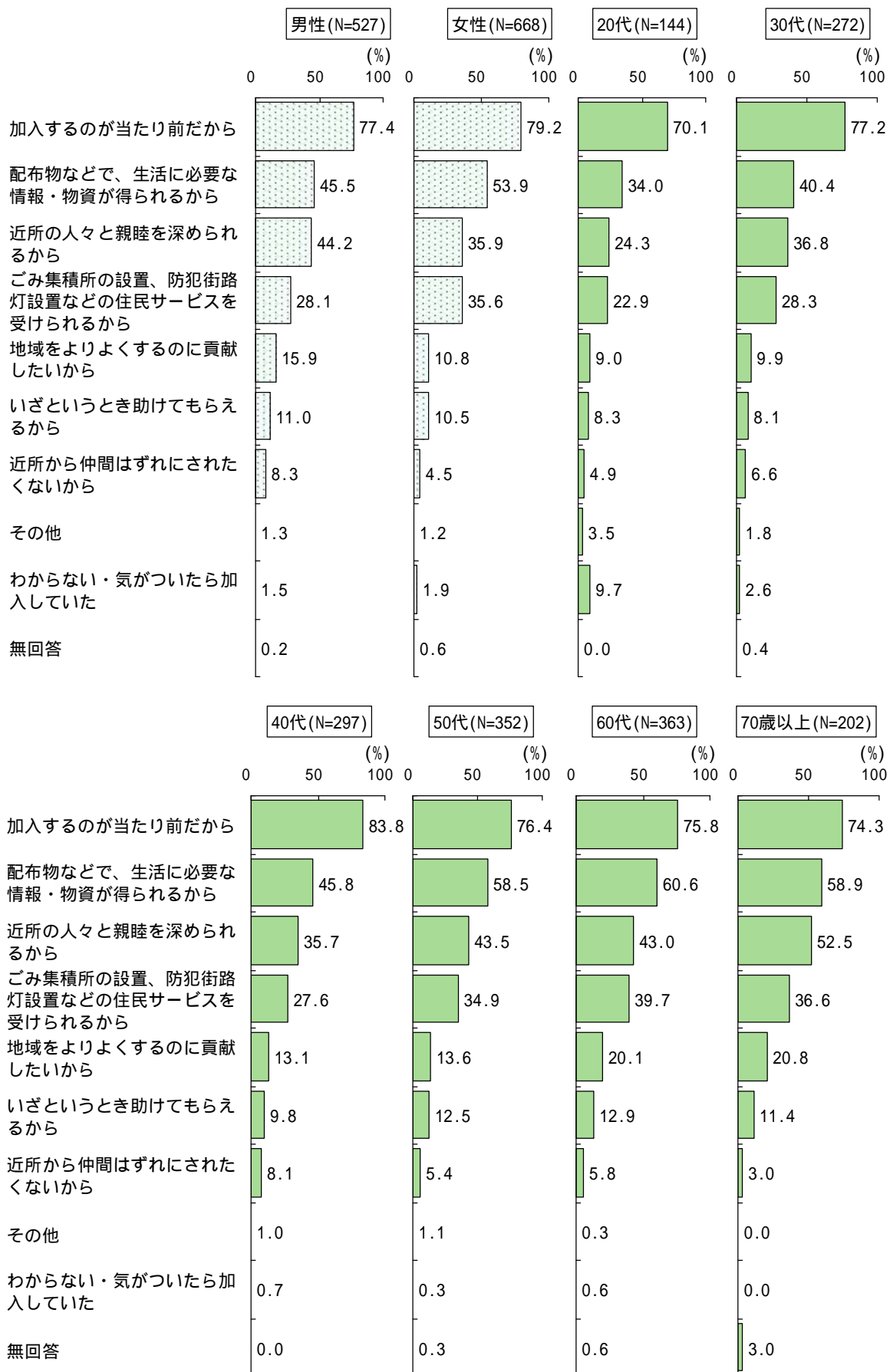
問15 - 1 あなたの世帯が、町内会・区(自治会)に加入している理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。



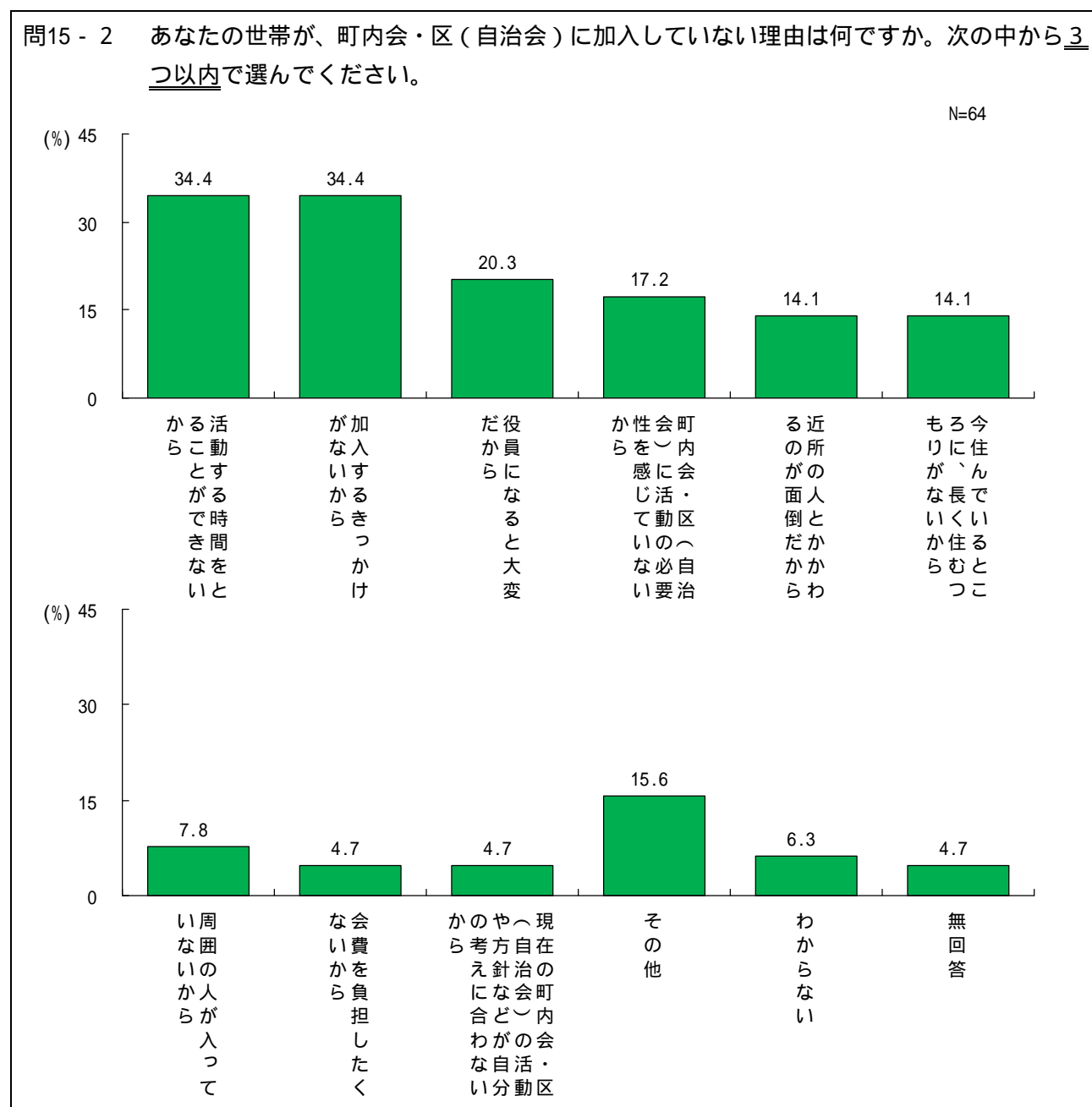
問15の質問で「加入している」と答えた人に、町内会・区(自治会)に加入している理由を尋ねたところ、「加入するのが当たり前だから」と答えた人が最も多く、77.2%と4人に3人の割合となっている。次いで「配布物(広報紙・ゴミ袋(缶類))などで、生活に必要な情報・物資が得られるから」が51.6%、「近所の人々と親睦を深められるから」が40.2%、「ゴミ集積所の設置、防犯街路灯設置などの住民サービスを受けられるから」が32.8%となっている。

年代別にみると、「加入するのが当たり前だから」と答えた人が最も多いのは、40代で83.8%となっており、すべての年代で7割を超えている。「配布物などで、生活に必要な情報・物資が得られるから」と答えた人が最も多いのは、60代で60.6%となっており、50代以上は6割を占めている一方で、20代は34.0%と3割程度にとどまっている。また「地域をよりよくするのに貢献したいから」と答えた人は、60代以上で2割を超えているが、それ以下の世代では10~15%程度にとどまっている。

【性別・年代別】



## (3) 町内会・区(自治会)に加入していない理由



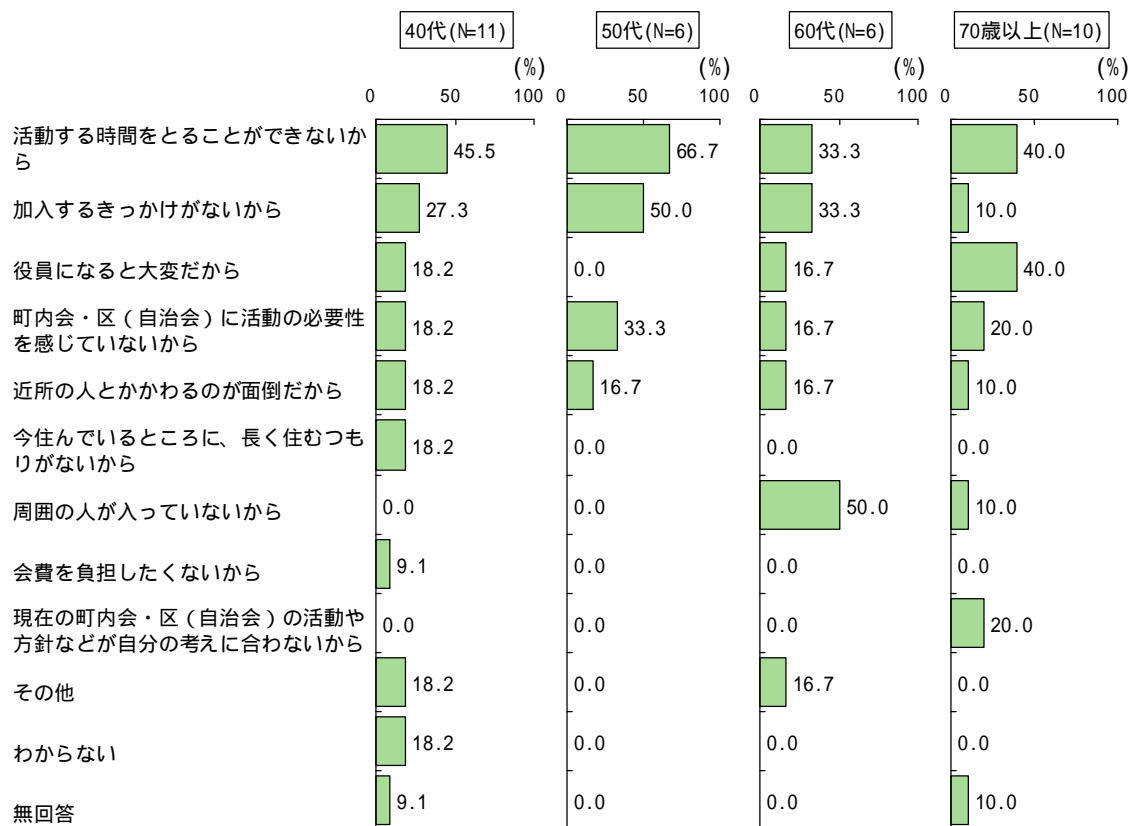
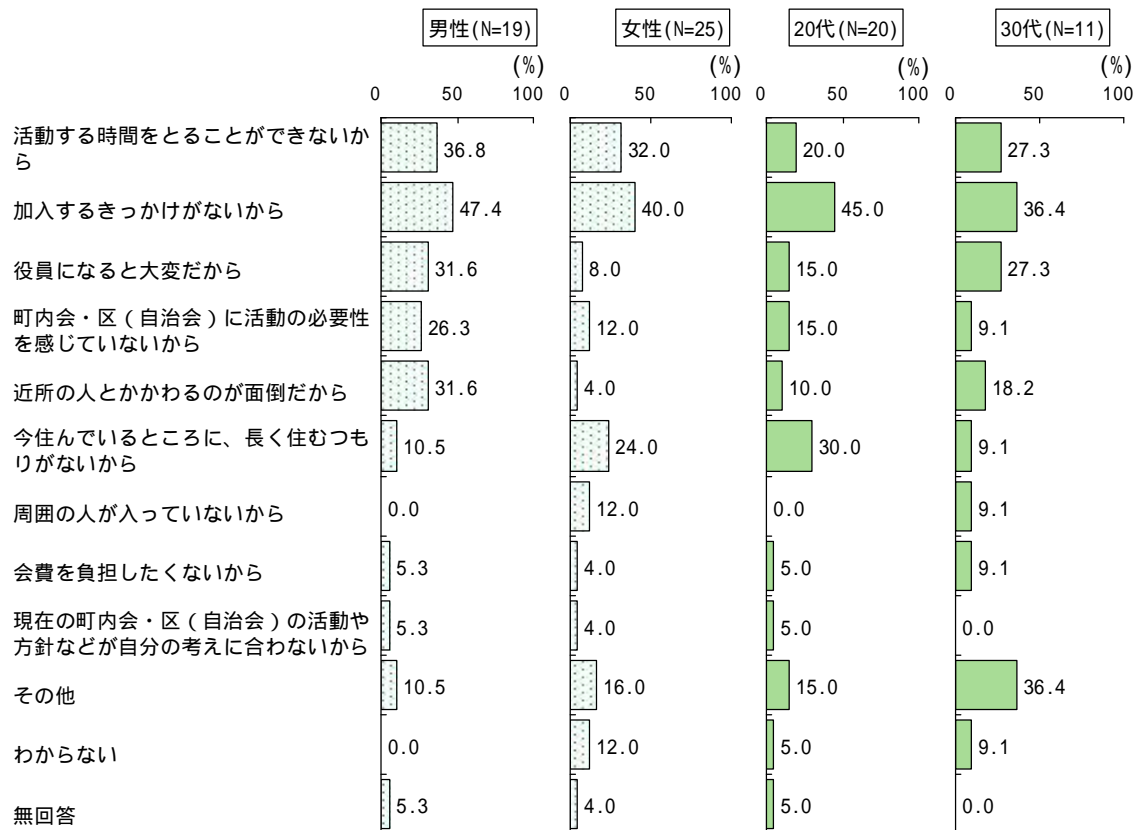
問15の質問で「加入していない」と答えた人に、町内会・区(自治会)に加入していない理由を尋ねたところ、「活動する時間をとることができないから」、「加入するきっかけがないから」と答えた人が最も多く、いずれも34.4%と3割を超えている。次いで「役員になると大変だから」が20.3%、「町内会・区(自治会)に活動の必要性を感じていないから」が17.2%となっている。

性別にみると、「役員になると大変だから」と答えた男性が、31.6%と女性より23.6ポイント高くなっている。また、「町内会・区(自治会)に活動の必要性を感じていないから」と答えた男性が、26.3%と女性より14.3ポイント高くなっている。

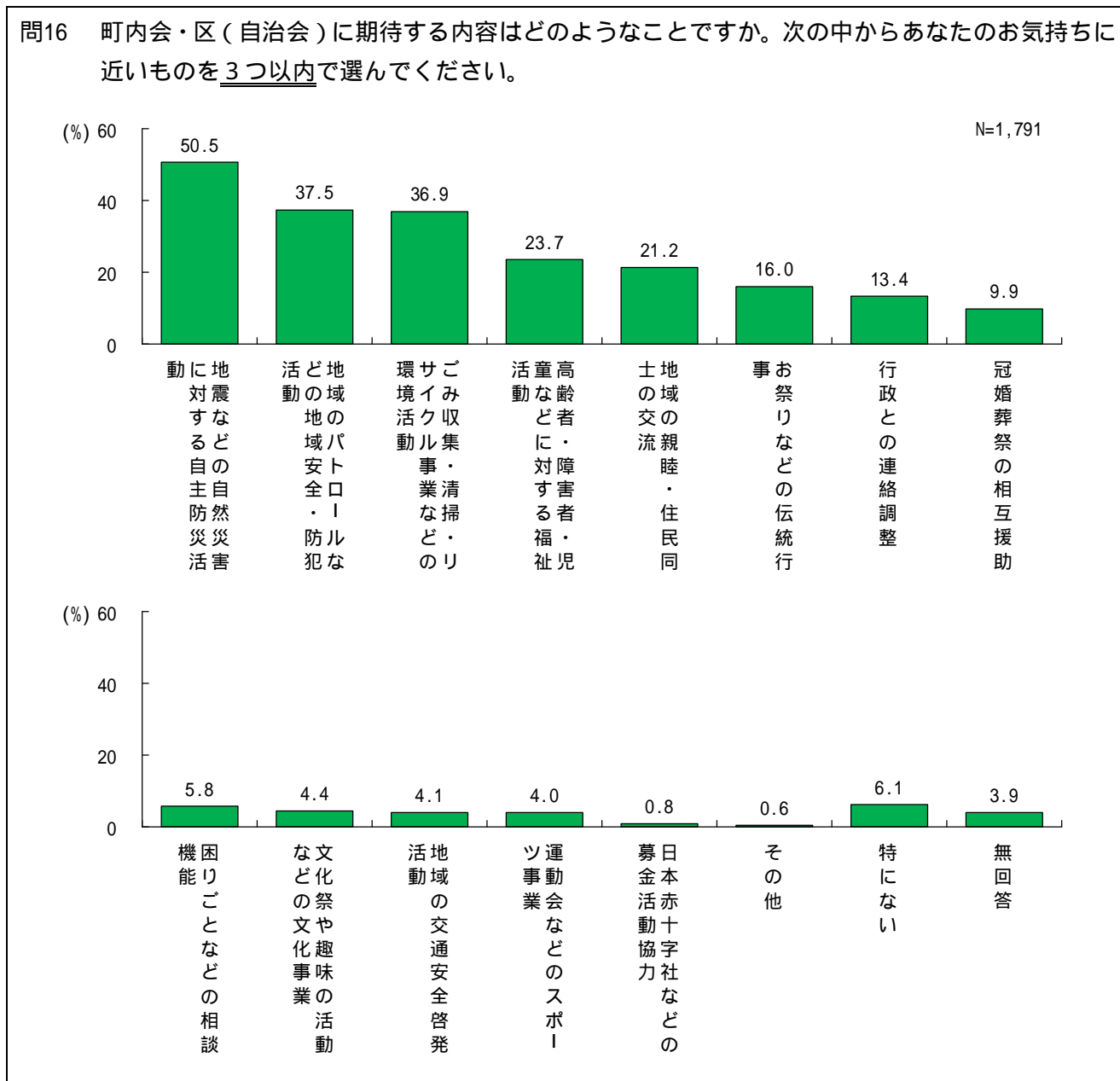
年代別にみると、「活動する時間をとることができないから」と答えた人が最も多いのは、50代で66.7%と6割を超えている一方で、20代は20.0%と2割程度にとどまっている。「役員になると大変だから」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で40.0%となっている。「周囲の人が入っていないから」と答えた人が最も多いのは、60代で50.0%とほかの年代に比べて突出して多くなっている。

調査結果

【性別・年代別】



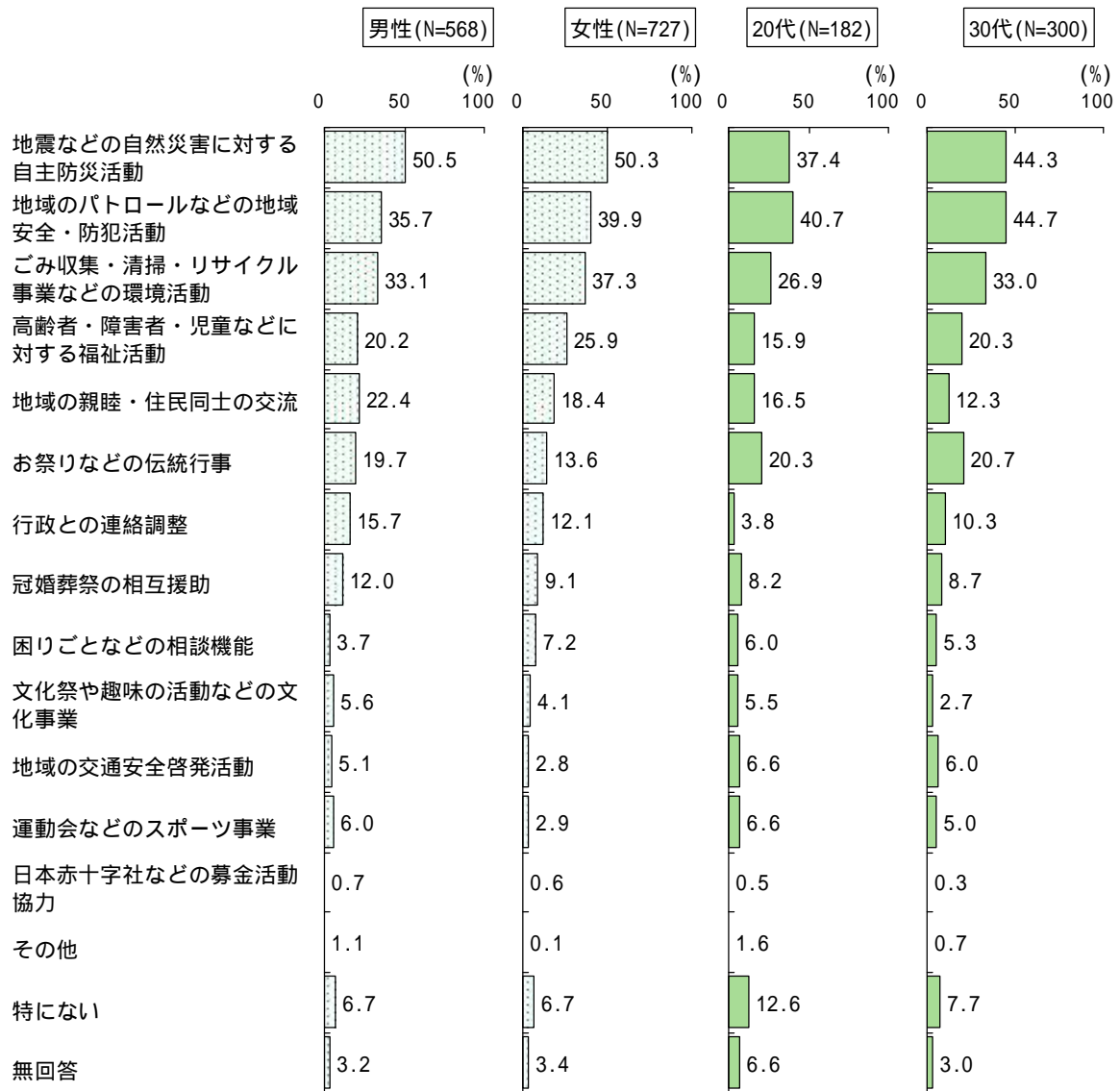
## (4) 町内会・区(自治会)に期待する内容

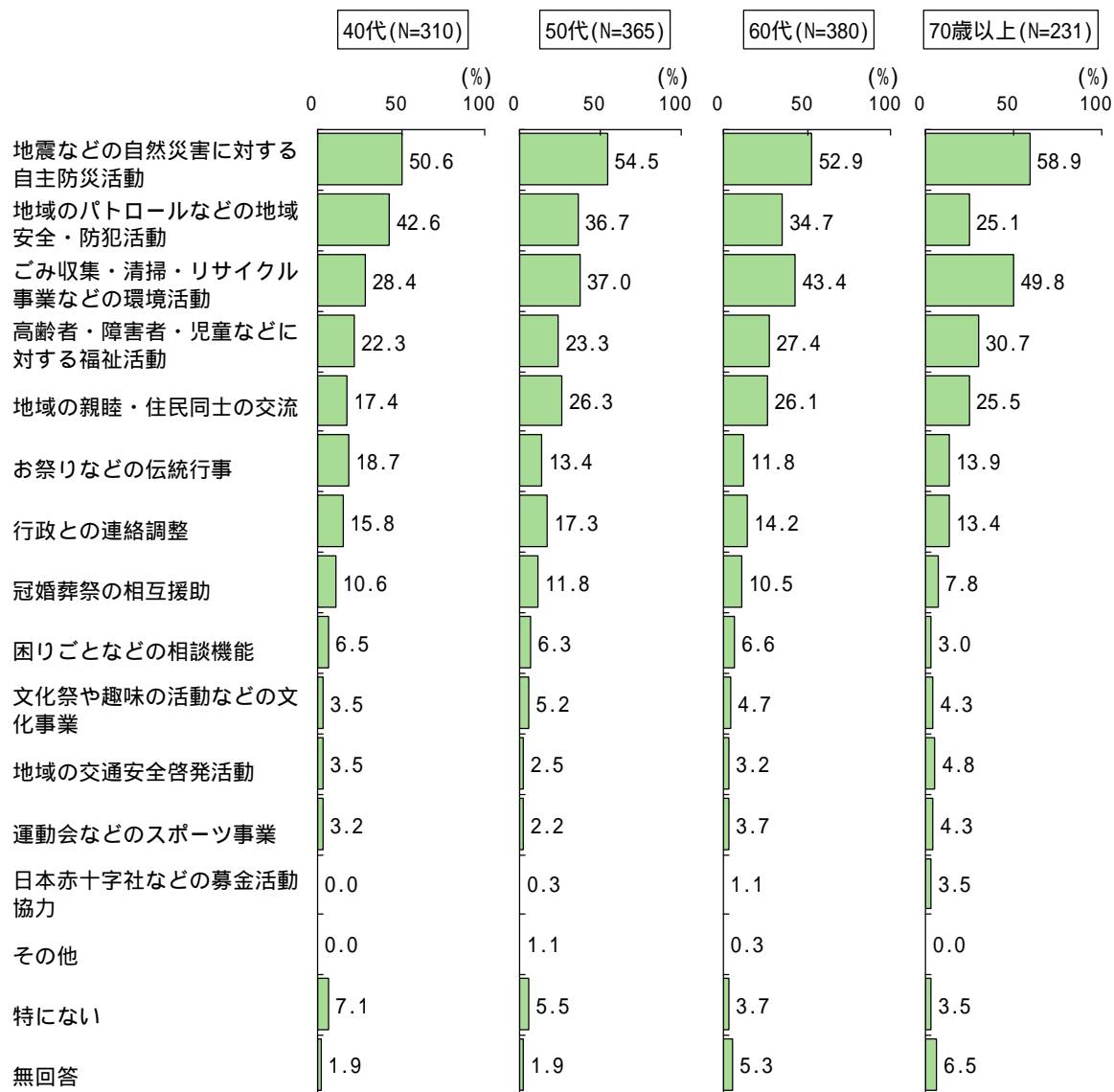


町内会・区(自治会)に期待する内容はどのようなことかと尋ねたところ、「地震などの自然災害に対する自主防災活動」と答えた人が最も多く、50.5%と半数を占めている。次いで「地域のパトロールなどの地域安全・防犯活動」が37.5%、「ごみ収集・清掃・リサイクル事業などの環境活動」が36.9%と、いずれも3割を超えている。

年代別にみると、「地震などの自然災害に対する自主防災活動」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で58.9%となっており、40代以上はいずれも半数を超えている。「地域のパトロールなどの地域安全・防犯活動」と答えた人が最も多いのは、30代で44.7%となっており20代から40代までは4割を超えている一方で、70歳以上は25.1%と、2割台にとどまっている。「ごみ収集・清掃・リサイクル事業などの環境活動」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で49.8%と半数を占めている。

【性別・年代別】

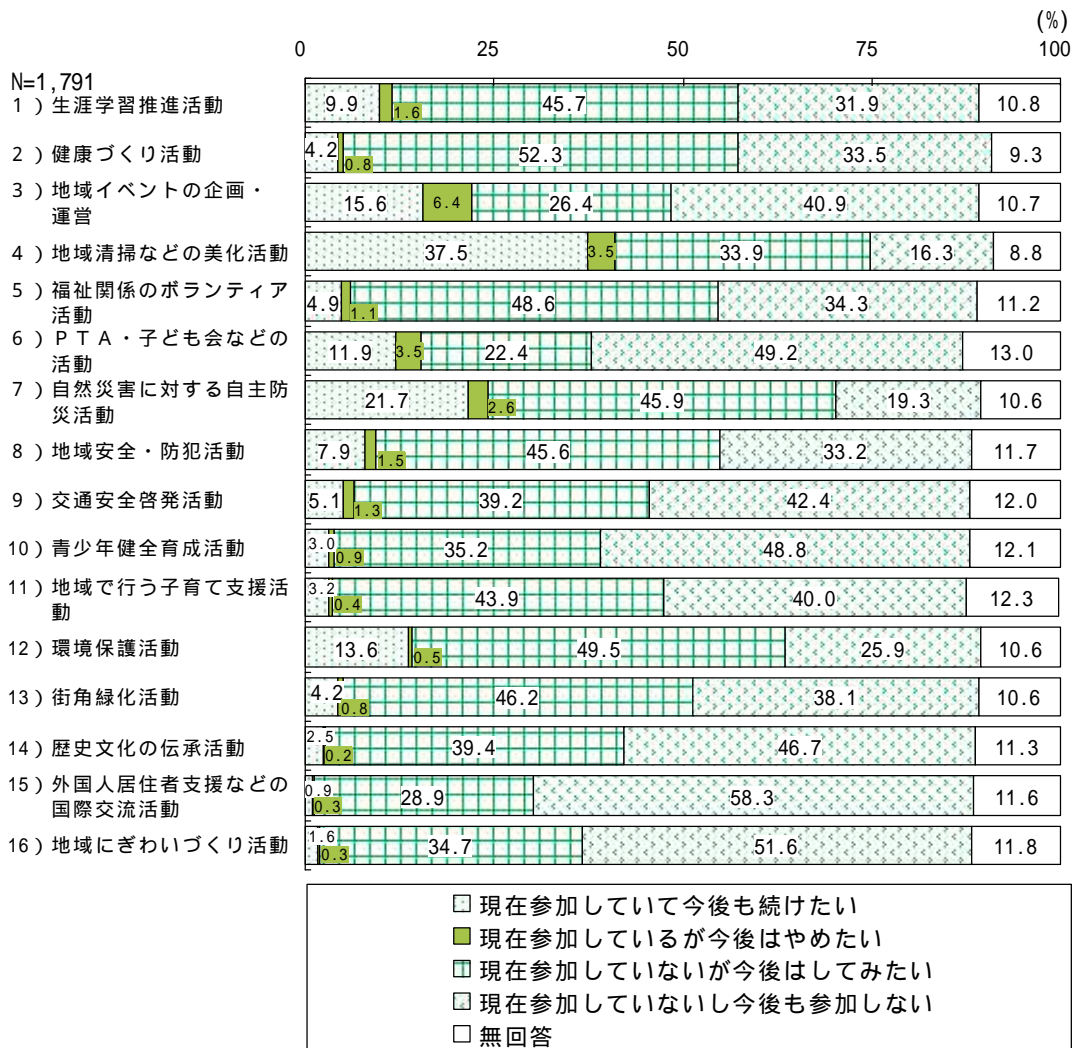






(5) 参加している・参加したいと思うコミュニティ活動

問17 あなたは、次に挙げる地域コミュニティ活動に参加していますか。また、今後は参加したいと思いますか。あなたのお気持ちに近いものを1つずつ選んでください。

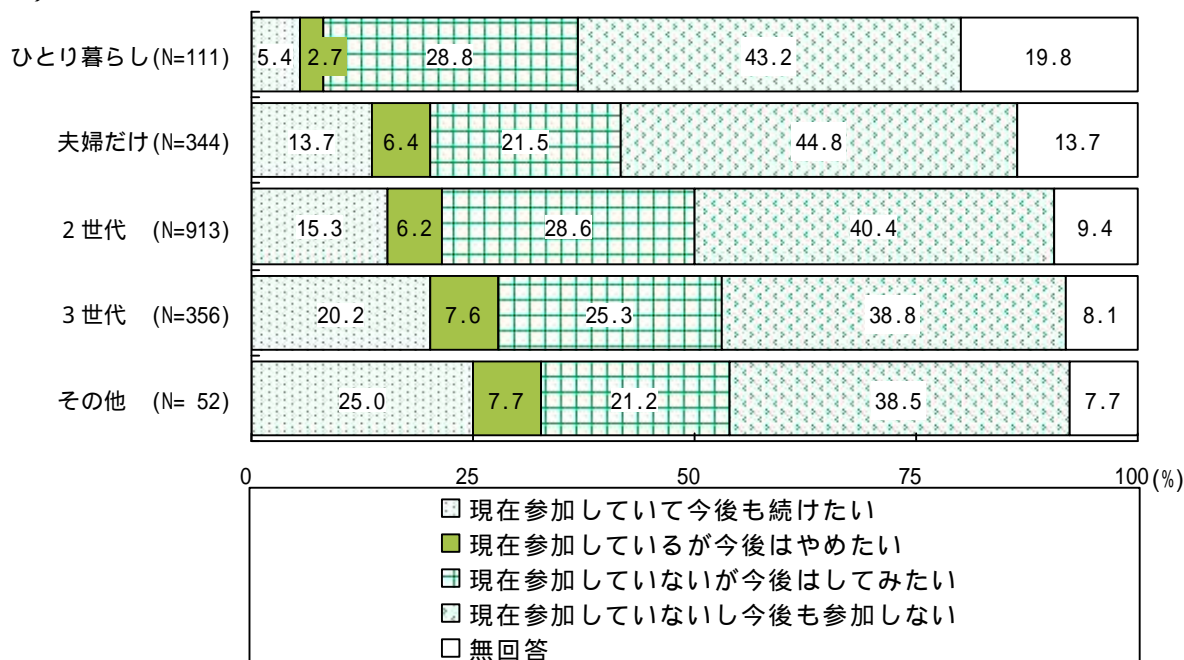


参加している・参加したいと思うコミュニティ活動を尋ねたところ、「現在参加していて今後も続けたい」活動で割合が多いのは、「地域清掃などの美化活動」で37.5%となっている。

「現在参加しているが今後はやめたい」活動で割合が多いのは、「地域イベントの企画・運営」で6.4%となっている。「現在参加していないが今後はしてみたい」活動で割合が多いのは、「健康づくり活動」で52.3%となっている。「現在参加していないし今後も参加しない」活動で割合が多いのは、「外国人居住者支援などの国際交流活動」で58.3%となっている。

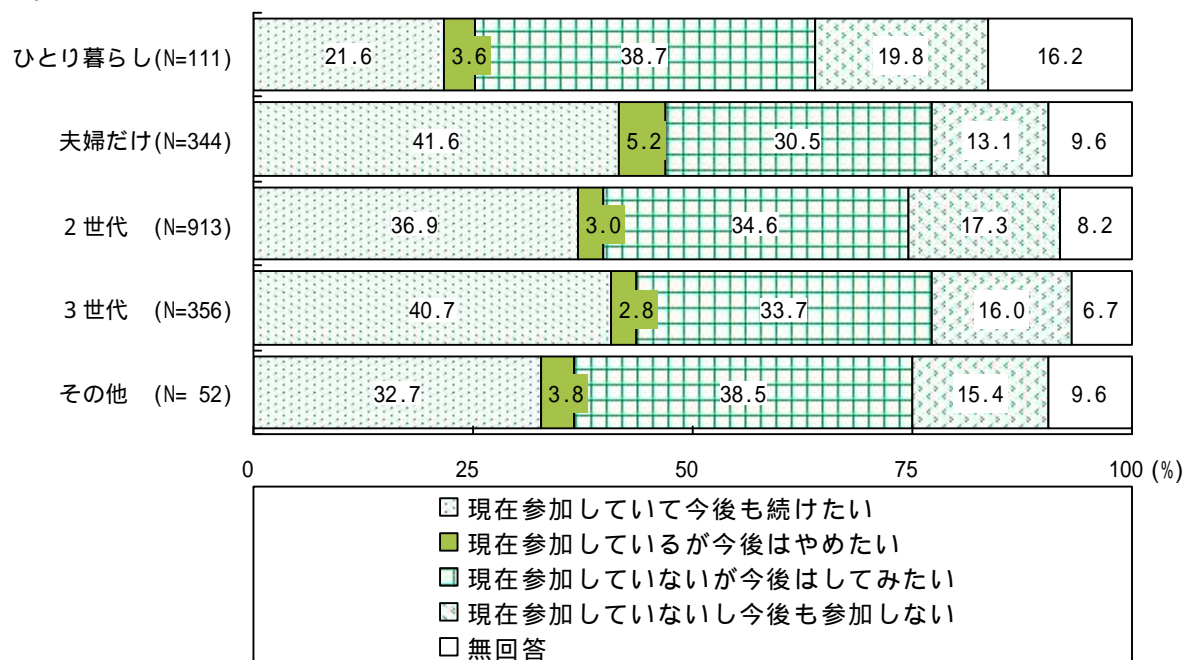
【家族構成別】

3) 地域イベントの企画・運営



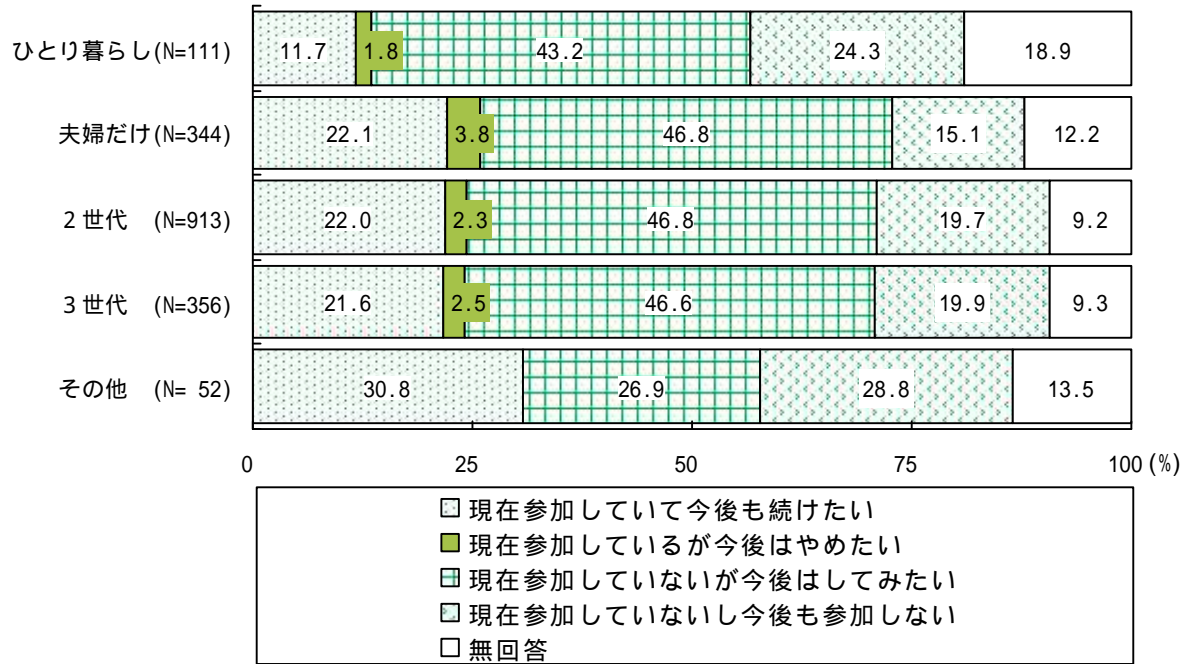
地域イベントの企画・運営を家族構成別にみると、「現在参加していないし今後も参加しない」の割合が多く、どの世帯も4割を占めている。一方、「現在参加していて今後も続けたい」は、3世代が20.2%となっており、ひとり暮らしの約4倍となっている。

4) 地域清掃などの美化活動



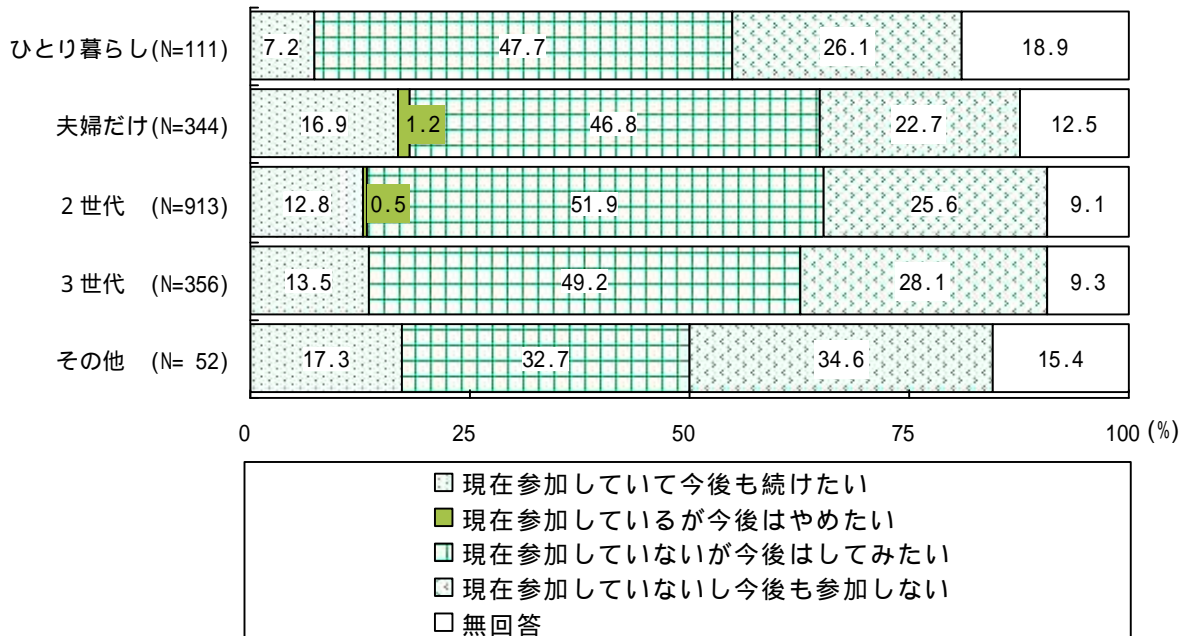
地域清掃などの美化活動を家族構成別にみると、「現在参加していて今後も続けたい」の割合が多く、夫婦だけは41.6%、3世代は40.7%と4割を超えている一方で、ひとり暮らしは21.6%と2割程度にとどまっている。

7) 自然災害に対する自主防災活動



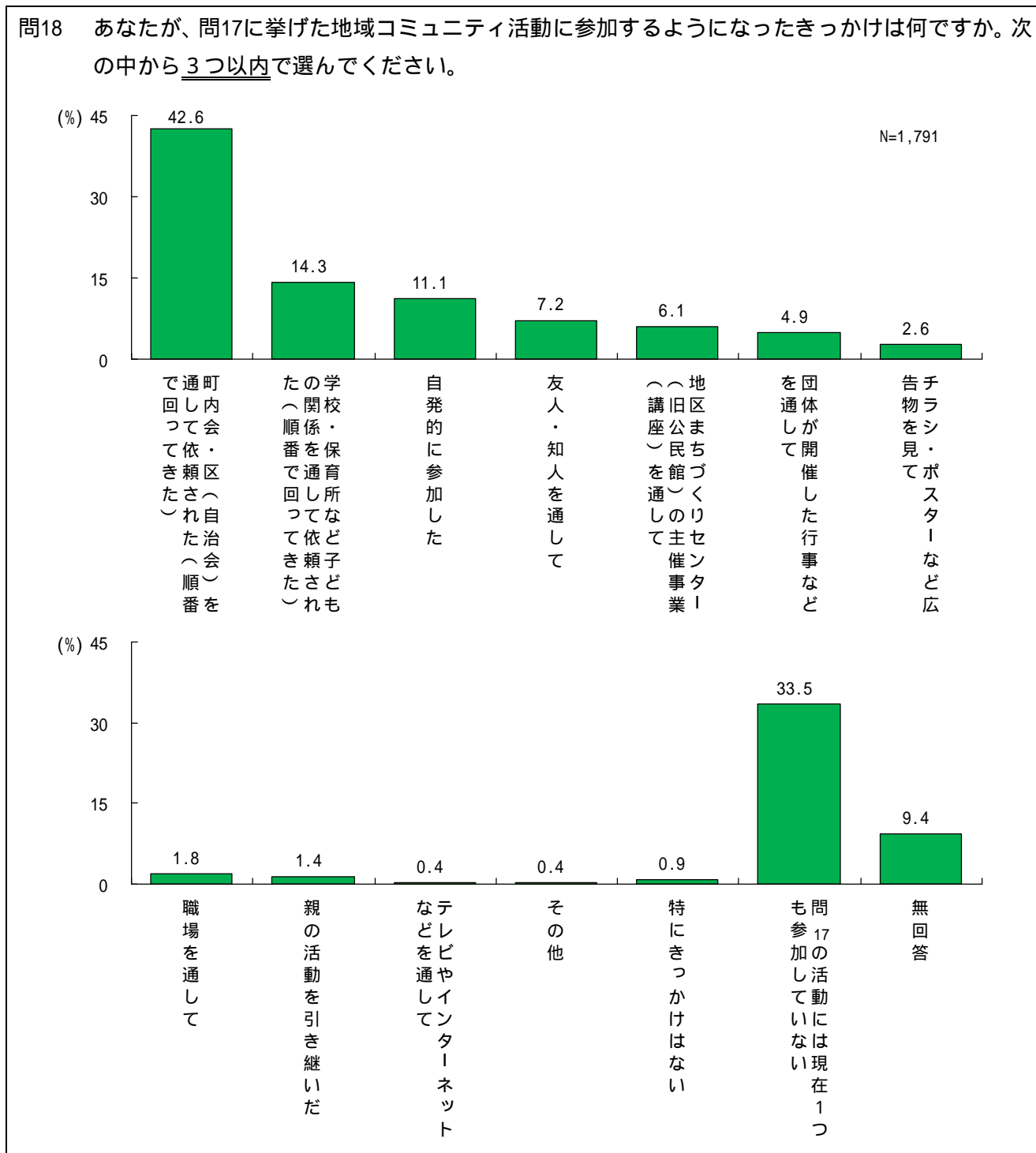
自然災害に対する自主防災活動を家族構成別にみると、「現在参加していないが今後はしてみたい」の割合が多く、どの世帯も4割を超えている。「現在参加していて今後も続けたい」は、ほとんどの世帯が2割を超えているものの、ひとり暮らしは11.7%と1割程度にとどまっている。

12) 環境保護活動



環境保護活動を家族構成別にみると、「現在参加していないが今後はしてみたい」の割合が多く、2世代は51.9%となっており、ほかの世帯も4割を超えている。

## (6) 地域コミュニティ活動に参加するようになったきっかけ

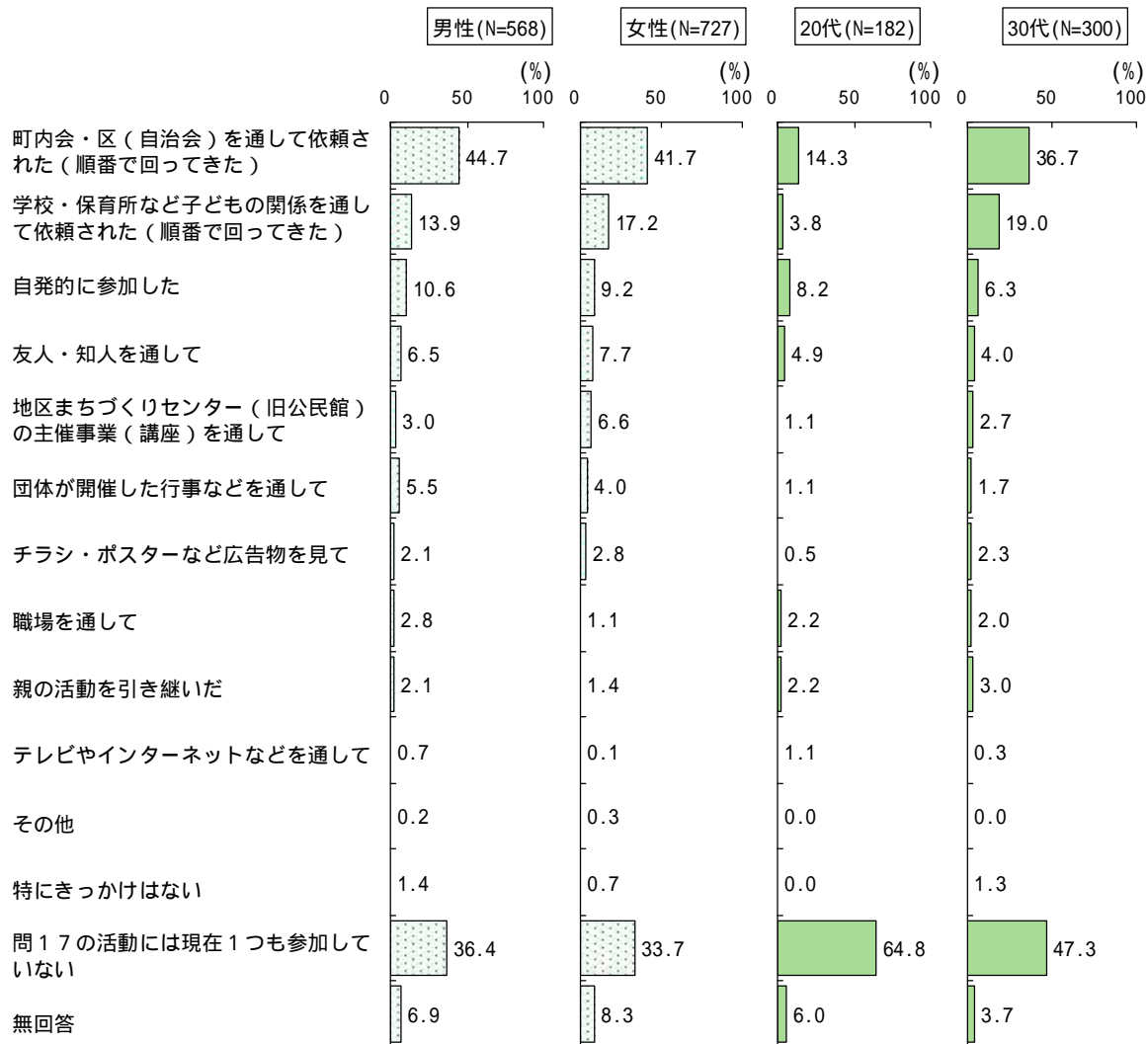


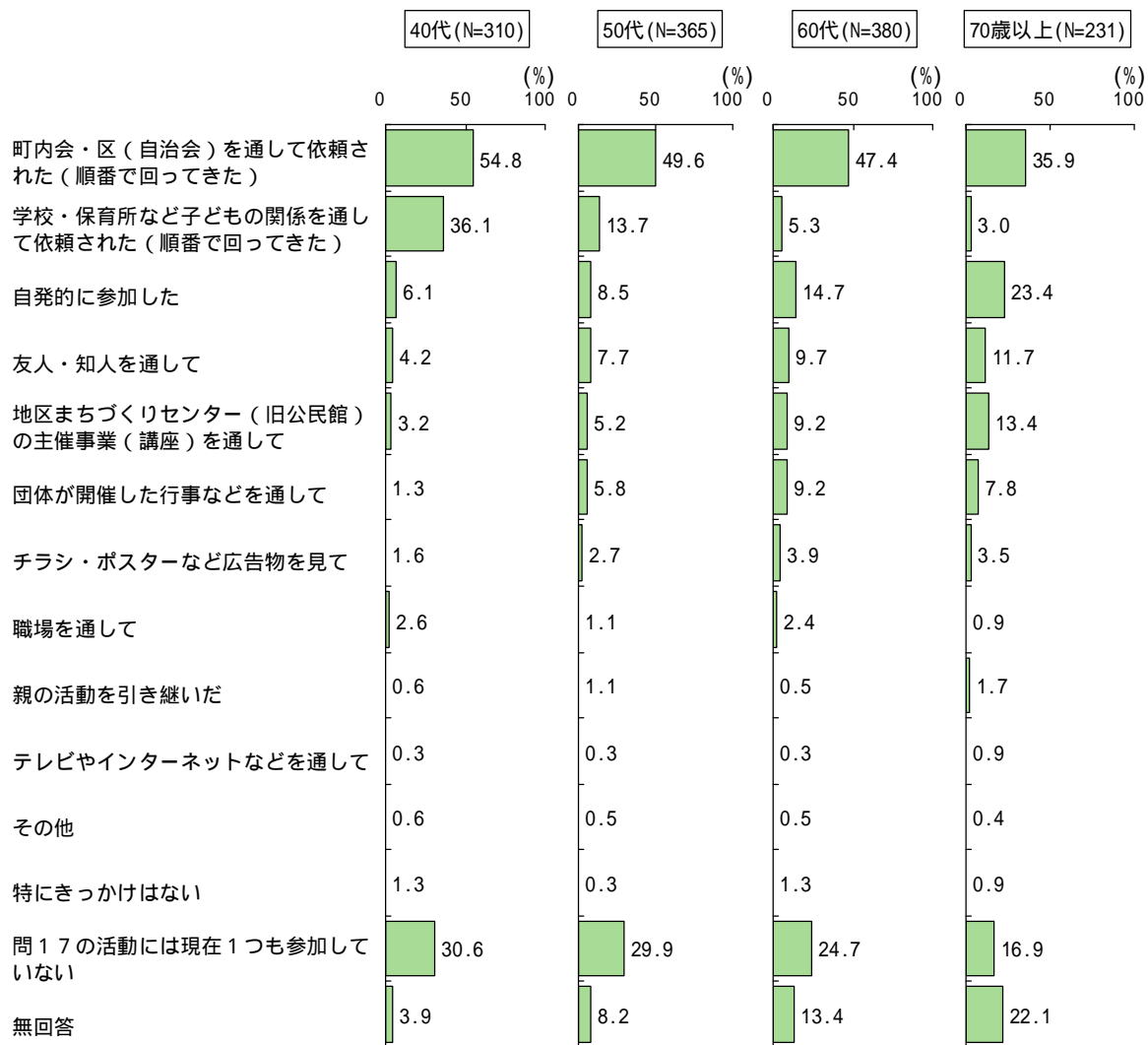
地域コミュニティ活動に参加するようになったきっかけは何かと尋ねたところ、「町内会・区（自治会）を通して依頼された（順番で回ってきた）」と答えた人が最も多く、42.6%となっている。一方、「問17の活動には現在1つも参加していない」と答えた人も多く、33.5%と3割を超えている。

年代別にみると、「町内会・区（自治会）を通して依頼された（順番で回ってきた）」と答えた人が最も多いのは、40代で54.8%と半数を超えている一方で、20代は14.3%と1割台にとどまっている。また、「問17の活動には現在1つも参加していない」と答えた人が最も多いのは、20代で64.8%と3人に2人の割合となっている。



【性別・年代別】

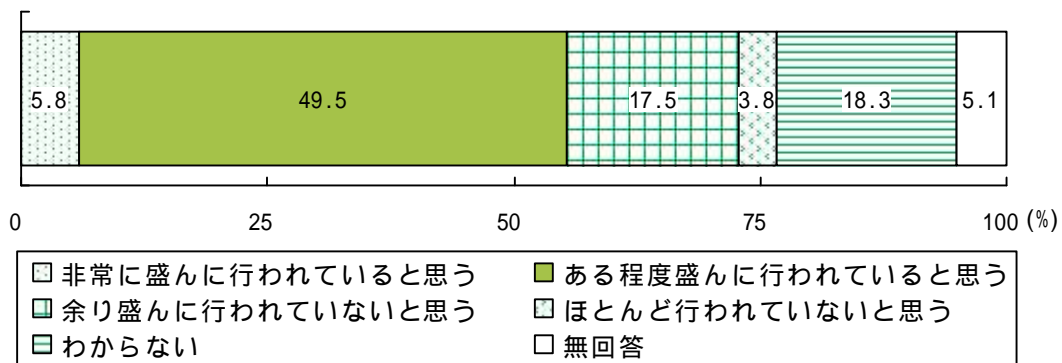




(7) 居住している地域での地域コミュニティ活動

問19 あなたが住んでいる地域で、問17で示したような地域コミュニティ活動は盛んであると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

N=1,791

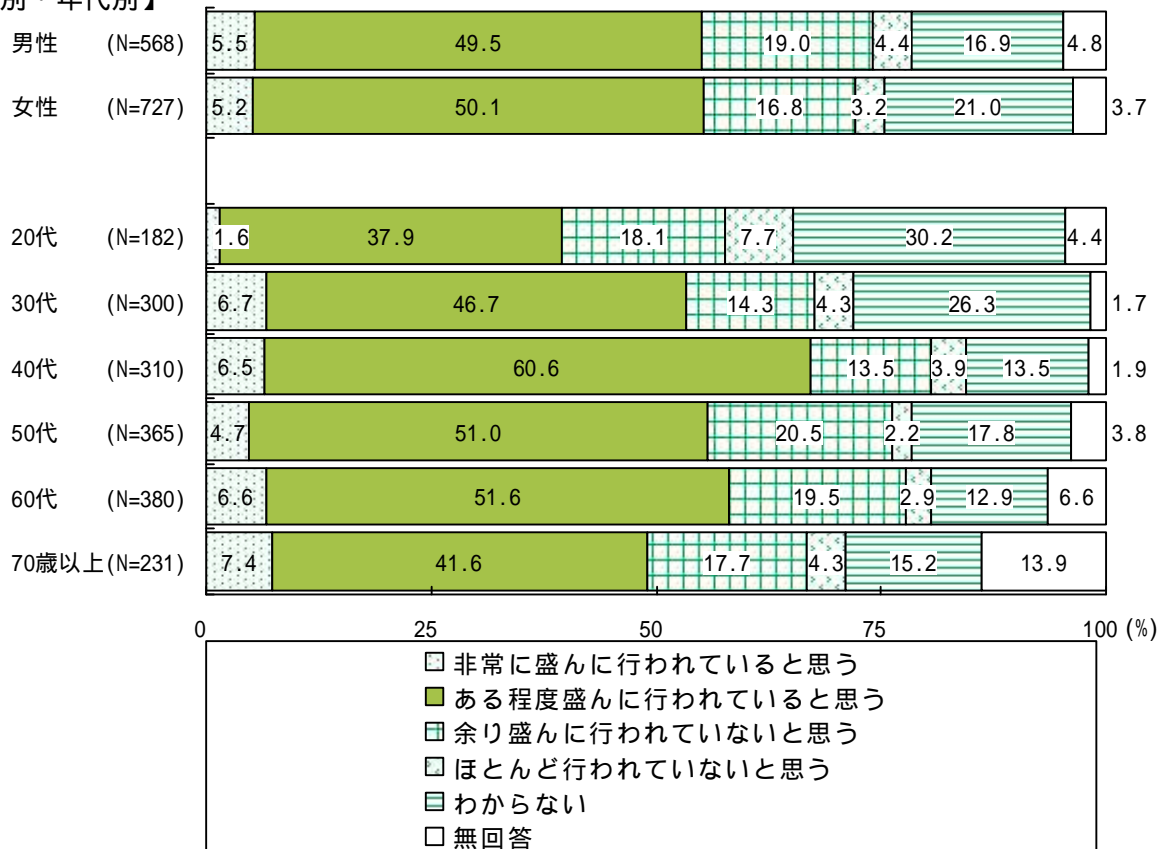


居住している地域での地域コミュニティ活動は盛んであると思うかと尋ねたところ、「非常に盛んに行われていると思う」5.8%と、「ある程度盛んに行われていると思う」49.5%を合わせた、「盛んに行われていると思う」が55.3%と半数を占めている。

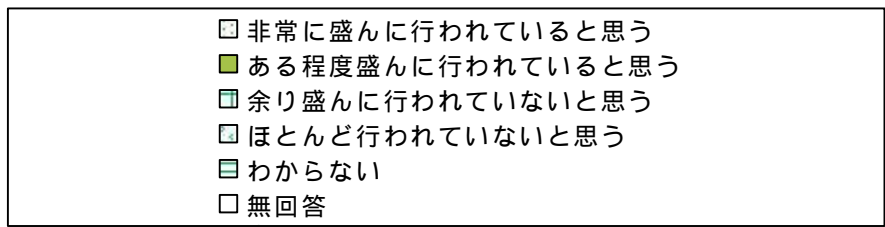
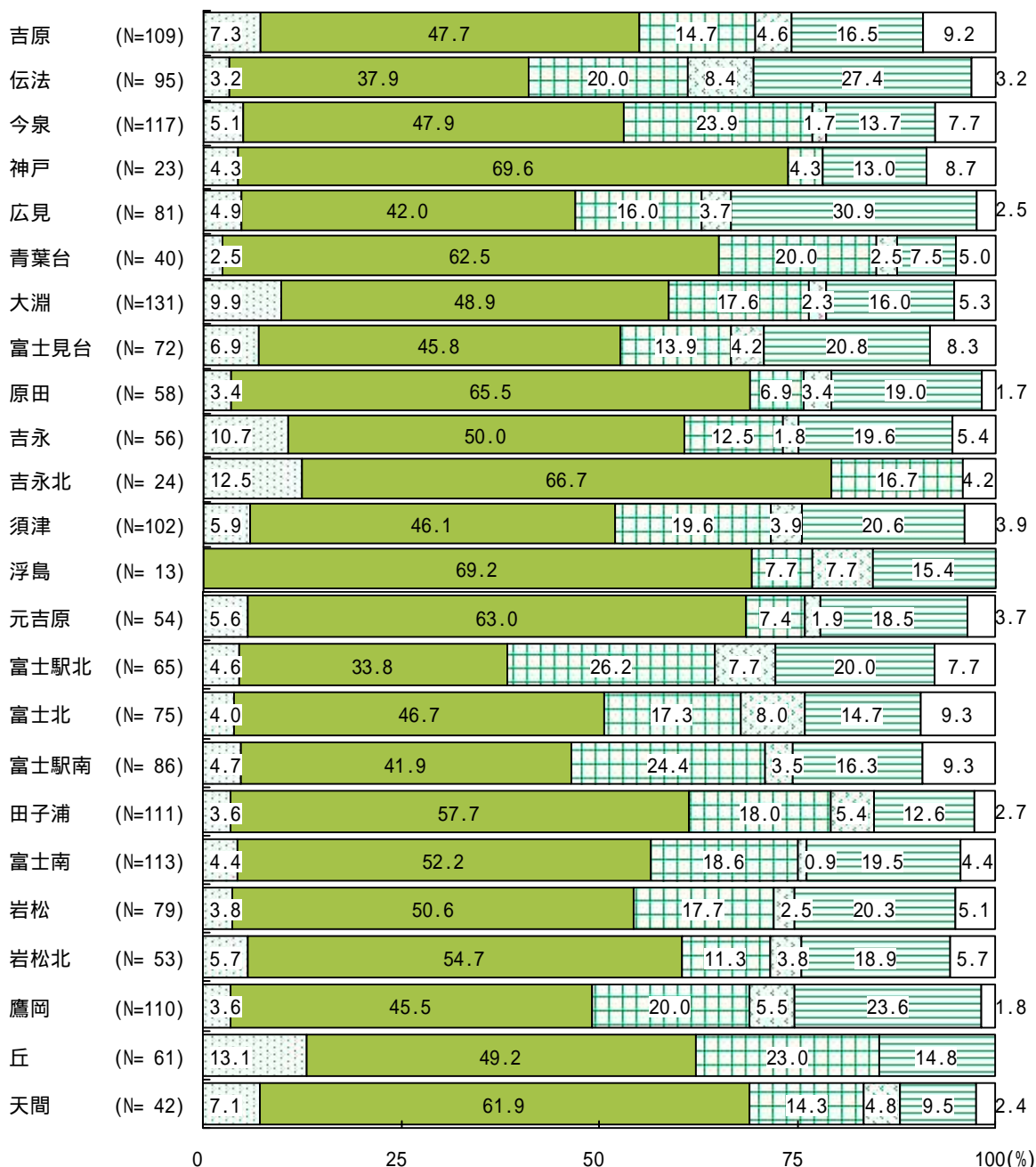
年代別にみると、「盛んに行われていると思う」と答えた人が最も多いのは、40代で67.1%と3人に2人の割合となっており、30代から60代までは半数を超えている。

居住地区別にみると、「盛んに行われていると思う」と答えた人が最も多いのは、吉永北で79.2%となっており、次いで神戸が73.9%、浮島が69.2%、天間が69.0%、原田が68.9%、元吉原が68.6%となっている。

【性別・年代別】



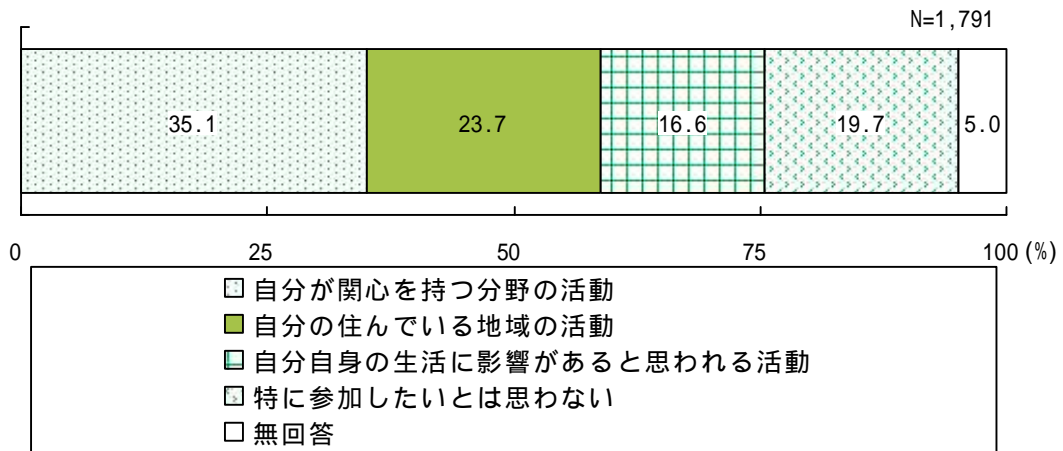
【居住地区別】





(8) 参加したい地域コミュニティ活動

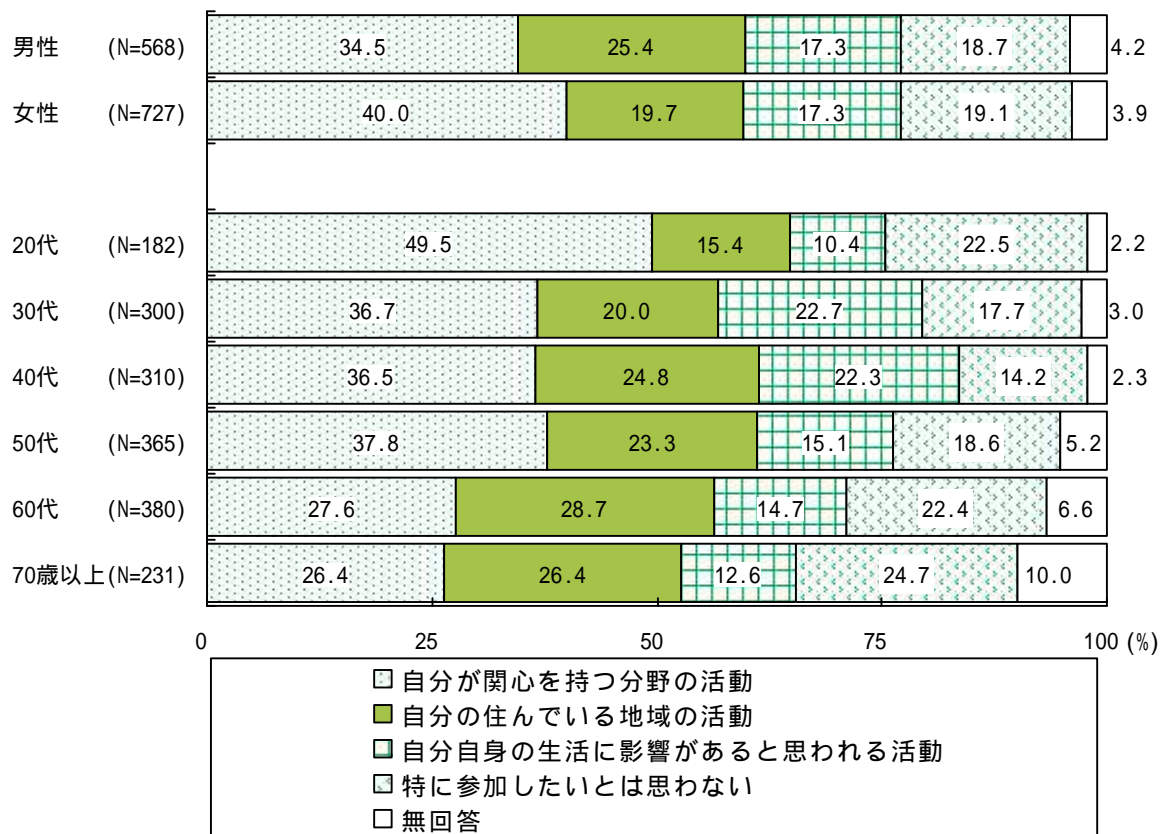
問20 あなたは、どのような地域コミュニティ活動に参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。



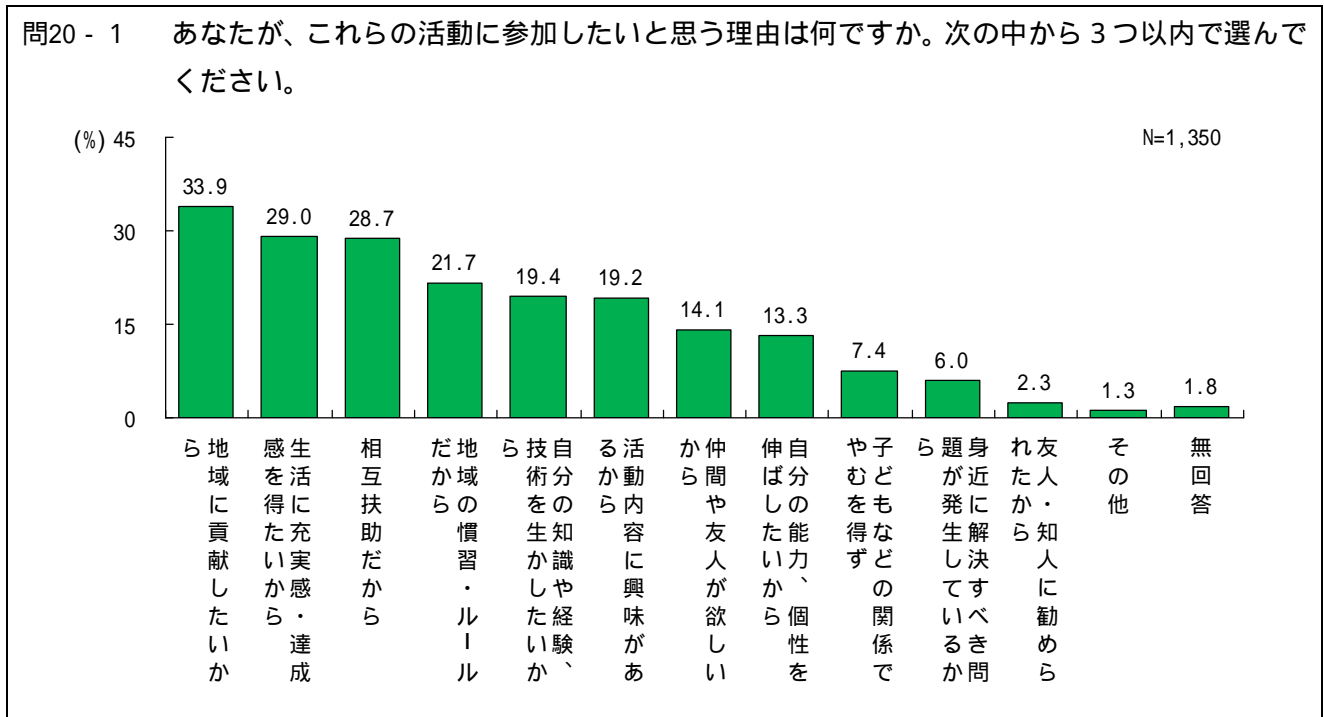
どのような地域コミュニティ活動に参加したいと思うかと尋ねたところ、「自分が興味を持つ分野の活動」と答えた人が最も多く35.1%、次いで「自分の住んでいる地域の活動」が23.7%となっている。一方、「特に参加したいとは思わない」と答えた人は19.7%と、ほぼ2割となっている。

年代別にみると、「自分が興味を持つ分野の活動」と答えた人が最も多いのは、20代で49.5%と半数を占めており、30代から50代までは3割を超えている。一方、「特に参加したいとは思わない」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で24.7%となっており、20代・60代・70歳以上では2割を超えている。

【性別・年代別】



(9) 地域コミュニティ活動に参加したいと思う理由

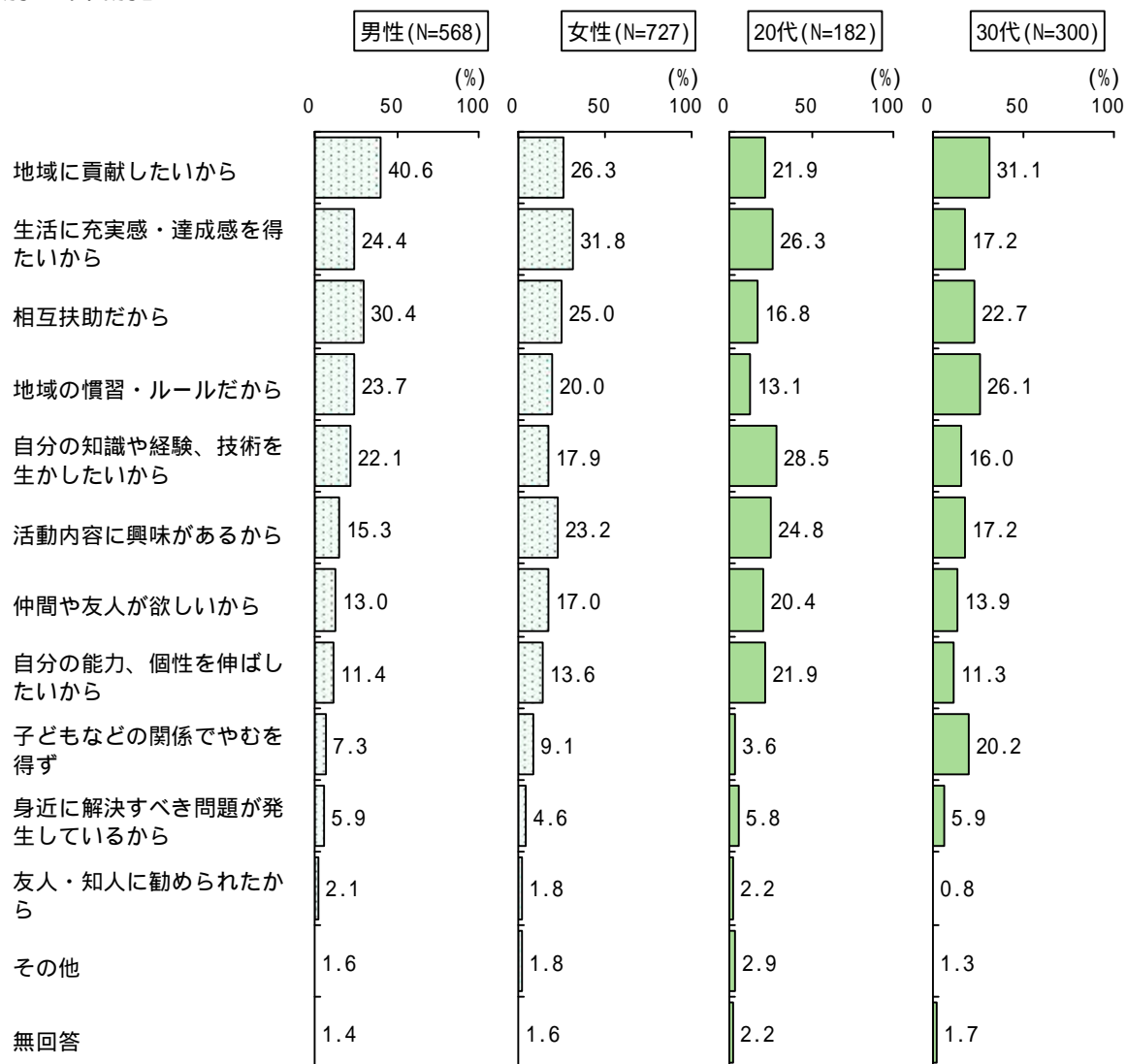


問20の質問で「参加したいと思う地域コミュニティ活動がある」と答えた人に、参加したいと思う理由は何かと尋ねたところ、「地域に貢献したいから」と答えた人が最も多く、33.9%となっている。次いで「生活に充実感・達成感を得たいから」が29.0%、「相互扶助だから」が28.7%と、いずれもほぼ3割を占めている。

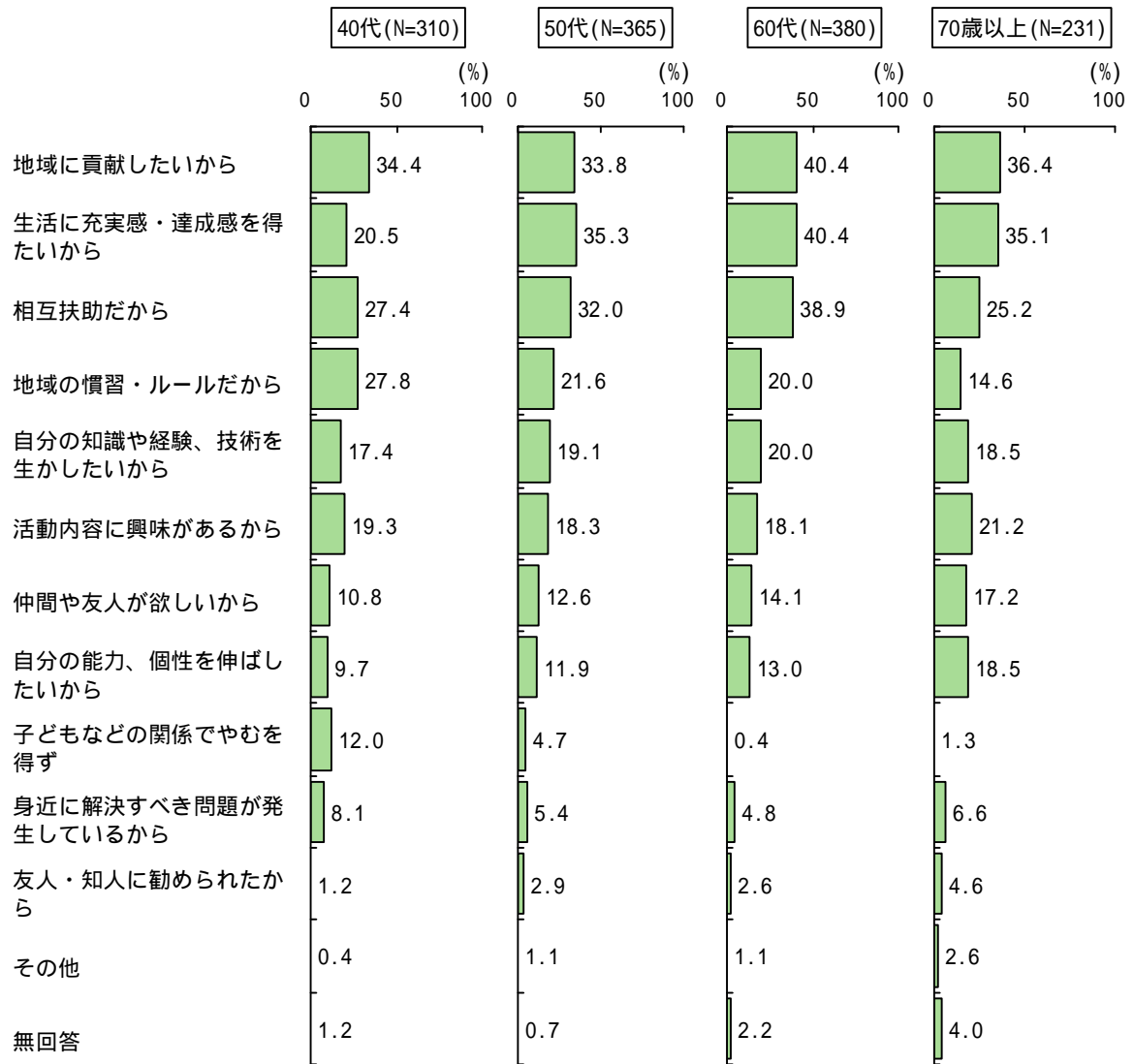
性別にみると、「地域に貢献したいから」と答えた男性は、40.6%と女性より14.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、「地域に貢献したいから」と答えた人が最も多いのは60代で40.4%と4割を超えている一方で、20代は21.9%と2割程度にとどまっている。「生活に充実感・達成感を得たいから」と答えた人が最も多いのは60代で40.4%と4割を超えている一方で、30代は17.2%と2割程度にとどまっている。また、「子どもなどの関係でやむを得ず」と答えた人が最も多いのは、30代で20.2%となっている。

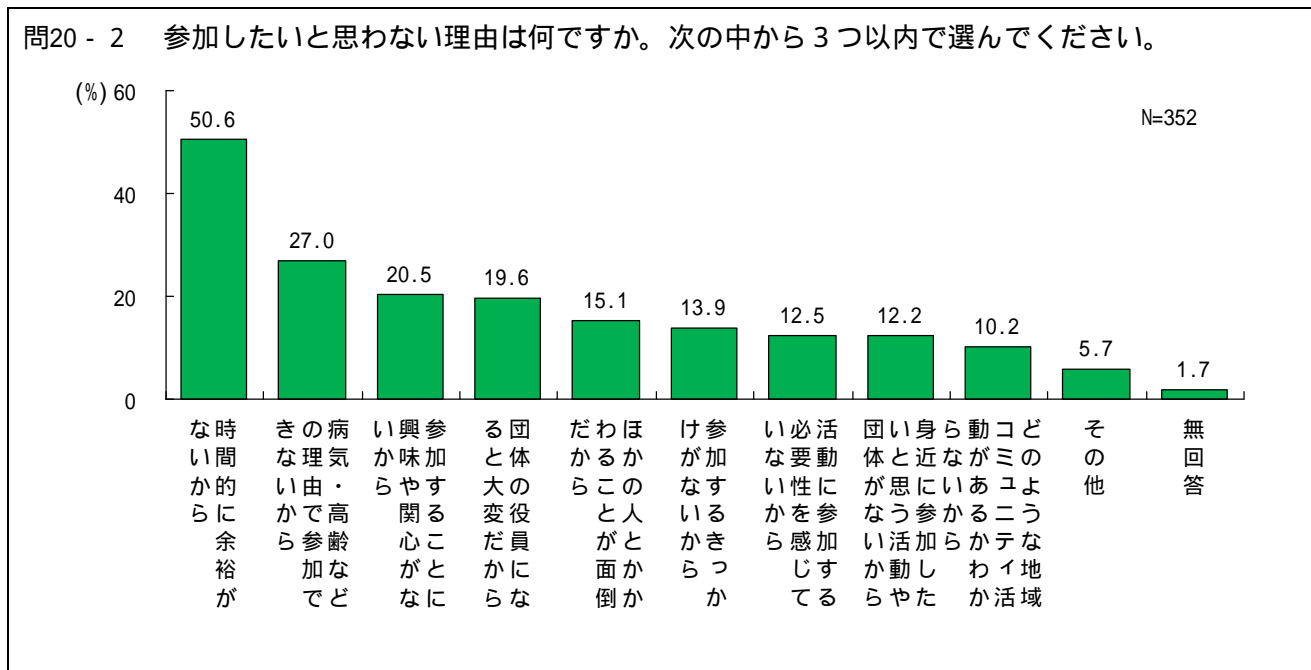
## 【性別・年代別】



調査結果



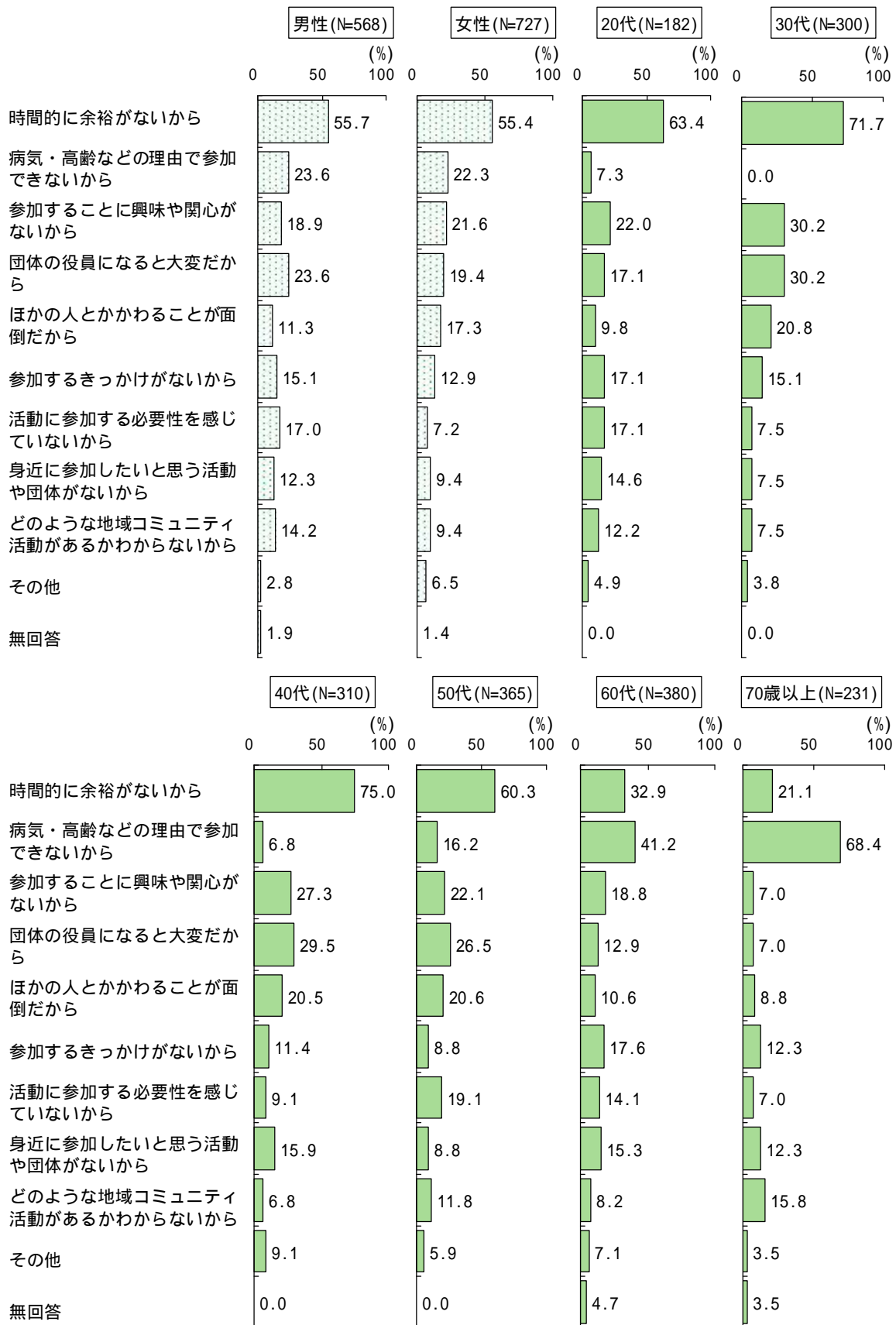
## (10) 地域コミュニティ活動に参加したいと思わない理由



問20の質問で「特に参加したいとは思わない」と答えた人に、地域コミュニティ活動に参加したいと思わない理由は何かと尋ねたところ、「時間的に余裕がないから」と答えた人が最も多く、50.6%と半数を占めている。次いで「病気・高齢などの理由で参加できないから」が27.0%、「参加することに興味や関心がないから」が20.5%、「団体の役員になると大変だから」が19.6%と、いずれも2割を占めている。

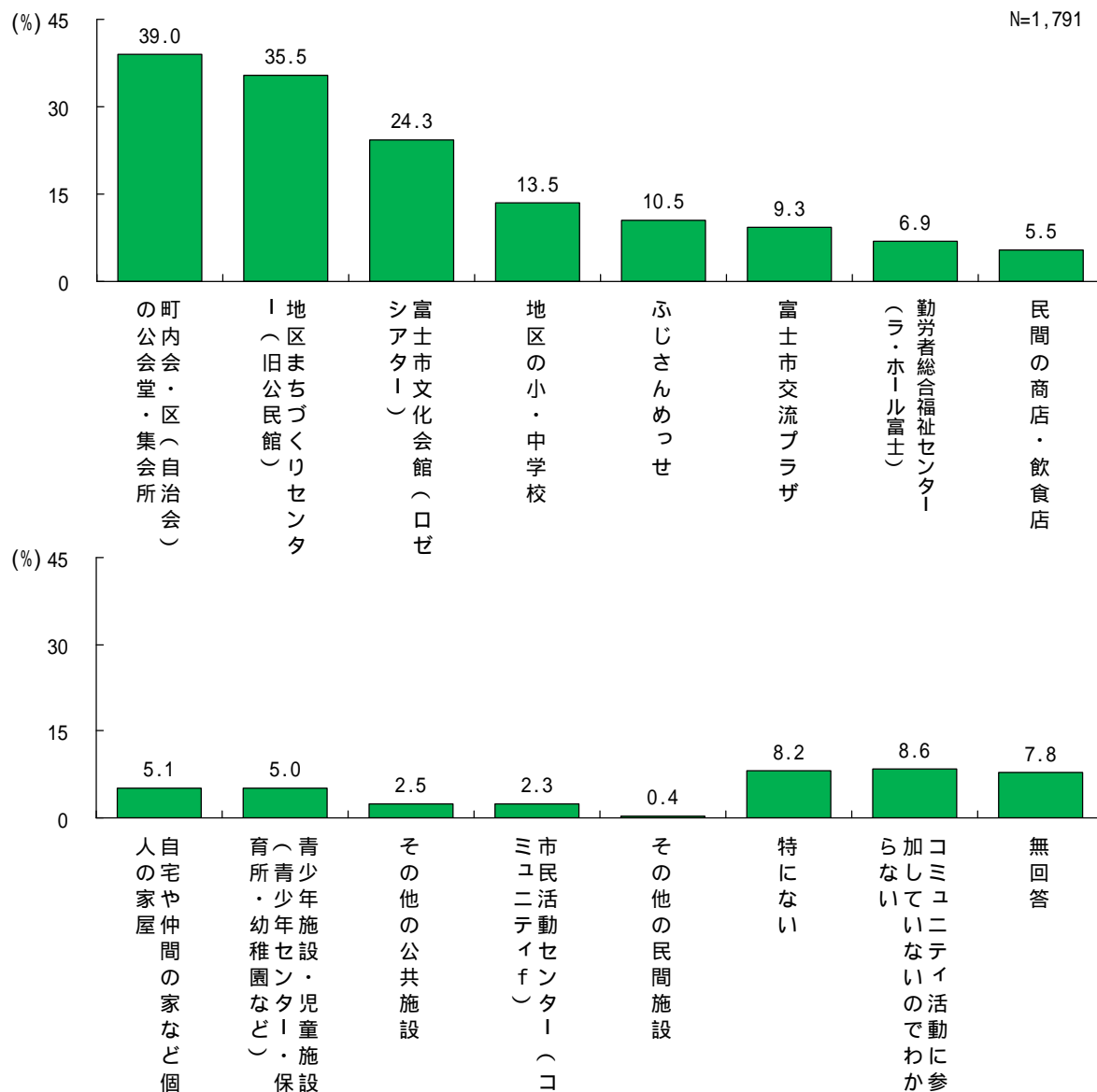
年代別にみると、「時間的に余裕がないから」と答えた人が最も多いのは、40代で75.0%と7割を超えている一方で、70歳以上は21.1%と2割程度にとどまっている。「病気・高齢などの理由で参加できないから」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で68.4%と7割を占めている一方で、20代から40代までは1割未満にとどまっている。

【性別・年代別】



## (11) 地域コミュニティ活動で利用している・したい施設

問21 地域のコミュニティ活動で利用している、または、これから利用したい施設はどれですか。次の中から3つ以内で選んでください。



地域コミュニティ活動で利用している・したい施設は何かと尋ねたところ、「町内会・区（自治会）の公会堂・集会所」と答えた人が最も多く、39.0%となっている。次いで「地区まちづくりセンター（旧公民館）」が35.5%、「富士市文化会館（ロゼシアター）」が24.3%となっている。

性別にみると、「町内会・区（自治会）の公会堂・集会所」と答えた男性は43.0%と、女性より7.8ポイント高くなっている。

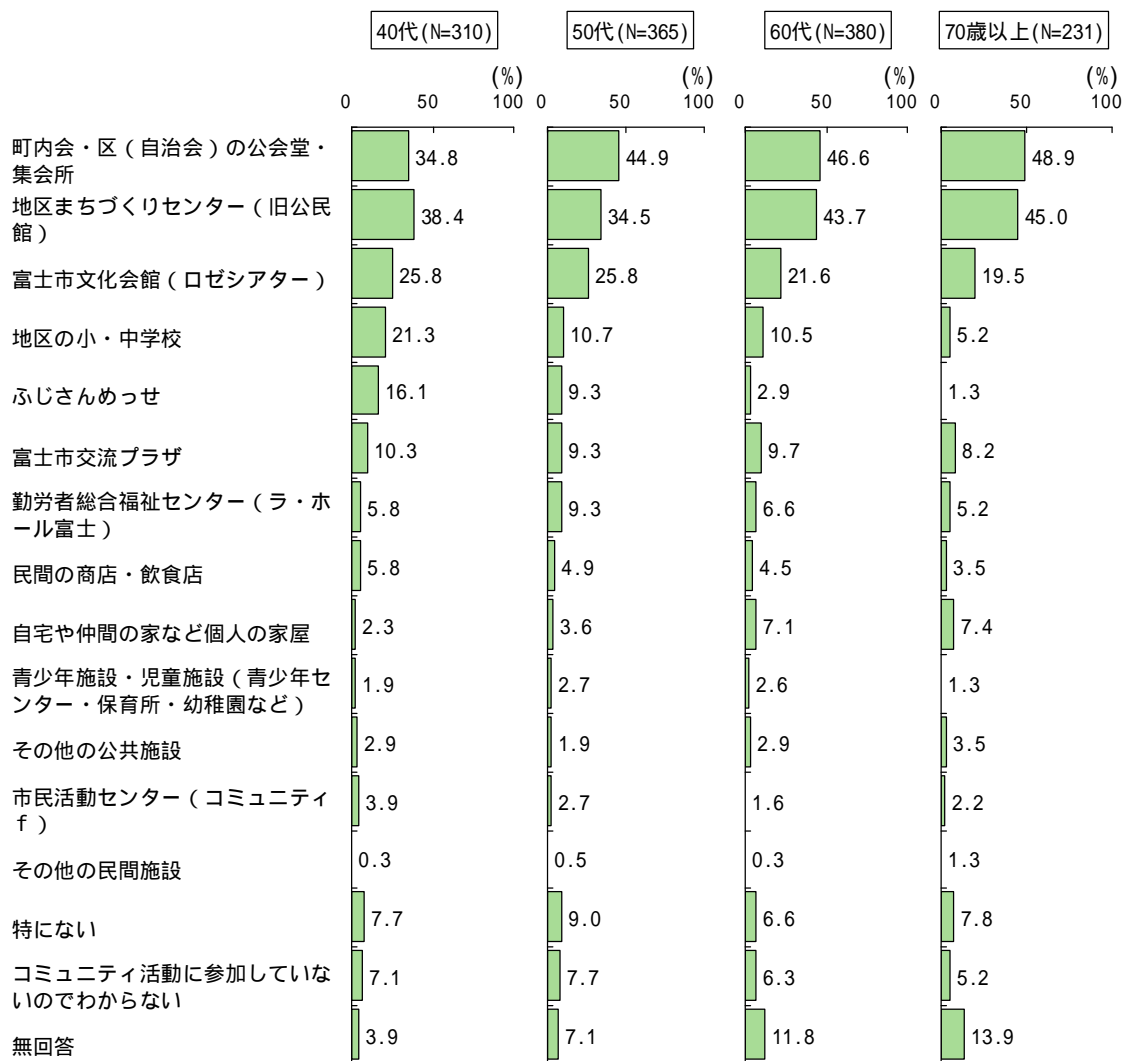
年代別にみると、「町内会・区（自治会）の公会堂・集会所」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で48.9%となっており、50代以上はいずれも4割を超えている一方で、20代は2割程度にとどまっている。「地区まちづくりセンター（旧公民館）」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で45.0%となっており、60代以上は4割を超えている一方で、20代は2割程度にとどまっている。「富士市民文化会館（ロゼシアター）」と答えた人が最も多いのは20代で、30.8%と3割を占めている。



調査結果

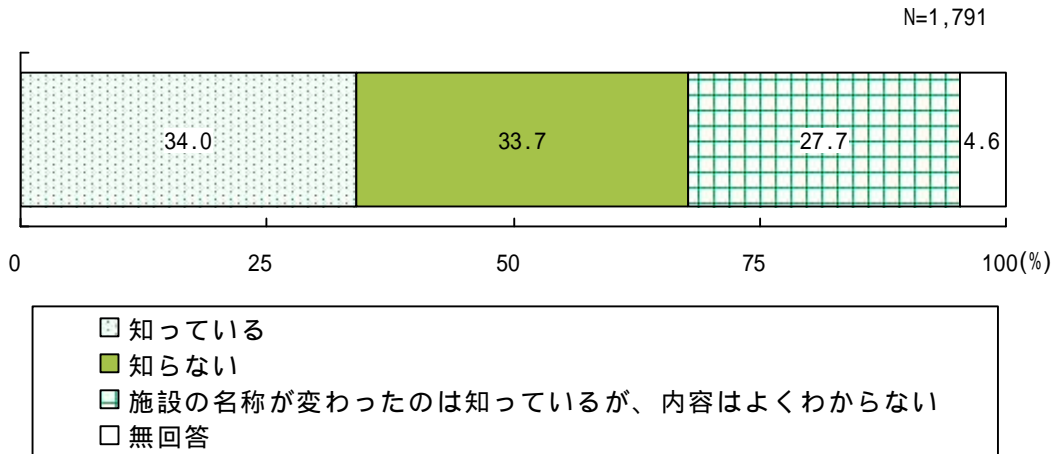
【性別・年代別】





(12) 地区まちづくりセンターの名称変更と設置の目的

問22 富士市は、市内24か所に設置された公民館を、今年度から「地区まちづくりセンター」に移行し、すべての地区まちづくりセンターに各種証明発行を行う市民サービスコーナーを開設したほか、地区防災の拠点、コミュニティ・まちづくり活動の拠点としての位置づけを明確化しました。あなたはこのことについて知っていましたか。

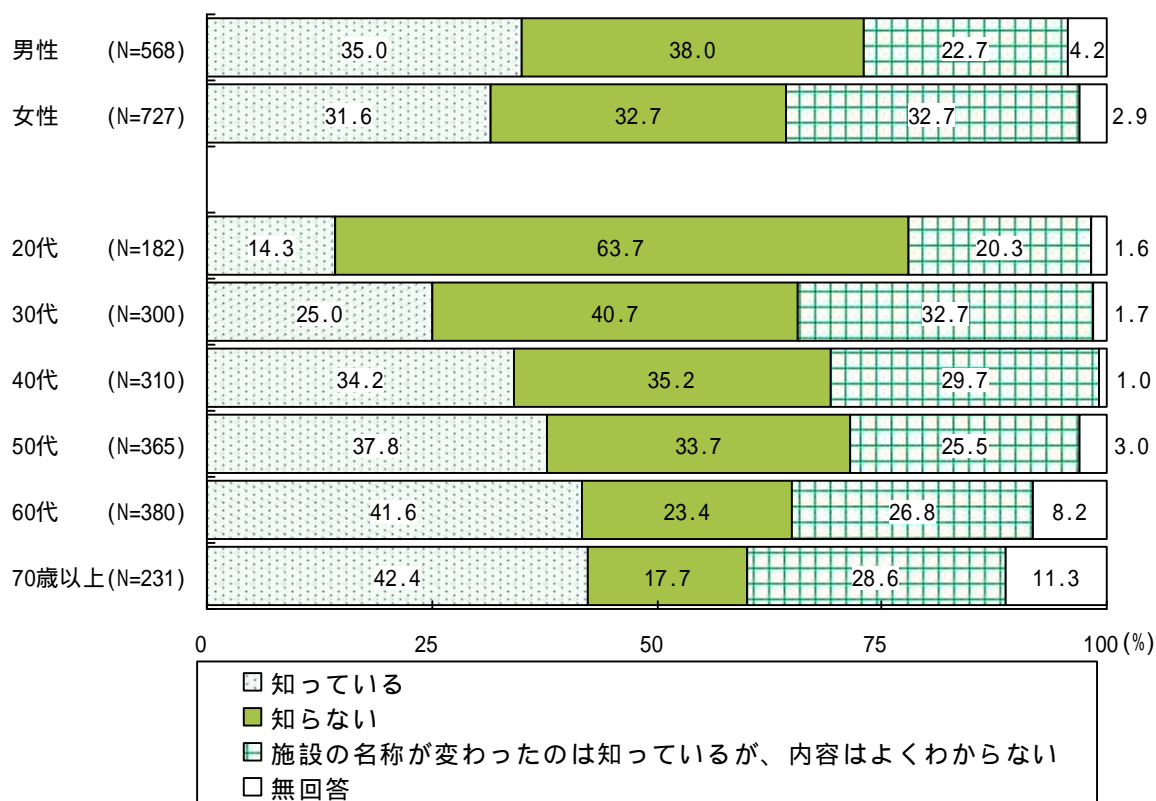


地区まちづくりセンターの名称変更と設置の目的を知っているかと尋ねたところ、「知っている」と答えた人は34.0%となっている。一方、「知らない」と答えた人は33.7%で、「知っている」と答えた人と、ほぼ同じ割合になっている。

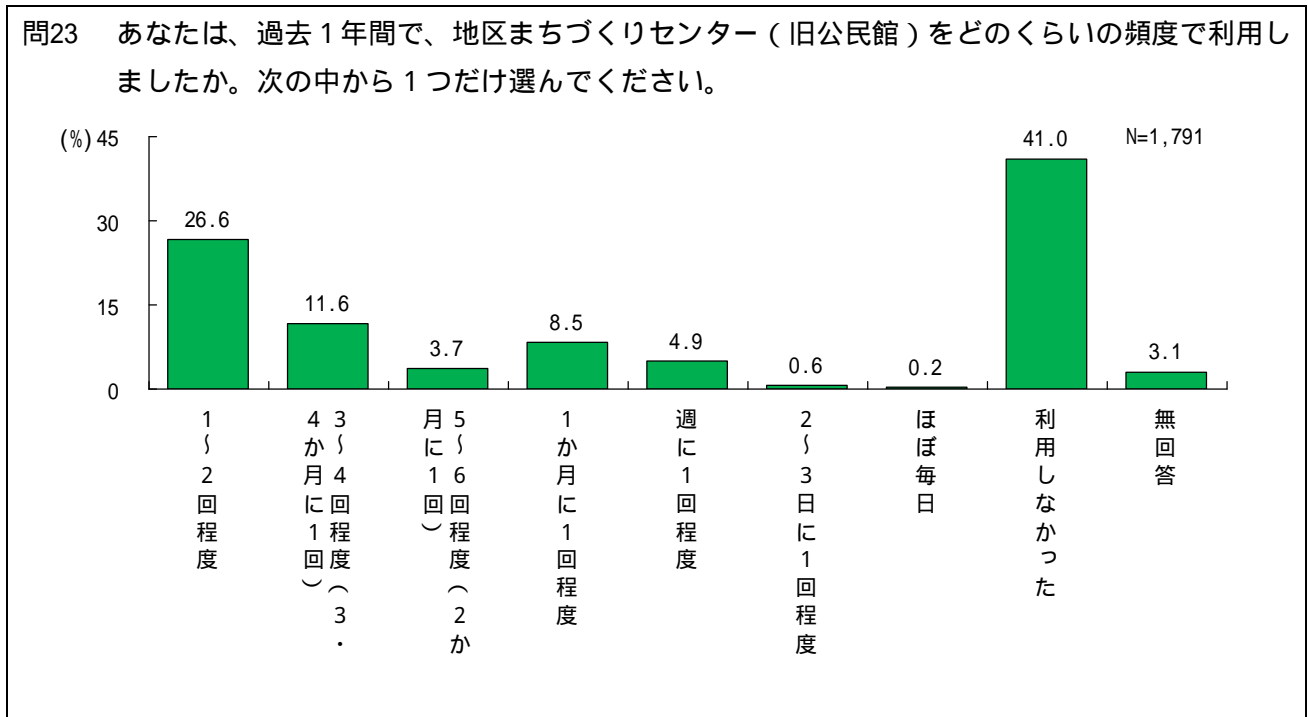
性別にみると、「知らない」と答えた男性は38.0%と、女性より5.3ポイント高くなっている。「施設の名称が変わったのは知っているが、内容はよくわからない」と答えた女性は32.7%と、男性より10.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「知っている」と答えた人がもっとも多いのは、70歳以上で42.4%となっており、60代以上は4割を占めている。「知らない」と答えた人が最も多いのは、20代で63.7%と、ほぼ3人に2人の割合となっており、30代から50代までは3割から4割を占めている。「施設の名称が変わったのは知っているが、内容はよくわからない」と答えた人が最も多いのは、30代で32.7%と3割を超えており、ほかの年代も2割台となっている。

【性別・年代別】



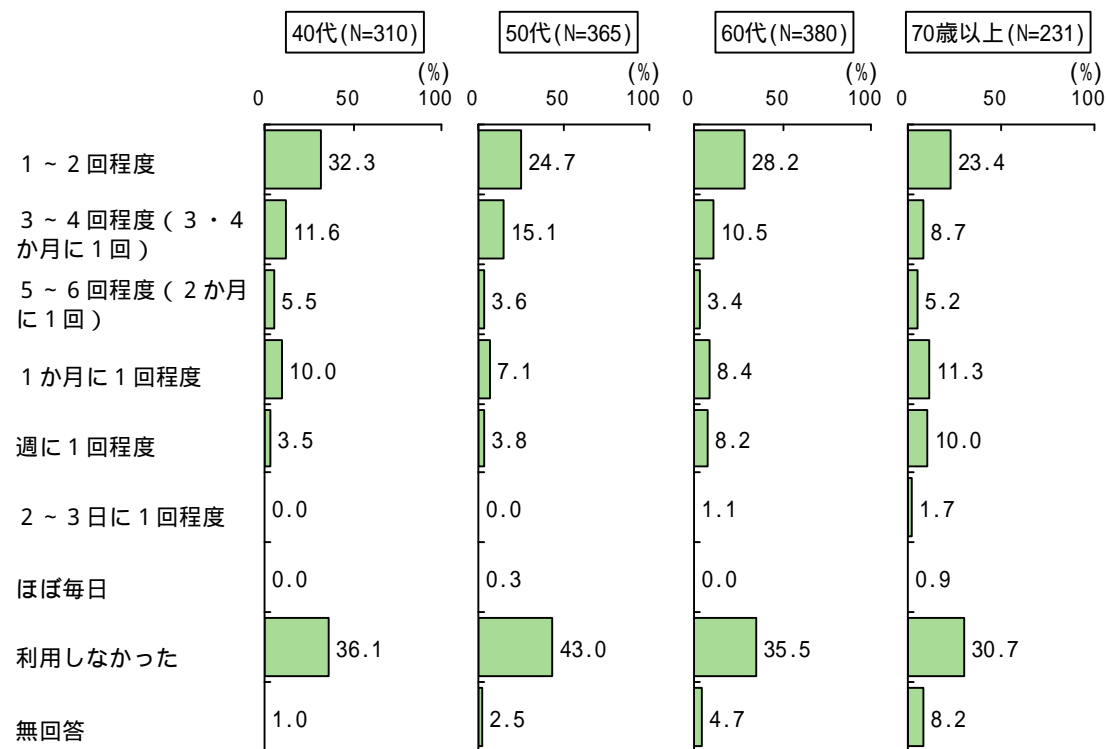
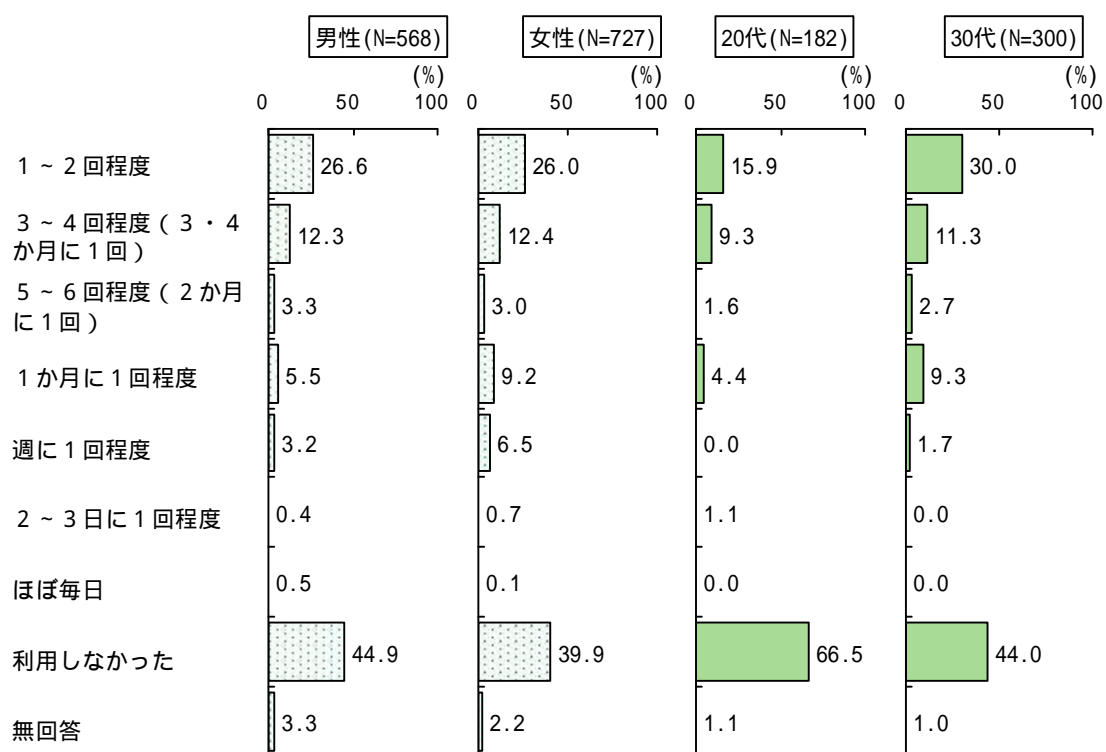
(13) 地区まちづくりセンターの利用頻度



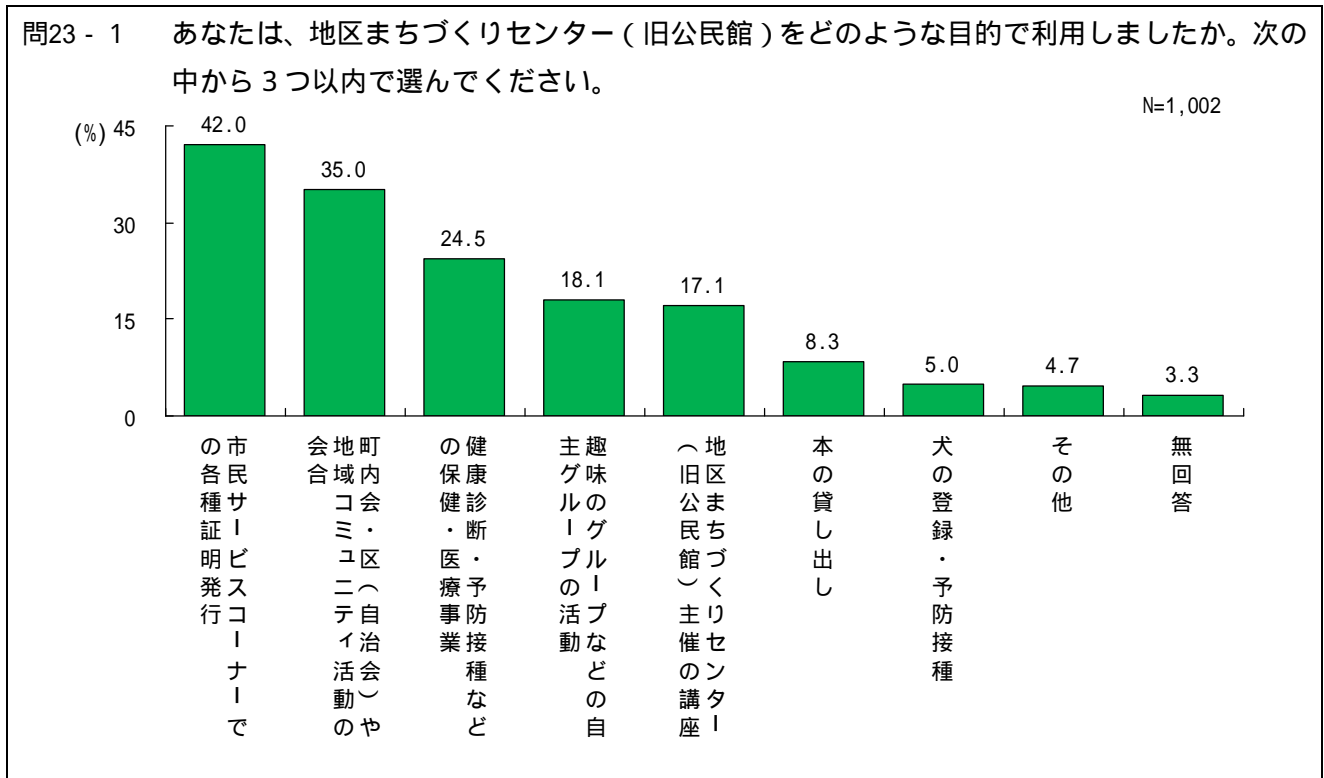
過去1年間で、地区まちづくりセンター（旧公民館）をどのくらいの頻度で利用したか尋ねたところ、「利用しなかった」と答えた人が最も多く、41.0%と4割を占めている。一方、利用した人の中では「1～2回程度」と答えた人が最も多く、26.6%となっている。

年代別にみると、「1～2回程度」と答えた人が最も多いのは、40代で32.3%となっており、30代から40代までは3割を超えている。「利用しなかった」と答えた人が最も多いのは、20代で66.5%と6割を超えており、ほかの年代も3割から4割を占めている。

【性別・年代別】



(14) 地区まちづくりセンターの利用目的

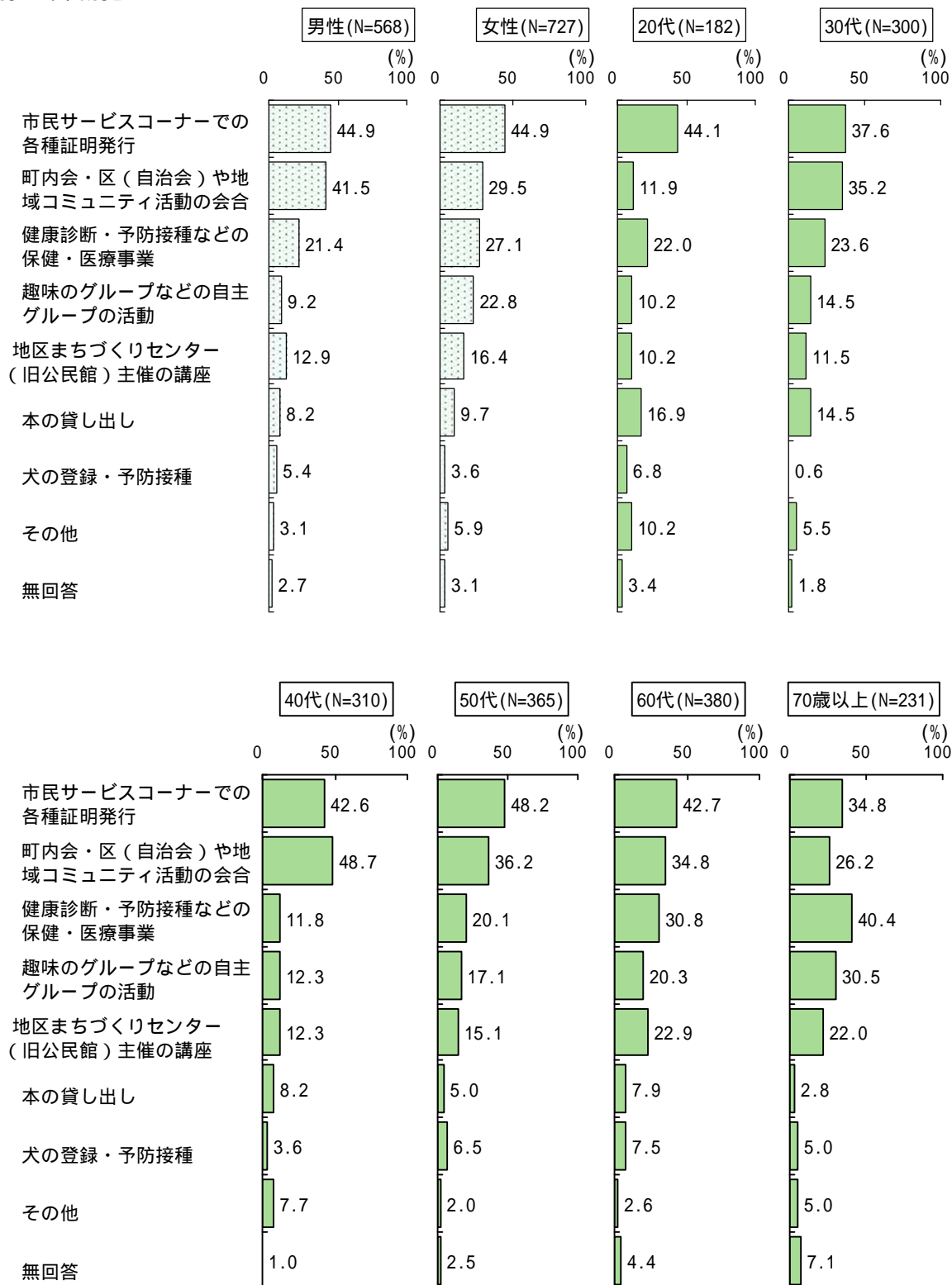


問23の質問で過去1年間に1回以上地区まちづくりセンター（旧公民館）を利用した人に、どのような目的で利用したか尋ねたところ、「市民サービスコーナーでの各種証明発行」と答えた人が42.0%で最も多く、次いで「町内会・区（自治会）や地域コミュニティ活動の会合」が35.0%、「健康診断・予防接種などの保健・医療事業」が24.5%となっている。

性別でみると、「町内会・区（自治会）や地域コミュニティ活動の会合」と答えた男性が41.5%と、女性より12.0ポイント高くなっている。

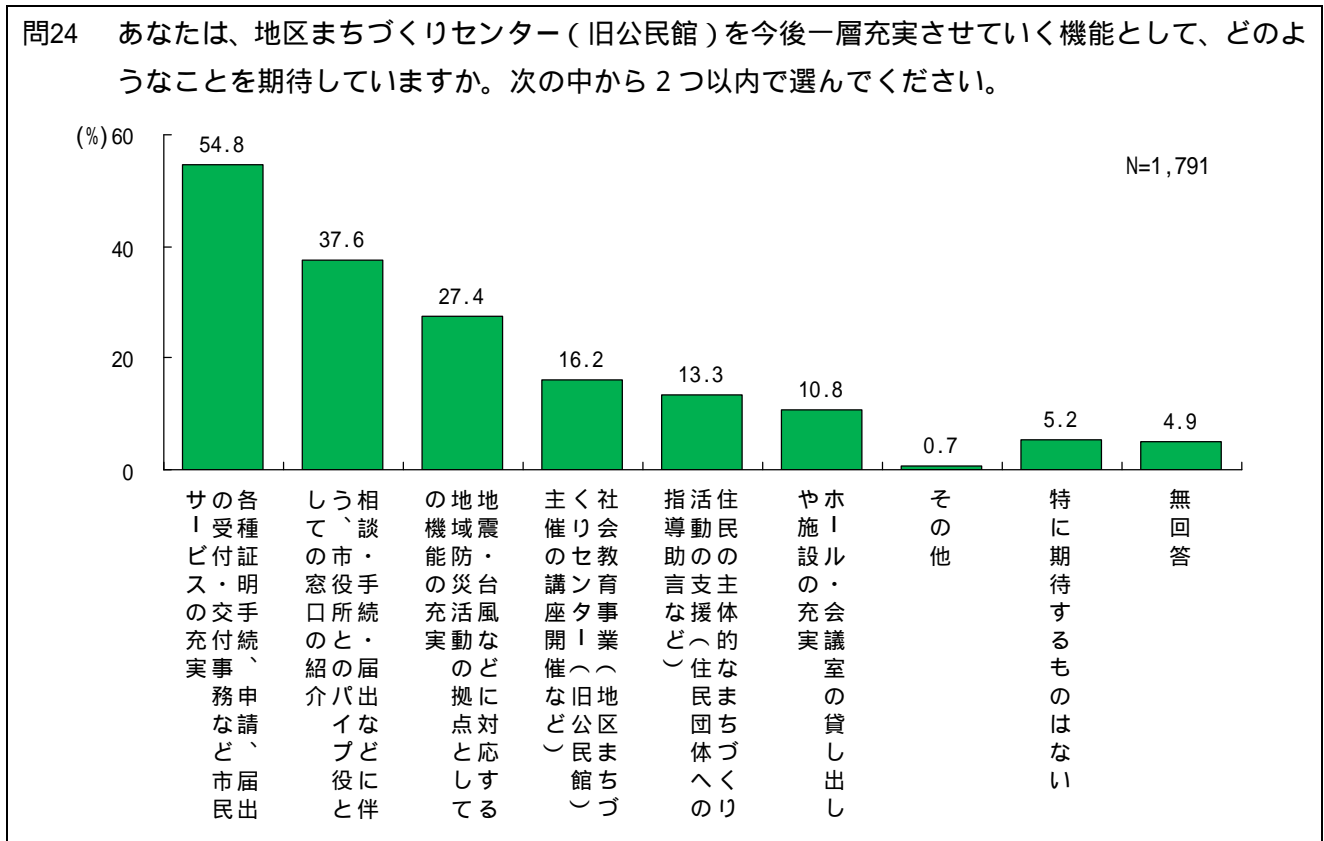
年代別でみると、「市民サービスコーナーでの各種証明発行」と答えた人が最も多いのは、50代で48.2%と半数を占めている。「町内会・区（自治会）や地域コミュニティ活動の会合」と答えた人が最も多いのは、40代で48.7%と半数を占めている一方で、20代は11.9%と1割程度にとどまっている。「健康診断・予防接種などの保健・医療事業」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で40.4%と4割を占めている一方で、40代は11.8%と1割程度にとどまっている。また、「趣味のグループなどの自主グループの活動」及び「地区まちづくりセンター（旧公民館）主催の講座」と答えた人は70歳以上でそれぞれ30.5%、22.0%で、60代でそれぞれ20.3%、22.9%と多くなっている。

【性別・年代別】





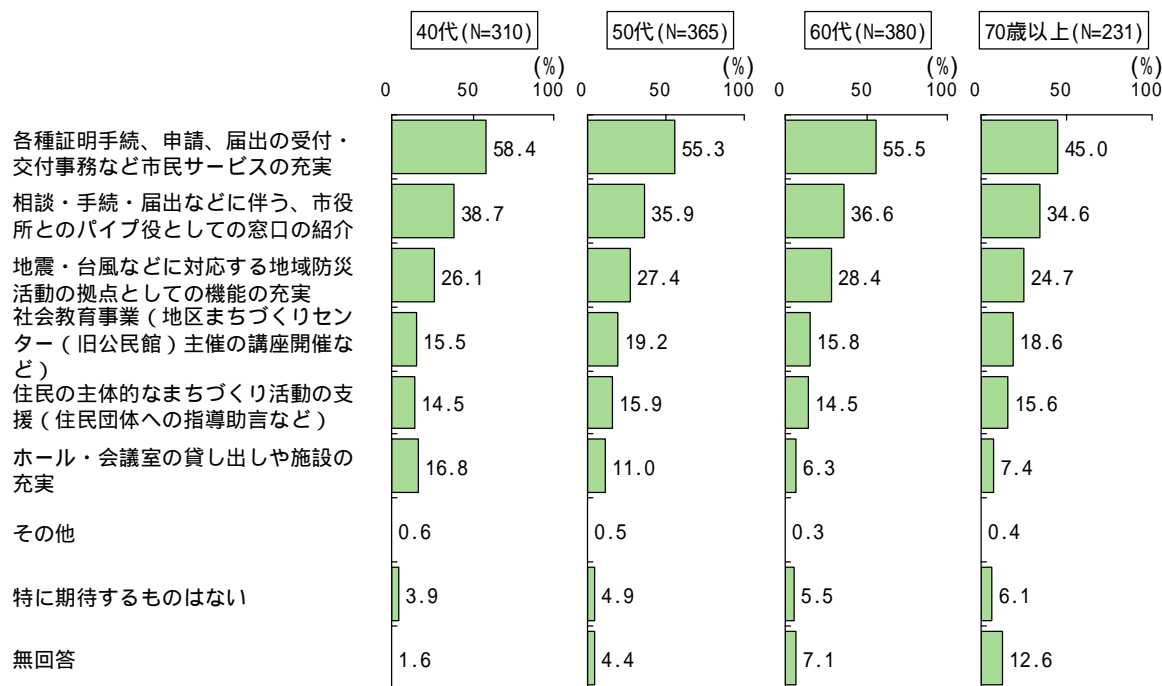
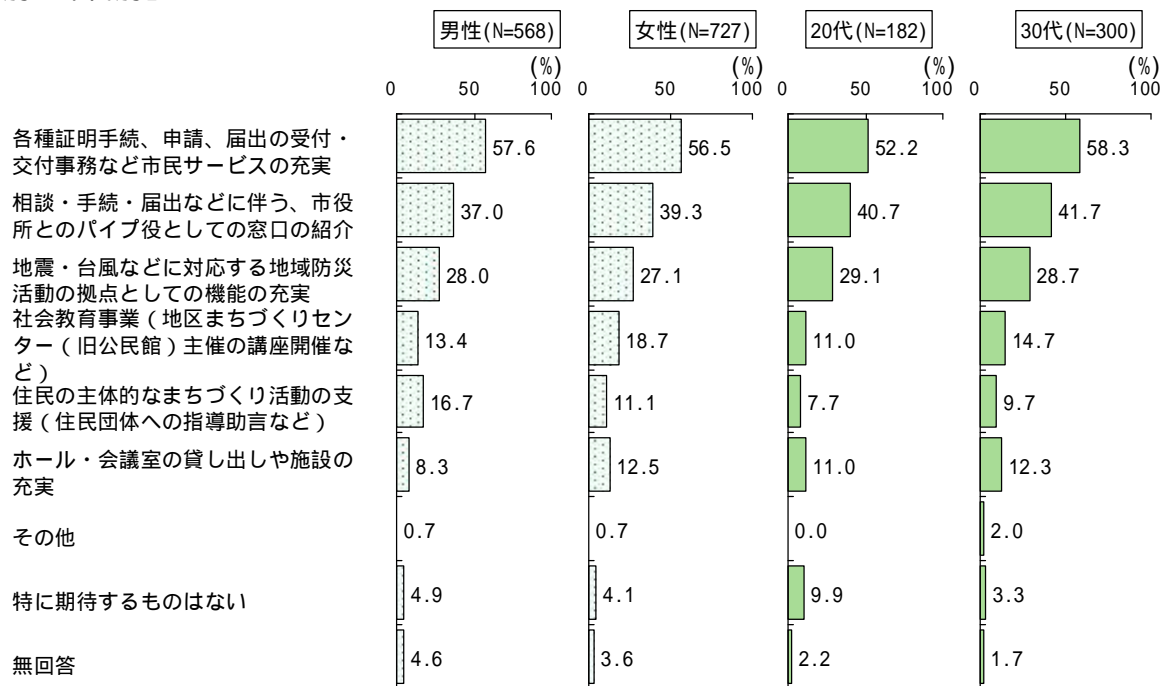
(15) 地区まちづくりセンターを充実させるために期待する機能



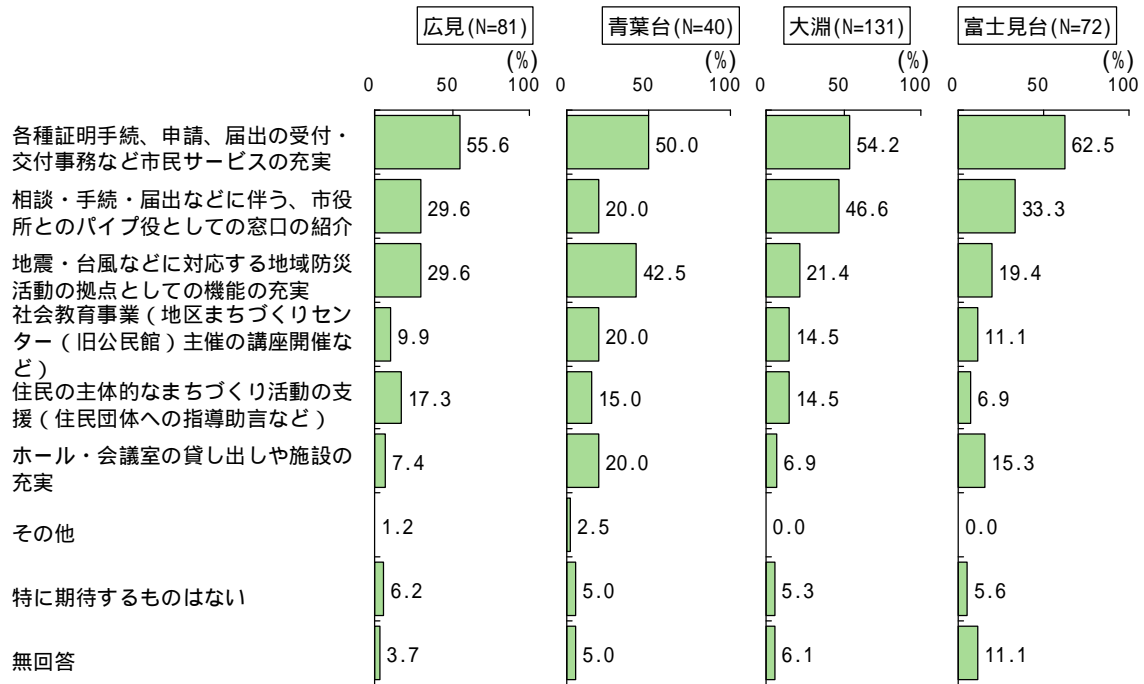
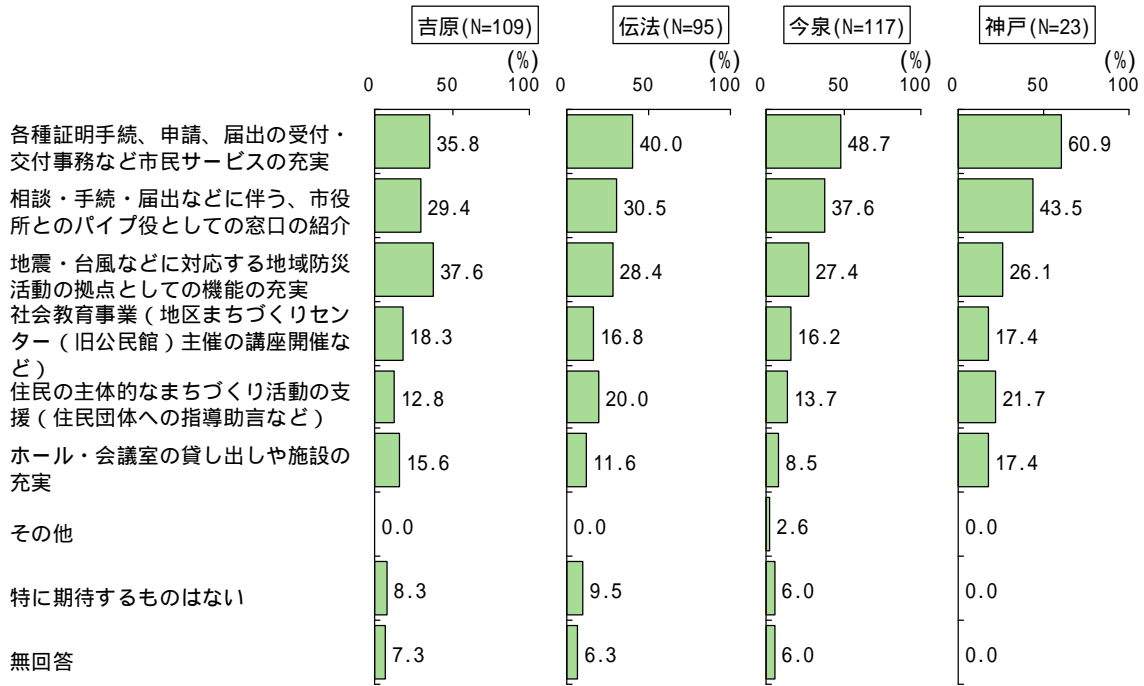
地区まちづくりセンター（旧公民館）を充実させるために期待する機能は何かと尋ねたところ、「各種証明手続、申請、届出の受付・交付事務など市民サービスの充実」と答えた人が最も多く、54.8%と半数を超えている。次いで「相談・手続・届出などに伴う、市役所とのパイプ役としての窓口の紹介」が37.6%、「地震・台風などに対応する地域防災活動の拠点としての機能の充実」が27.4%となっている。

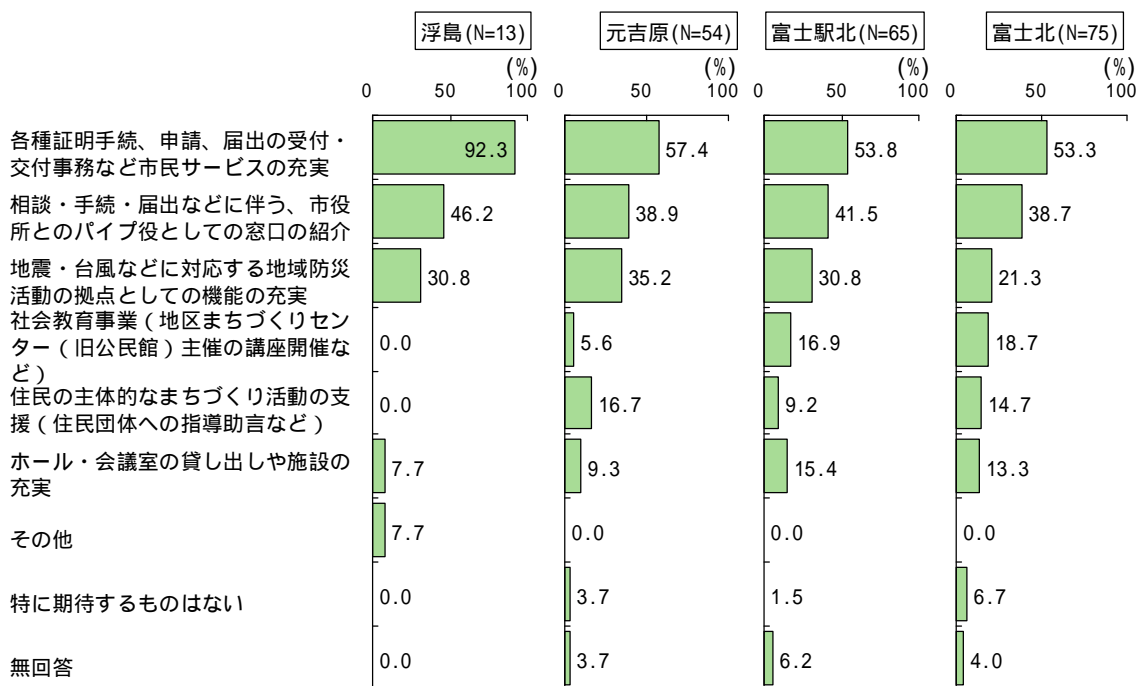
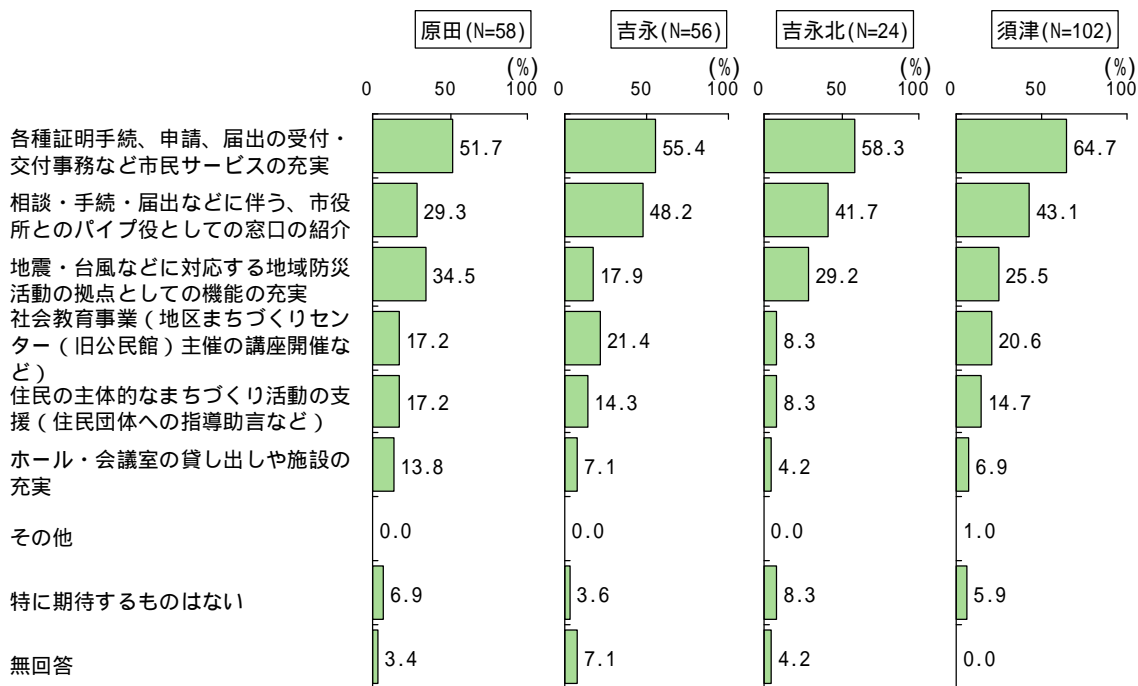
居住地区別にみると、「各種証明手続、申請、届出の受付・交付事務など市民サービスの充実」の割合が最も多いのは、浮島で92.3%となっており、次いで岩松北が69.8%、天間が66.7%、須津が64.7%となっている。「相談・手続・届出などに伴う、市役所とのパイプ役としての窓口の紹介」の割合が最も多いのは、田子浦で49.5%となっており、次いで吉永が48.2%、大淵が46.6%、浮島が46.2%となっている。「地震・台風などに対応する地域防災活動の拠点としての機能の充実」の割合が最も多いのは、青葉台で42.5%となっており、次いで丘が41.0%、吉原が37.6%、元吉原が35.2%となっている。

【性別・年代別】

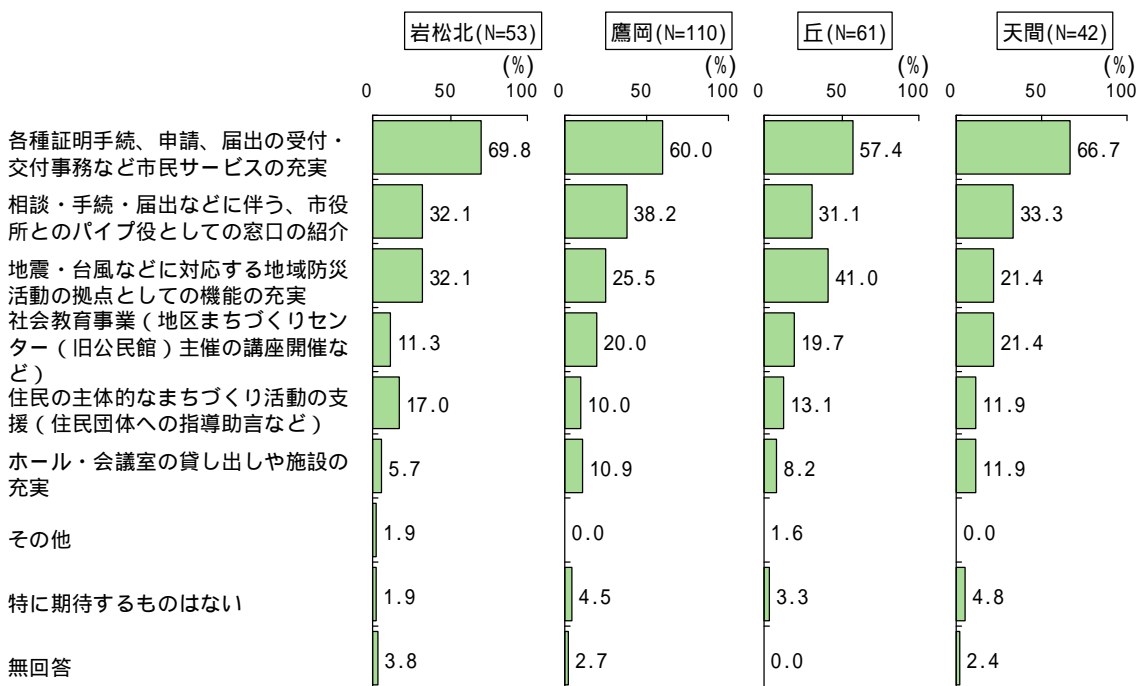
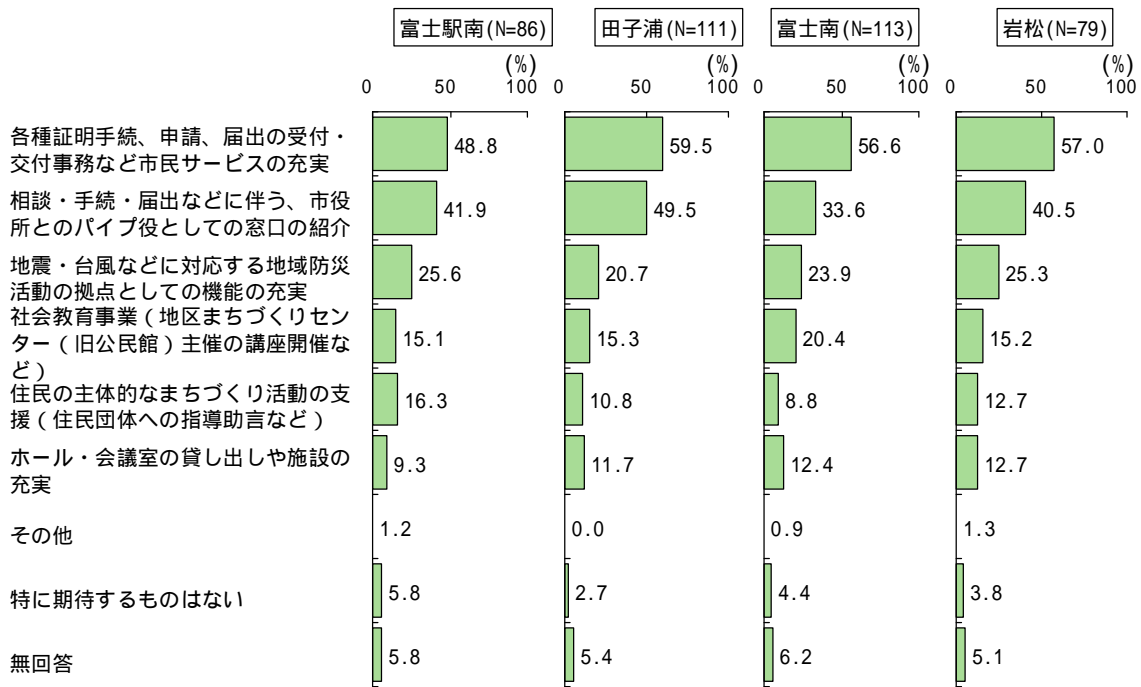


【居住地区別】

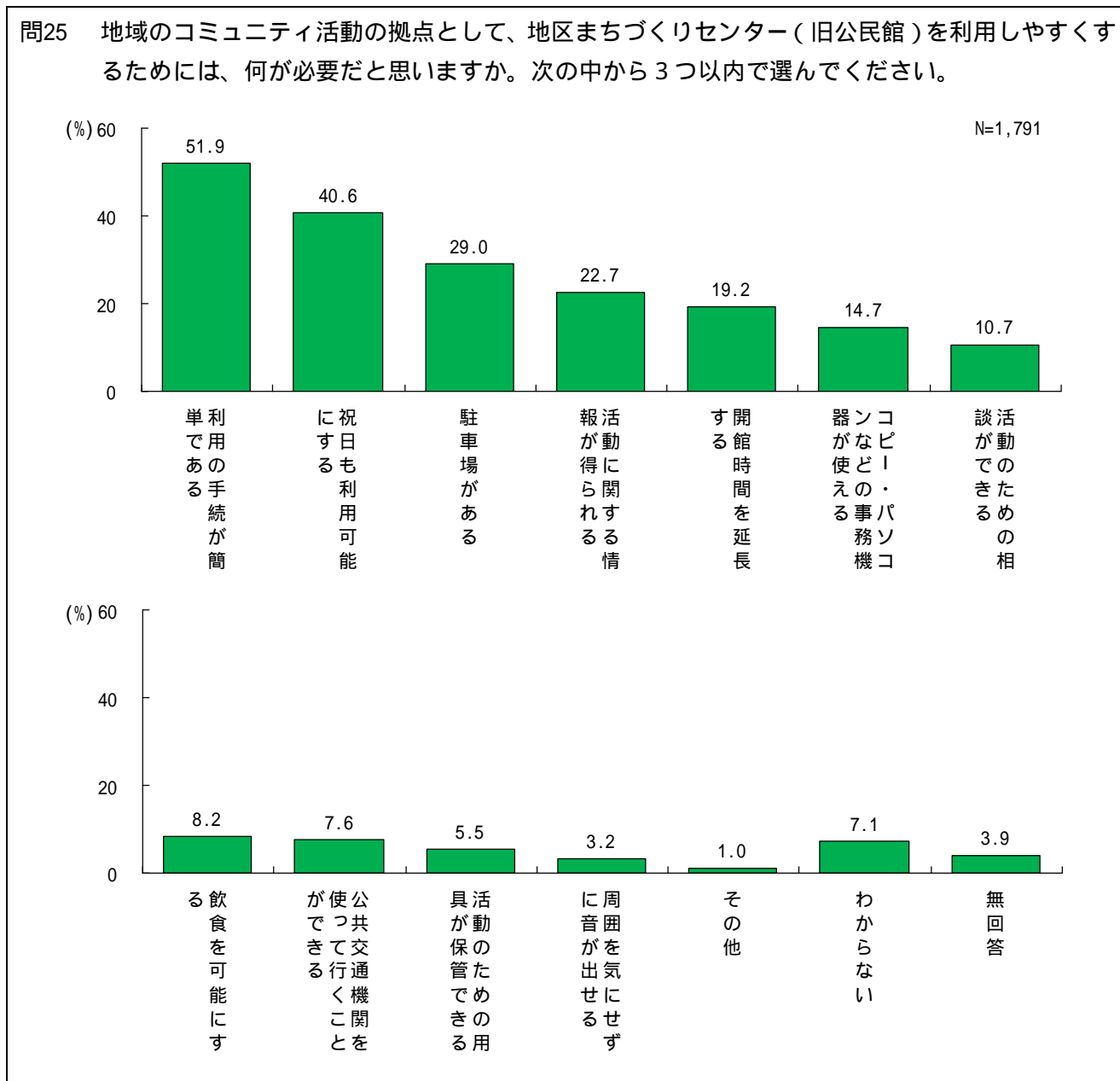




調査結果



## (16) 地区まちづくりセンターを利用しやすくするために必要なこと

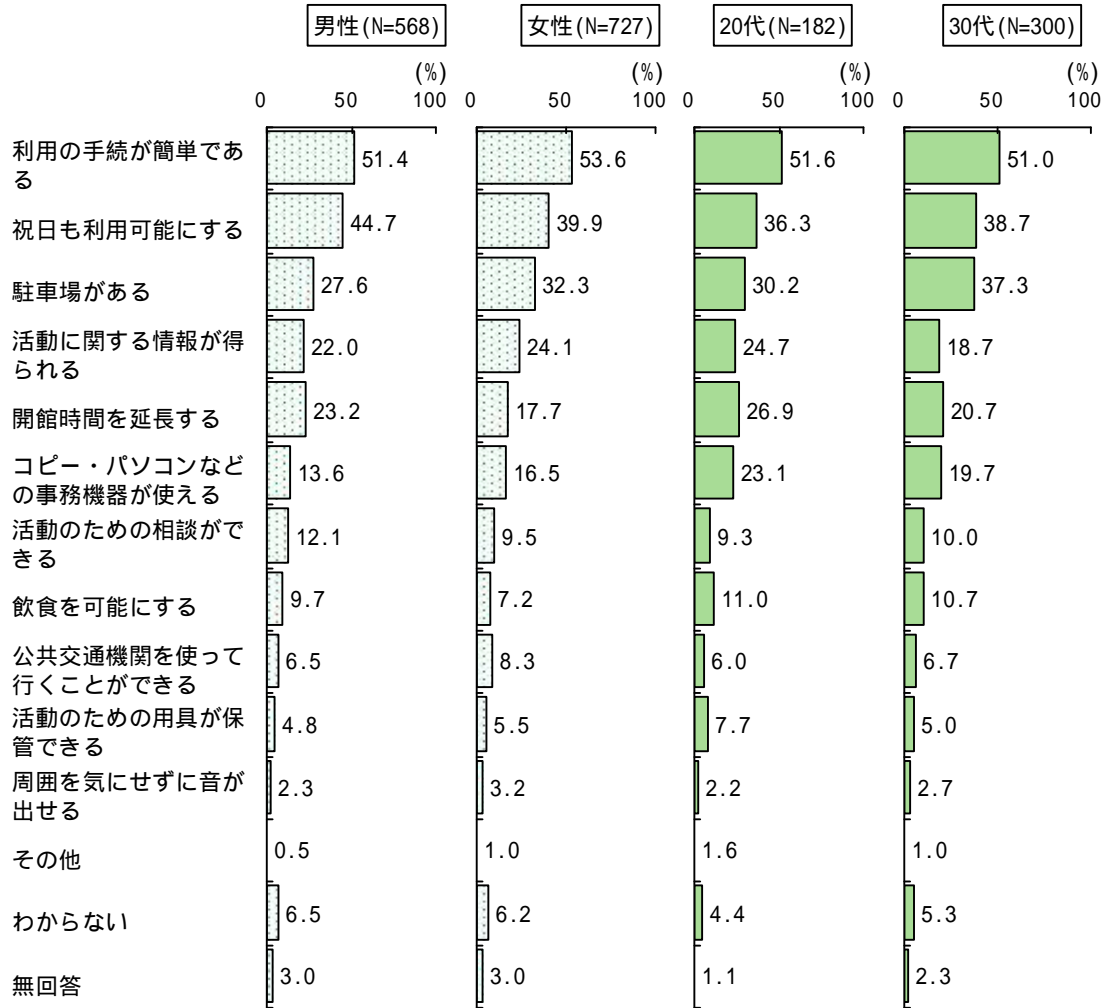


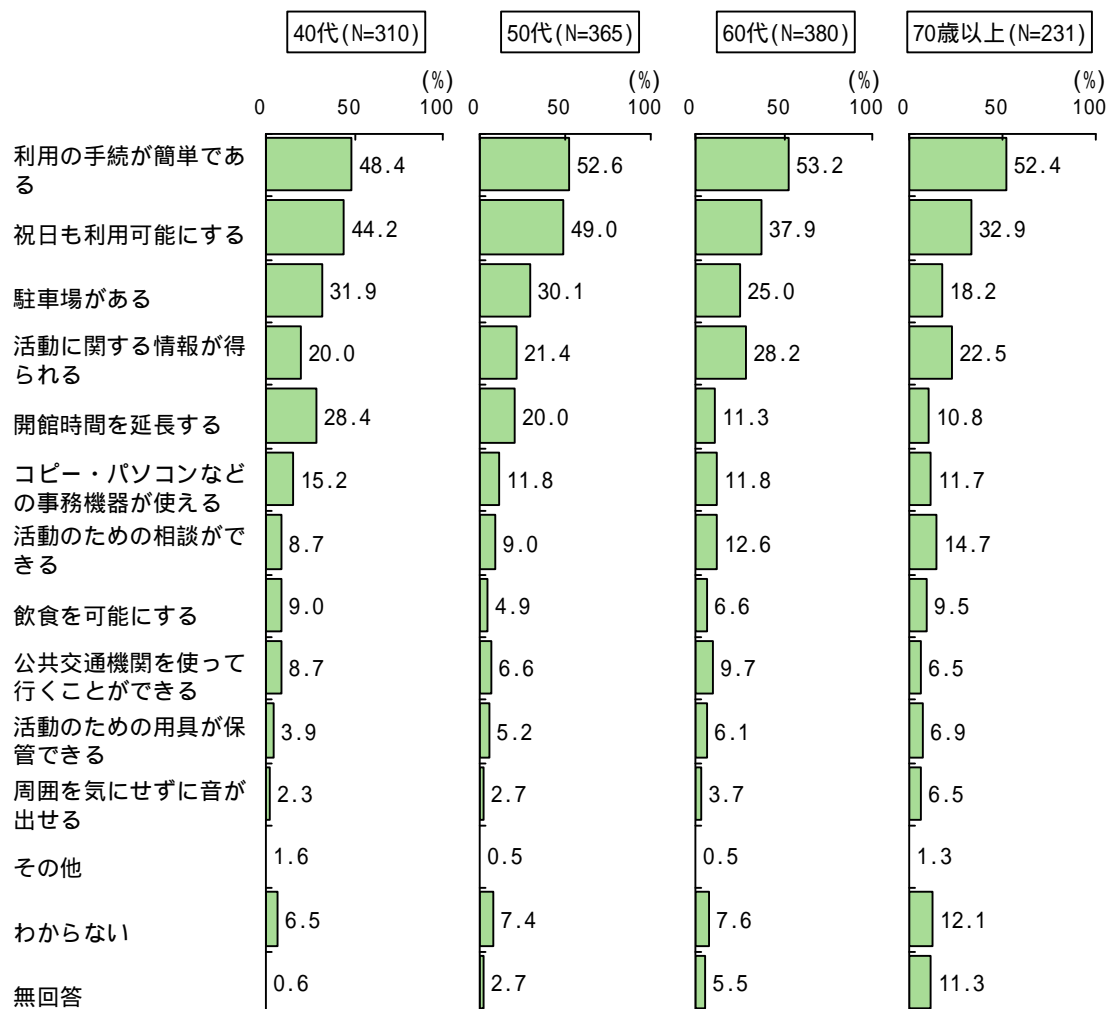
地区まちづくりセンター（旧公民館）を利用しやすくするために必要なことは何かと尋ねたところ、「利用の手続きが簡単である」と答えた人が最も多く、51.9%と半数を超えている。次いで「祝日も利用可能にする」が40.6%、「駐車場がある」が29.0%、「活動に関する情報が得られる」が22.7%となっている。

年代別にみると、「利用の手続きが簡単である」と答えた人が最も多いのは、60代で53.2%となっており、ほかの年代も半数を占めている。「祝日も利用可能にする」と答えた人が最も多いのは、50代で49.0%となっており、40代・50代は4割を超えている。「駐車場がある」と答えた人が最も多いのは、30代で37.3%となっており、20代から50代までは3割を占めている。また、「開館時間を延長する」と答えた人が最も多いのは、40代で3割を占めている。

調査結果

【性別・年代別】

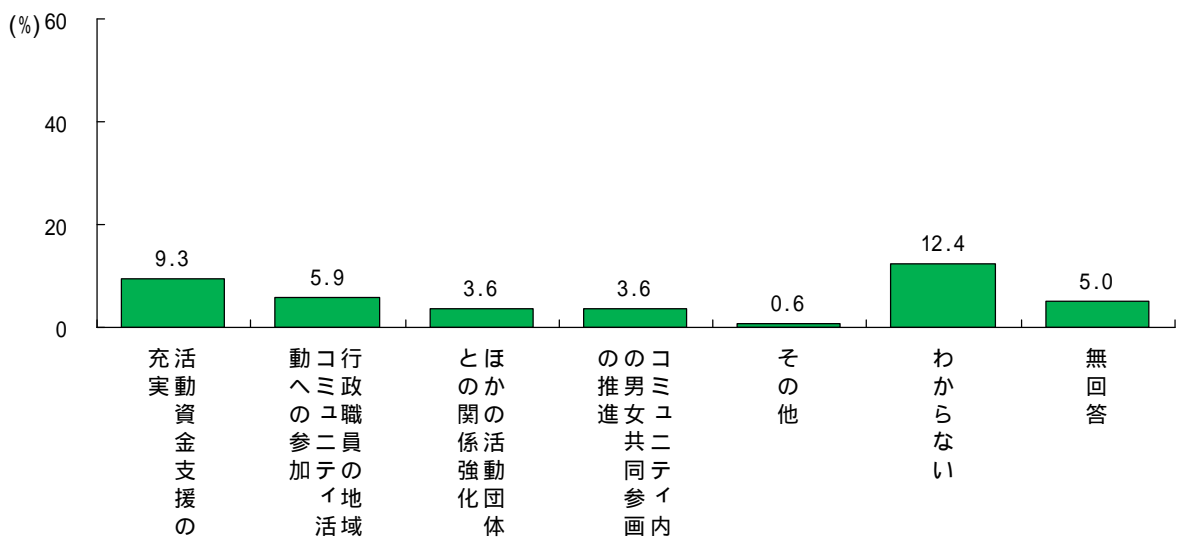
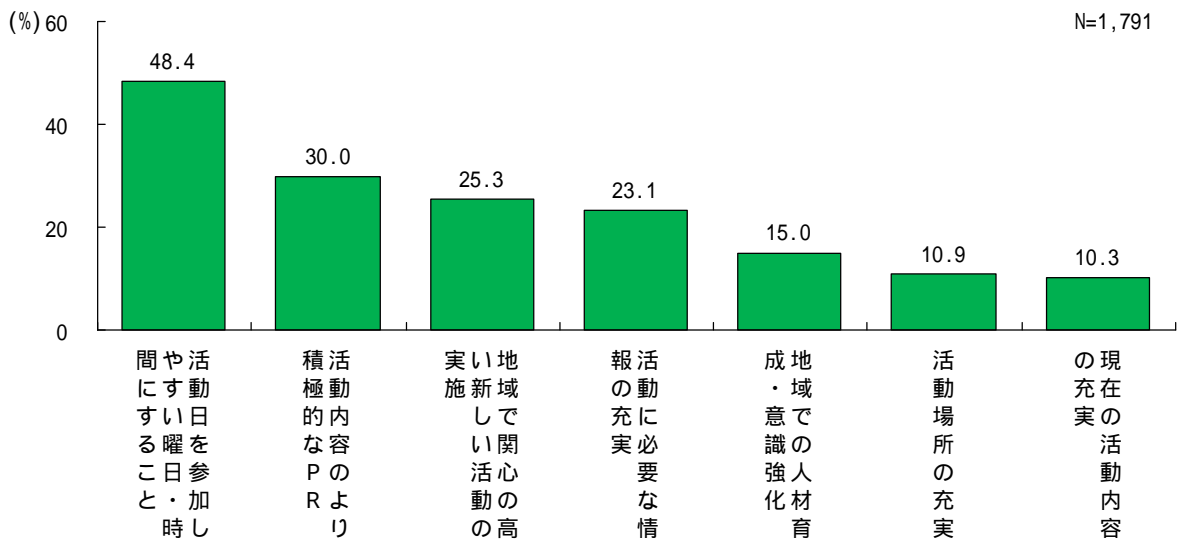






(17) 居住地域のコミュニティ活動が活発に行われるために必要なこと

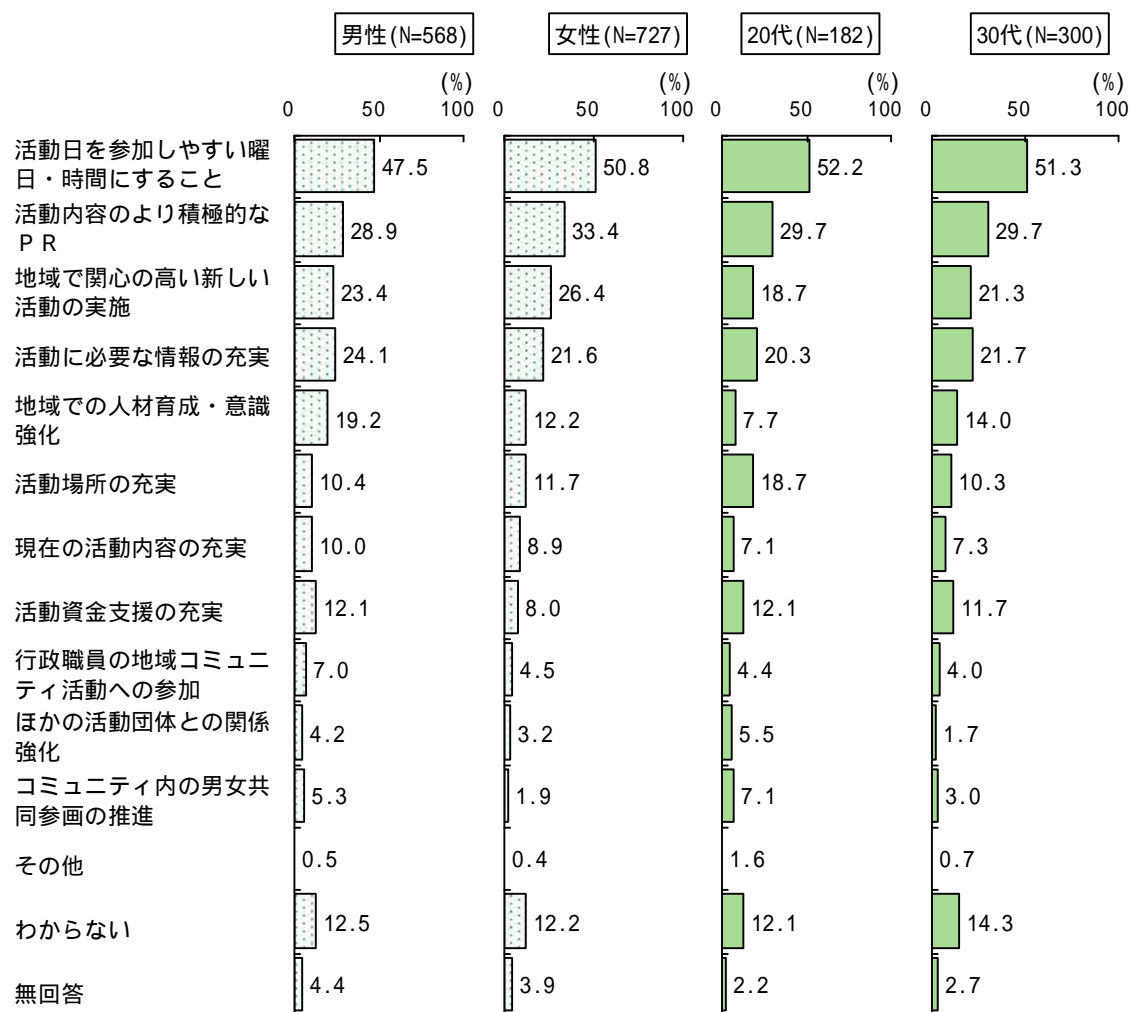
問26 あなたの地域のコミュニティ活動が、今よりも活発に行われるためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。



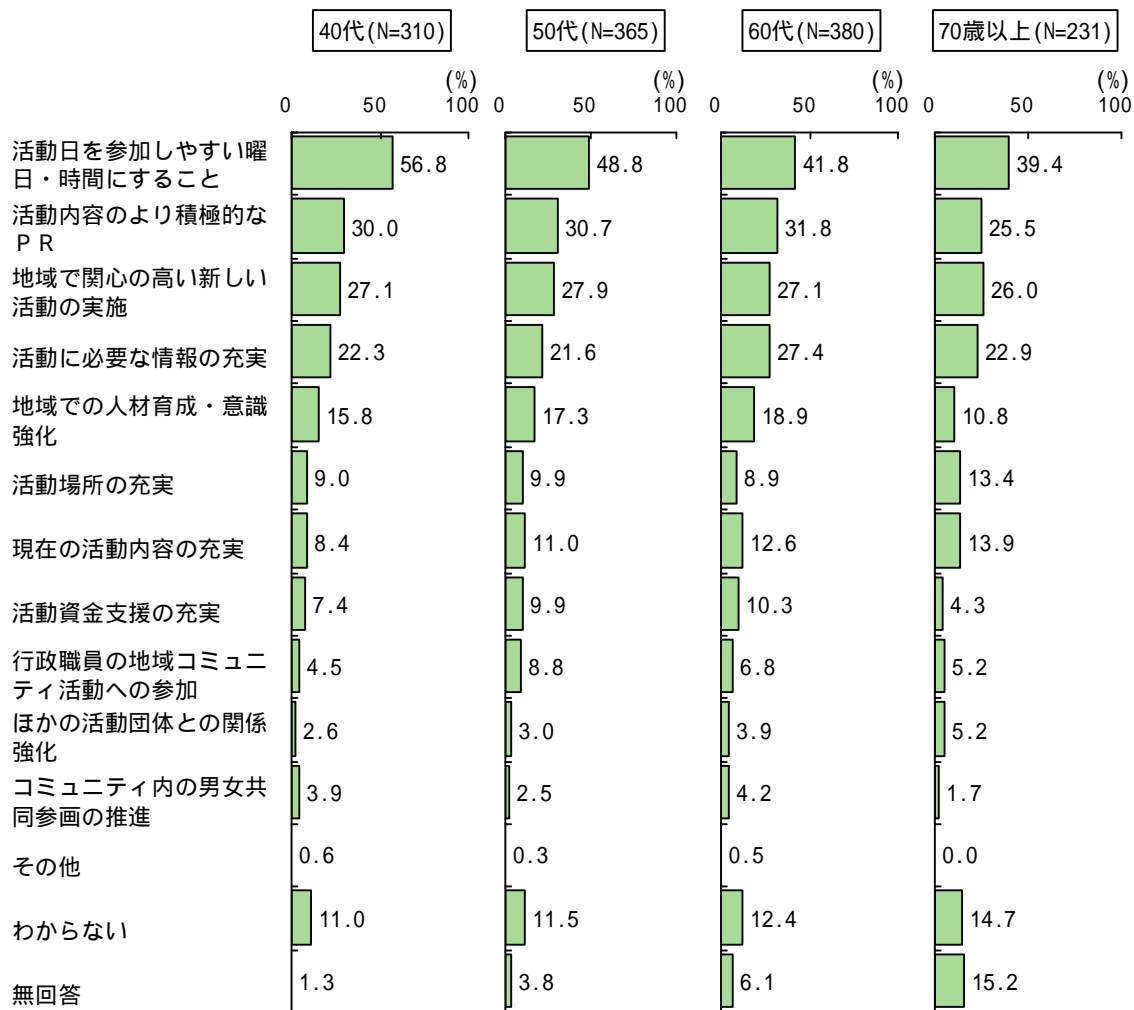
地域コミュニティ活動が活発に行われるために必要なことは何かと尋ねたところ、「活動日を参加しやすい曜日・時間にすること」と答えた人が最も多く、48.4%とほぼ半数を占めている。次いで「活動内容のより積極的なPR」が30.0%、「地域で関心の高い新しい活動の実施」が25.3%、「活動に必要な情報の充実」が23.1%となっている。

年代別にみると、「活動日を参加しやすい曜日・時間にすること」と答えた人が最も多いのは、40代で56.8%となっており、20代から40代までは半数を超えている。「活動内容のより積極的なPR」と答えた人が最も多いのは、60代で31.8%となっており、20代から60代までは3割を占めている。また、「活動場所の充実」と答えた人が最も多いのは、20代で18.7%となっている。

## 【性別・年代別】

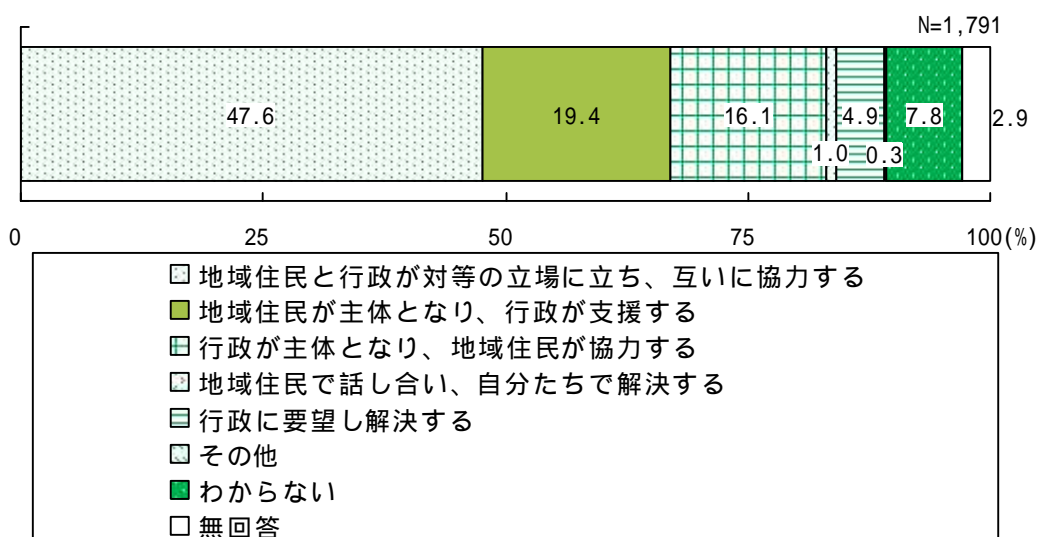


調査結果



## (18) 地域の課題解決のために、地域住民と行政の望ましい関係

問27 地域が抱えるさまざまな課題（高齢者支援や子育て支援など）を解決するため、地域住民と行政（市役所）は、どのような関係を持つのが望ましいと考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

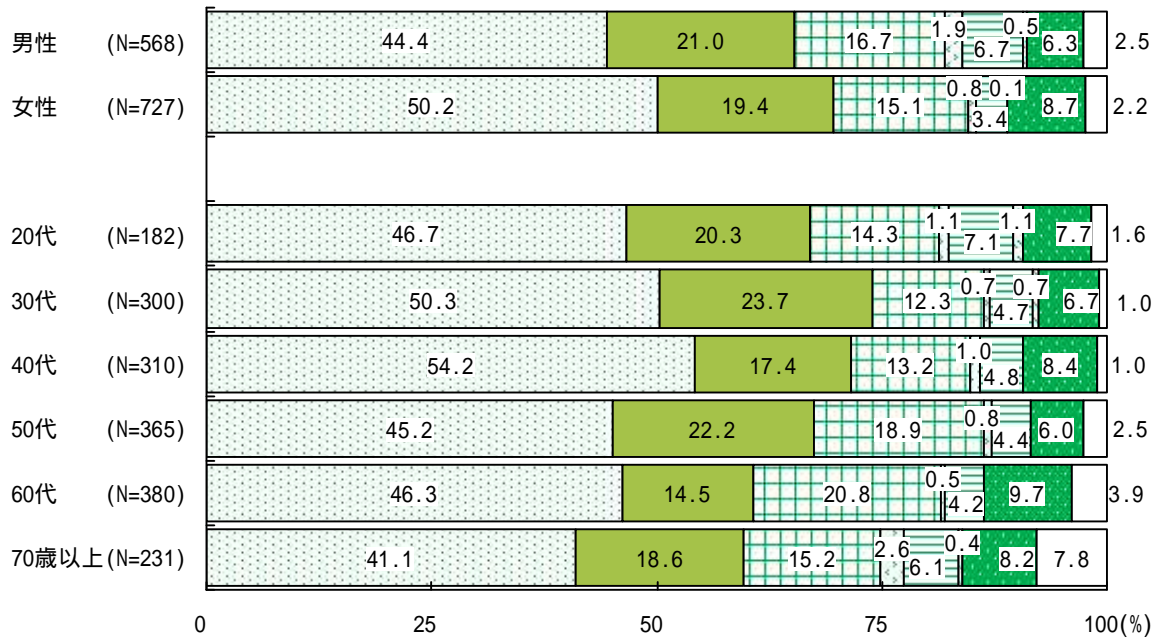


地域の課題解決のために、地域住民と行政の望ましい関係は何かと尋ねたところ、「地域住民と行政が対等の立場に立ち、互いに協力する」と答えた人が最も多く、47.6%と半数を占めている。

年代別にみると、「地域住民と行政が対等の立場に立ち、互いに協力する」と答えた人が最も多いのは、40代で54.2%となっており、すべての年代で4割から5割を占めている。

調査結果

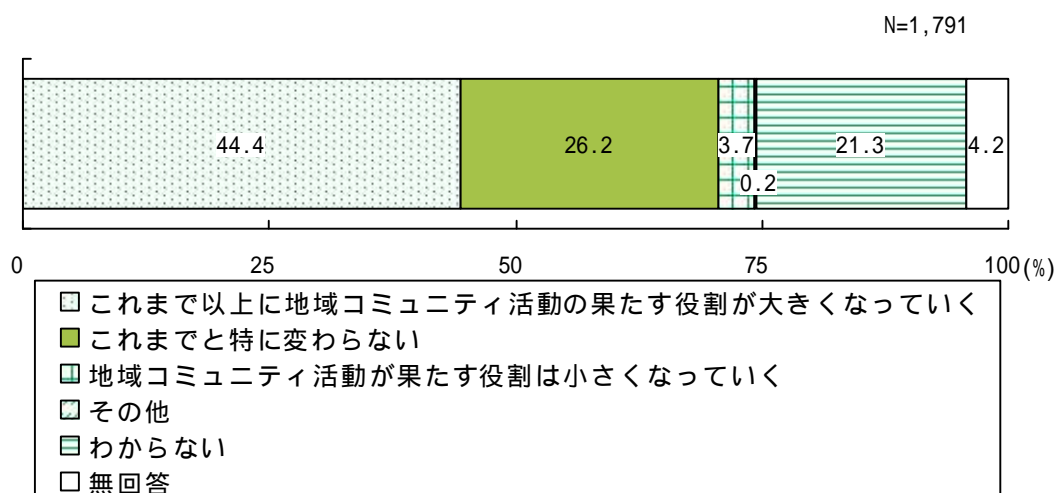
【性別・年代別】



- 地域住民と行政が対等の立場に立ち、互いに協力する
- 地域住民が主体となり、行政が支援する
- 行政が主体となり、地域住民が協力する
- 地域住民で話し合い、自分たちで解決する
- 行政に要望し解決する
- その他
- わからない
- 無回答

## (19) 地域コミュニティ活動の果たす役割

問28 これからの自治会や地域団体などの地域コミュニティ活動の果たす役割について、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。



地域コミュニティ活動の果たす役割について、どのように考えているかと尋ねたところ、「これまで以上に地域コミュニティ活動の果たす役割が大きくなっていく」と答えた人が最も多く、44.4%と4割を超えている。

年代別にみると、「これまで以上に地域コミュニティ活動の果たす役割が大きくなっていく」と答えた人が最も多いのは、60代で46.6%となっており、30代以上はいずれも4割を超えている一方で、20代は3割台にとどまっている。

調査結果

【性別・年代別】

